

科目名	大学入門						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	重村 美帆		関連する資格				
授業概要 本授業は、対面と遠隔で実施する。 大学での学びは、高校までの「生徒」とは異なり、大学生として自ら興味を持ち、積極的に、楽しく学ぶ能動的・主体的な態度で臨むことが求められる。本学の建学の精神を理解し、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を身につける。また、大学生活を有意義に過ごすために社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知ることを目的とする。							
到達目標 J1110 1、本学の建学の精神を理解し、述べるができる。 2、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を習得し、実際の授業で実践できる。 3、社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知り、大学生活の中で活用することができる。			成績評価方法 レポート課題と毎回の授業レポート、及び授業参加度により総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 大学入門オリエンテーション 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（10分）	授業内レポート
2) 大学で学ぶこととは？ 「授業の受け方とシラバス活用法」 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
3) 学長講話 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
4) インターネットを安全に利用するために 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
5) 大学生の健康管理について 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
6) 消費者教育講座 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
7) 身近な危険から自分を守る 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
8) 学びの技法 「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
9) 学びの技法 「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
10) 学びの技法 「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
11) 学びの技法 「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
12) 定期試験対策ガイダンス 【予習】キャンパスライヴを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
13) 「人として生きていくためのマナーとは」 社会人となるための心構えとマナーについて 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	グループワーク
14) 「人として生きていくためのマナーとは」 挨拶や言葉遣い・身だしなみ等について 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	グループワーク
15) 1 夏休みの過ごし方・後期授業に向けて 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業毎に資料を配布する	キャリアデザイン

課題に対するフィードバック

提出されたレポートは、Google classroomにて返却を行う

備考

受講の心得

- ・私語を慎むこと
- ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること
- ・本授業で学んだ学習方法を積極的に授業に取り入れること
- ・レポート課題を提出すること
- ・授業内レポートは、Google classroomを活用して実施するため、使用環境を整えておくこと

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格		

授業概要

長期的な展望にたった自分自身のキャリアをとらえて、今後の学生生活をどのようにデザインするのかを考え、大学卒業後、どのような人生を送るか、学生自身が主体的に決めていかなければならない。自分に必要な仕事や資質にあった進路選択をするための基礎知識を身につけ、自己分析を行い、業種・職種について知る。また、職業意識の形成と実際の就職活動における具体的な活動方法を実践的に学ぶことを目的とする。

到達目標

- ・自分の進路選択を行うことができる。
- ・職業意識の形成ができる。
- ・進路や就職活動における基本知識や技術が身につく。
- ・就職説明会や企業説明会、インターンシップなどに積極的に参加することができる。

成績評価方法

後期定期試験、毎回の授業レポート、授業参加度等を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) キャリアとは 「テキストの活用法及び卒業後の様々な進路と心構え」 【予習】テーマ（キャリア）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
2) キャリアとは 「テキストの活用法及び卒業後の様々な進路と心構え」 【予習】テーマ（将来をイメージする）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
3) 就職に向けて「自己分析」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
4) 社会が求める社会人基礎力とは 【予習】テーマ（社会人基礎力）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
5) 就職に向けて「着こなしセミナー・化粧の仕方」 【予習】テーマ（スーツの身だしなみ）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
6) 就職活動のためのマナー講座 【予習】テーマ（マナー）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
7) 就職活動のためのマナー講座 【予習】テーマ（よりよいマナー）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
8) 就職活動に向けて 「面接について」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
9) 就職活動に向けて （グループ別活動） 面接体験講座・パソコンを活用した情報検索・就職試験に向けての学力対策 【予習】テーマについて準備する（10分） / 【復習】授業内容を整理する（20分）	
10) 就職活動に向けて （グループ別活動） 面接体験講座・パソコンを活用した情報検索・就職試験に向けて学力対策 【予習】テーマについて準備する（10分） / 【復習】授業内容を整理する（20分）	
11) 就職活動に向けて （グループ別活動） 面接体験講座・パソコンを活用した情報検索・就職試験に向けての学力対策 【予習】テーマについて準備する（10分） / 【復習】授業内容を整理する（20分）	
12) 就職に向けて「自己分析」 【予習】テーマ（自分の自己PR）について考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
13) 就職活動の進め方 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
14) 就職に向けて「履歴書の作成」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
15) キャリア理論のまとめ「これからの就職活動に向けて」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
授業外学習	
授業内で自己分析や履歴書・進路登録カードの作成を行いますので、日頃から準備しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「キャリアプランからはじまる 就職活動 実践！ワークブック」PHP 研究所	大学入門

課題に対するフィードバック

授業内でまとめてフィードバックする

備考

受講の心得

- ・自分自身の将来について真剣に考えること
 - ・社会人としての心得やルールを身につけること
 - ・希望進路を決定し、目標に向かって自ら行動を起こすこと
 - ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること
- 授業計画は都合により変更することがあります。

科目名	人の心の理解			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	中山 浩行	関連する資格		

授業概要

人の心を理解する方法の一つとして心理学がある。その心理学の中でも主に臨床心理学を学習し、臨床心理学を通して、自分を見つめ、自分を知る。その為の方法として、心理検査、エンカウンターグループ、夢の分析等の体験をする。講師の中山は、精神科病院の臨床心理士、小中高の学校のスクールカウンセラー、市教委のカウンセリングアドバイザー、これら40年間の実務経験をもとに、心理学全般、臨床心理学についての授業を行なう。。

到達目標

ナンバリング(J1111)
 悩んだり困ったりした時の自分の反応(性格)を振り返る為の知識を身につける。
 今後の自分の生活に役立てる為、心の病、いじめ、不登校等の知識を身につける。

成績評価方法

授業態度・授業参加度、定期試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学の概要とオリエンテーション 【復習】臨床心理士の仕事についての理解（20分）	
2) 夢の分析（自分の見た夢の自己分析） 【復習】自分の見た夢の分析（20分）	自分の夢を記述して、その夢を分析する。
3) エンカウンターグループの体験（集団の中での自分） 【復習】グループワークの中での自分の振り返り（10分）	グループワーク体験を通して集団への関わり方を知る
4) ストレスチェックリストによる自己分析、簡単な心理検査の体験 【復習】自分の心理検査結果の振り返り（15分）	ストレスチェックリスト等心理検査から自分を知る
5) 心理検査『エゴグラム』の体験 【復習】自分のエゴグラムの自分なりの分析をしておく（10分）	交流分析による心理検査を体験し、自己分析をする
6) 交流分析の理論（3つの私による分析） 【復習】構造分析による自分の振り返り（20分）	自分の性格傾向と心の病との関連性を考えてみる
7) 交流分析の理論（基本的態度、自分を変える方法） 【復習】講義内容による自分のエゴグラムの分析（15分）	交流分析によって自分を変える方法を学ぶ
8) 交流分析の理論（エゴグラムのパターン分析による自己理解） 【復習】自分のエゴグラムのパターンからの自分の振り返り（10分）	エゴグラムのパターン分析から見た自分を知る
9) 交流分析の理論（幼少期の親子関係と12の禁止令） 【復習】幼少期の親子関係を振り返り、禁止令を分析（20分）	幼少期の親と自分の関係を振り返り、禁止令を考える
10) 心の病の概要（カウンセリング的関わりから見る心の病） 【復習】講義内容の確認（15分）	周囲に心の病の人が居る場合の対応を学ぶ
11) 心の病の概要（心の病を持つ人への接し方、関わり方） 【復習】自分の人間関係のあり方の振り返り（15分）	周囲に心の病の人が居る場合の接し方を学ぶ
12) 子どもの問題（いじめ） 【復習】自分の周辺で生じる『いじめ』への対応を考える（10分）	ワークシートを活用し、自分のいじめの捉え方を知る
13) 子どもの問題（虐待） 【復習】自分の周辺で生じる『虐待』への対応を考える（20分）	ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
14) 子どもの問題（不登校） 【復習】母子関係の問題を理解する（20分）	ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
15) 子どもの問題（発達障害） 【復習】発達障害の子どもたちをきちんと理解する（20分）	発達障害について知っていることを記述した後、解説
授業外学習	
心理学は、日常生活の中にあると考えるので、講義を通して、自分自身のことや、自分と周囲の人との関係性を、日常的に振り返ることが授業外の学習と考えたい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「エゴグラム・パターン - T E G 東大式エゴグラムによる性格分析 - 」東京大学医学部心療内科編	

課題に対するフィードバック

出席カードを活用。出席カードに、考えたことや感想、質問等を記入し、次週の講義で取り上げる

備考

科目名	子どもの成長と発達						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	河村 靖彦、伊藤 一統、原井 輝明 、弘中 陽子、重村 美帆		関連する資格				
授業概要 人間の生涯の発達の中で、著しい成長・発達を遂げる新生児期から幼児期までの子どもに視点をおき、子どもの身体の仕組みや心身の発達、生活習慣等について理解する。さらに、現在の子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、子どもが心身ともに豊かな成長・発達を遂げていくための環境について学ぶ。また、子どもの成長・発達と遊びの重要性を理解し、具体的な子どもの遊びを実践的に学ぶことを目的とする。							
到達目標 ・乳幼児期の子どもの成長・発達について説明できる。 ・子どもの成長・発達を促す環境整備について説明できる。 ・乳幼児期の遊びの意義を理解し、専門教育の中で具体的な遊びを実践できる。 ・子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、専門教育の学びに活かすことができる。			成績評価方法 授業態度及び授業参加度、レポート課題等によって総合評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 子供の成長と発達について オリエンテーション 【復習】授業の振り返りを行い、15回の授業を見据えた学びへの意気込みについて学習カードに書いてくる。（15分）	グループワーク(一部)
2) 乳児期の精神（こころ）の発達	
3) 乳児期の精神（こころ）の発達	
4) 子どもの育つ環境について 保育所・幼稚園の機能	
5) 乳幼児期の生活習慣について 保育所見学	演習
6) 子どもの育つ環境について 付属幼稚園見学	フィールドワーク
7) 子どもの健康と食生活	
8) 子どもの育つ環境について 家庭・地域の役割と連携	演習
9) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践	演習
10) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践	演習
11) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践	演習
12) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践	演習
13) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題	
14) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題	
15) 子どもの成長・発達について まとめ（グループ討議） 【復習】15回の授業を通して、学んだことや新たな課題として捉えたことについて、まとめてくる。（15分）	グループワーク
授業外学習	
乳幼児期の子どもに関心を持つ	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて、資料を配布する	栄養学各論

課題に対するフィードバック

オムニバス形式の授業のため、必要に応じて振り返り等の学習カードにコメントをつけて返す。

備考

配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること

科目名	日本国憲法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	濱本 千恵子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

「日本国憲法」とは何か。その意義や目的、制定過程などについて基本的な知識を修得するための講義を行う。また、さまざまな判例や時事問題を取り上げ、人権問題について学習する。講義の際には、教員が一方的に話すのではなく、学生を順次指名して発言をうながす。
最終回の講義においては、グループ活動としてパネル報告会を実施したい（報告会については、新型コロナウイルスの状況に応じて中止する可能性がある）。

到達目標

ナンバリング(J2107a)
憲法の意義や役割を説明できる。
現代社会における人権問題を理解できる。また、これらの問題に対する自己の見解を他者に説明できる。

成績評価方法

定期試験および小テスト、レポート、グループワークの総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							5
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法とは何か（1） 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
2) 法とは何か（2） 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
3) 憲法の意義 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
4) 日本国憲法の基本原理 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
5) 国民主権と統治機構（1）国会と内閣の役割 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
6) 国民主権と統治機構（2）裁判所の役割 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
7) 平和主義 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
8) 基本的人権（1）包括的人権 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
9) 基本的人権（1）精神の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
10) 基本的人権（1）精神の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
11) 基本的人権（3）人身の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
12) 基本的人権（4）経済的自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
13) 基本的人権（5）社会権 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
14) 基本的人権（6）その他の権利と国民の義務 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
15) 基本的人権（7）グループワーク：人権について考えよう 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	人権問題をテーマに、グループに分かれて報告会を実施
授業外学習	
予習 教科書や配布資料の該当箇所を読んでおく。分からない文言等は調べておくこと。 復習 講義内容に関するまとめの小テストを配付するので、次回の講義で提出すること。 ・講義の中で時事問題を扱うことがあるため、テレビや新聞でニュースを確認しておくこと良い。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕」初宿正典，高橋正俊，米沢広一，棟居快行（有斐閣アルマ、2020）	

課題に対するフィードバック

備考

科目名	福祉社会						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩		関連する資格				
授業概要 ハンディのある人もない人も、その人らしく生活していくことができる社会（福祉社会）を実現していく上で基本となるポイントを、「隔離」「共生」といったキーワードをもとに考えていく。 病気や障害を持つ人々に対する排除の歴史と現状を取り上げ、そこから見えてくる問題点をふまえて「共に生きる社会」づくりへの道筋について考える。 全国身体障害者総合福祉センターでの実務経験をもとに、障害理解、障害者支援の要点について授業を行う。 本授業は対面にて実施する。							
到達目標 ナンバリング（J2108） 1. 私たちの社会はどのようにして病気や障害を持つ人々に偏見を抱き排除するようになるのか説明できる。 2. ハンディのある人となない人が共に生きる社会をつくるために大切な事柄を説明できる。			成績評価方法 レポート、小テストによる評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】令和2年7月に報道された「ALS囁託殺人事件」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) ハンセン病について ハンセン病のことを知っていますか？ 【予習】ハンセン病とはどういう病気が調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) ハンセン病について ハンセン病の歴史をたどる 【予習】ハンセン病の歴史を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) ハンセン病について ハンセン病回復者と高校生とのかかわりから 【予習】ハンセン病について学習したことを整理する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
5) 5) 福祉施設が街にやってくる 施設建設反対運動について 【予習】社会福祉施設について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
6) 6) 補助犬をこばまないで 【予習】身体障害者補助犬法について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
7) 7) 見過ごされている知的障害者 【予習】知的障害について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
8) 8) 精神障害について 見えにくい障害 【予習】精神障害とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
9) 9) 発達障害について 見えにくい障害 【予習】発達障害とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
10) 10) バリアフリーについて 【予習】バリアフリーとは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
11) 11) 高齢社会と私たち 高齢者の暮らしと問題点 【予習】高齢者の心身の特徴や生活上の課題について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
12) 12) 高齢社会と私たち 人を寝たきりに向かわせるもの 【予習】「生活不活発病」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
13) 13) 高齢社会と私たち 認知症のお年寄りの思い 【予習】認知症について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
14) 14) 排除しないで共に生きるためには 【予習】「共生社会」をつくるための取り組みを調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
15) 15) まとめ 【予習】これまで学習した内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	レポート
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	社会福祉（保育学科）、社会福祉論（食物栄養学科）

課題に対するフィードバック

小テストは採点の上、翌週の授業時に返却する。また必要に応じコメントを付す。

備考

科目名	ボランティア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解する。

到達目標

- ・ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など基礎的な知識を修得する。
- ・現代社会におけるボランタリー・セクターの重要性と状況について理解する。
- ・ボランタリー・セクターの活動への関心をもつ。

成績評価方法

課題提出（学外への調査課題を含む）50%、試験50%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							25

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 講義概要、日程、方針等を説明する 【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要と思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 2) ボランティアとは何か 概念と歴史 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 3) ボランティアとは何か ボランティアの現状と課題 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
4) 4) ボランティア・セクターの役割と構造 市民社会と新しい公共 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) 5) ボランティア・セクターの役割と構造 コミュニティ、市民活動、中間支援 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) 6) NPO とボランティア 非営利組織のいろいろ 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7) 7) NPO とボランティア 特定非営利活動促進法と NPO の活躍する社会 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
8) 8) 市民活動における中間支援 中間支援とは何か～その意義と重要性 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) 9) 市民活動における中間支援 どんなどころか【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	フィールドワーク（4 時間）
10) 10) NPO のマネジメント NPO のつくりかた 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11) 11) NPO のマネジメント 非営利組織論の視点から 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) 12) NPO のマネジメント 事業性とソーシャル・ビジネス 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
13) 13) ボランティア・セクターの諸側面 公共の担い手としての NPO 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
14) 14) ボランティア・セクターの諸側面 協働の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	視聴覚教材視聴
15) 15) まとめ 大学生とボランティア活動 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・非営利セクターに関する情報について関心をもって見聞すること（10 時間程度） ・学内外の実際の非営利活動に参画することが望ましい（18 時間程度）。 ・テキストを通読すること（12 時間程度） ・講義内容について振り返って学習し、わからない用語や事項等があれば、理解しておくこと（20 時 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 「テキスト市民活動論 - ボランティア・NPO の実践から学ぶ -」（大阪ボランティア協会）</p> <p><参考文献> ボランティア、NPO 等に関する書誌全般 * 推薦する参考文献は講義で適宜紹介する。</p>	

課題に対するフィードバック

講義中にコメントする

備考

受講の心得>「ボランティア」の意味についての理解を受講姿勢にも反映されたい。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	日本語表現法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	河村 靖彦	関連する資格		

授業概要

小学校での実務経験をもとに、基礎的・実践的な課題や演習に取り込むことにより、日常生活や就職、レポート作成に際して必要な日本語表現を修得する。併せて保育や食物栄養に関連する漢字の修得に努める。

到達目標

- ・ 実用文からレポートに至るまでの文章表現ができる。
- ・ レポートや会話等の表現など、目的に応じた日本語表現が適切にできる。
- ・ 保育・食物栄養に関連した漢字(各100字)を確実に修得する。

成績評価方法

レポート・定期試験・授業への意欲・態度による総合的な評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	日本語表現法のオリエンテーション・・・日本語表現の学び方 復習： 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
2)	書くために必要な知識・・・アカデミックワードと日常語 復習：アカデミックワードについてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
3)	書くために必要な知識・・・語彙を増やす 復習：他の言葉で言い換える練習（リフレーミング）（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
4)	書くために必要な知識・・・表記と敬語についての理解 復習：敬語についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
5)	書くために必要な知識・・・目的に応じた表現法の実践（手紙） 復習：手紙文の全体構成についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
6)	「わかりやすく正しい」日本語表現の実践・・・実際の文章も修正演習 復習：分かりやすい語順のドリル（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
7)	「わかりやすく正しい」日本語表現の実践・・・文章作成上の問題点 復習：事実と意見についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
8)	文章を書くための準備・・・要点のまとめ方と構成 復習：要点のまとめ方のポイントについてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
9)	「レポート」を書くために必要な知識・・・レポートの形式と表現 復習：レポートの構成等についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
10)	レポート作成法・・・レポート作成の準備と演習 復習：注や参考文献についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
11)	論文の書き方・・・論文の形式と表現 復習：論文の基本的構成及び作成の手順についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
12)	論文の実際・・・実際の論文で形式等についての理解 復習：参考文献の書き方・引用の仕方についてのドリル（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
13)	KJ法を用いた整理法・・・わかりやすい表現の工夫 復習：KJ法についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	グループワーク
14)	効果的な文書作成・・・エントリーシートの書き方 復習：エントリーシートについてまとめる（10分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
15)	効果的な文書作成・・・願書、履歴書の書き方 復習：履歴書の書き方についてのまとめ及び振り返り（15分）	演習
授業外学習		
授業計画・授業予告に沿って、テキストの該当単元を熟読しておくこと。 毎時間、授業内レポートを提出。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：プリント（毎時間配布） 参考書：「日本語表現法」沖森卓也・半沢幹一（三省堂） 「大学生のための日本語表現トレーニング」安倍朋世他（三省堂）		

課題に対するフィードバック

課題レポートは、コメントをつけて返す。

備考

宇部フロンティア大学短期大学部の学生として、自覚を持ち、主体的・意欲的に受講すること。

科目名	食生活と健康			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格		

授業概要

本授業は遠隔で実施する。
 保育士をめざす学生にとって、望ましい食生活と健康についての考え方、知識等について知り、健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。健康づくりに必要な知識を身につけることを目的とする。

到達目標

J1114
 健康的な食生活について、理解し実践方法を学ぶ。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 健康について考える 【予習】健康のイメージを調査する（15分） 【復習】イメージ及びノート整理（15分）	
2) 自分の食生活について考える 【予習】食事の記録（20分） 【復習】追加記録、修正（10分）	
3) 食事のバランスについて考える 【予習】食事のバランスのとり方を調べる（15分） 【復習】バランスのとり方を確認する（15分）	
4) 野菜摂取について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
5) 朝食について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
6) 間食について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】摂取について整理する（15分）	
7) 外食・中食について考える 【予習】語句の意味を調べる（15分） 【予習】意味と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
8) 偏食について考える 【予習】語句の意味を調べる（15分） 【復習】意味について整理し、バランスのとれた食事の実践を確認する（15分）	
9) 食事と身体の関係について考える 【予習】生活習慣病を予防する食事を調べる（15分） 【復習】ノート整理（15分）	
10) 塩分摂取について考える 【予習】どのような食品から塩分を摂取しているか調べる（15分） 【復習】現状や摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
11) あなたに必要なエネルギーについて考える 【予習】摂取エネルギーを理解する（15分） 【復習】エネルギー出納整理、適性体重目標化（15分）	
12) あなたの骨は大丈夫ですか～ダイエットの落とし穴～ 【予習】骨を丈夫にする生活習慣を調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
13) あなたの腸は快調ですか 【予習】腸を快調にする生活習慣を調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
14) 食事のマナーについて考える 【予習】和食のマナーを調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
15) 食事が変われば人生が変わる 【予習】学んだことから目標を考える（15分） 【復習】実践につなげる具体的行動目標化（15分）	
授業外学習	
健康のこと、食事のことに興味を持つ。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配布する。	子どもの食と栄養 体育講義 健康スポーツ

課題に対するフィードバック

個別に補足する。
食事記録、朝ごはんチェック、食事バランス等については、後日にデータ・グラフ化し解説する。

備考

配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。
【オフィスアワー】決定後別途掲示
末吉奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	生命の科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	星野 晋	関連する資格		

授業概要

生命科学（ライフ・サイエンス）は、人間をはじめとする生き物の仕組みと「生」のいとなみ、すなわち生命現象を科学的に探求する学問である。また同時に、生命をめぐるさまざまな技術、その社会的活用の可能性と問題点を検討する総合的・学際的研究分野でもある。本講義では、生命のみならず人生、生活をも意味する「Life」という言葉をキーワードに、不妊治療、臓器移植、少子高齢化問題等の生命科学上の諸課題について理解を深める。そしてそれらの課題と直面し乗り越えることを迫られた際に、その前提となる自身や他者の「生」とどのように向き合っていけばいいのか、自ら考えられるようになることを目指す。

到達目標

ナンバリング(J1115)

- ・生命の科学（ライフ・サイエンス）がどのような分野であるかを説明できる。
- ・不妊治療や臓器移植など、今日話題になっている生物学由来の技術とその課題について説明できる。
- ・生物学にもとづく新技術が、近年どのような社会問題を引き起こしているかを説明できる。
- ・生命科学上の課題に対して、どのように解決したらいいか、自分の意見を持ち、他者に根拠を示しつつ表明できる。
- ・私たちのLife（生命、いのち、暮らし、人生）の現在と将来について、自分なりの考えを根拠を示しつつ表明できる。

成績評価方法

- 受講態度（10%）
- コメントシート（授業内レポート）（10%）
- グループワーク（10%）
- 定期試験（70%）
- 2/3 以上の出席を成績評価の条件とする

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							70	
小テスト、授業内レポート							10	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク							10	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：Lifeとは何か【復習】レジュメやノートを読み返し、ライフサイエンス（生命科学）とはどのような分野で、今日これを学ぶことにどのような意義があるかについて理解・確認しておく（40分）	コメントシート
2) 不妊症と生殖補助医療 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
3) 生殖補助医療の課題1：親子 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
4) 生殖補助医療の課題2：どこから人とみなすか 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
5) 臓器移植をめぐる問題：グループ・ワーク 【予習】臓器移植についての自身の見解とその根拠を考えてくる（40分） 【復習】レジュメやノートを読み返し、自身の理解を確認しておく（40分）	グループ・ディスカッション コメントシート
6) 臓器移植をめぐる問題：臓器移植法の現在 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
7) 患者の自己決定権とインフォームド・コンセント 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
8) 輸血をめぐる文化摩擦 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
9) 人体解剖にみる西洋医学の考え方 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
10) 国際医療協力と文化摩擦 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
11) 病気とは何か：文化と医療 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
12) 病むことの物語 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
13) 超高齢社会を生きるために 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
14) 作られた健康、創り出す健康 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
15) 総括・振り返り【予習】レジュメやノートを読み返し、わからないこと等を質問できるようにしておく（60分）【復習】授業全体を振り返り、内容理解を確認するとともに、トピックごとに自分の意見をまとめておく（60分）	振り返りシート
授業外学習	
テレビ、新聞、ウェブ等で、あらゆるジャンルのニュースに触れ、人間の「Life：生命・人生・生活」のあり方について考え、自分の意見をもつようにしてください。またそのことについて、友人や家族と語り合ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは用いない。参考書は随時提示する。	

課題に対するフィードバック

コメントシートに書かれた質問等に対する回答を次回授業でシェアする

備考

自分の頭で考え、意見を持ち、他者と意見交換や議論ができるようになることを目指して受講すること
【オフィスアワー】授業の前後で対応する。

科目名	生活と情報			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	門間 政亮	関連する資格		

授業概要

【遠隔授業】

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、インターネットを通じて触れる機会が多々あります。本講義では、情報とはそもそも何か、どのような仕組みで利用しているのか、またどうやって守られているかを学ぶとともに、どうやって扱えばよいのかを理解して、社会における一利用者としての必要な情報倫理を身につけます。また、身につけた知識を他者にわかりやすく伝達することができるよう、プレゼンテーション能力を養います。

到達目標

- 1) 情報の定義、インターネットの仕組み、情報セキュリティについて理解し、説明することができる。
- 2) 情報社会で必要な情報倫理について理解し、説明することができる。
- 3) 身につけた知識を、他者にプレゼンテーションすることができる。

成績評価方法

期末定期試験、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			40
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】、【情報とは 1】 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
2) 【情報とは 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
3) 【情報とは 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
4) 【情報とインターネット 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
5) 【情報とインターネット 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
6) 【情報とインターネット 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
7) 【情報セキュリティ 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
8) 【情報セキュリティ 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
9) 【情報セキュリティ 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
10) 【個人情報保護 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
11) 【個人情報保護 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
12) 【個人情報保護 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
13) 【著作権 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
14) 【著作権 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
15) 【著作権 3】、【総括】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
授業外学習	
授業で扱ったトピックについて、授業外でも関心を持ち情報検索を行ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
データを適宜配布します。	保育学科：情報機器の操作 食物栄養学科：栄養情報処理、パソコン演習、パソコン演習

課題に対するフィードバック

授業内で解説を行います。

備考

- ・授業は講義形式ですが、それぞれのトピックで情報検索を行い、検索した内容についてのスライドを作成して発表していただきます。必ず毎回出席するようにしてください。
- ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	情報機器の操作			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	門間 政亮	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

【対面授業】

情報処理能力を養うため、コンピュータに関する基礎的知識と、基本的なパソコン活用方法の習得を目指します。

到達目標

- 1) 本学の共通端末を起動し、Windowsの基本操作ができる。
- 2) メール操作(作成、送受信)ができる。
- 3) インターネットを使用して目的の情報が収集できる。
- 4) 情報社会の中でのルールやマナーについて理解し、説明できる。
- 5) Wordを使用して文章作成ができる。
- 6) Excelを使用してデータの整理やグラフ作成ができる。
- 7) PowerPointを使用してプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表することができる。

成績評価方法

期末定期試験、レポート、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク							
演習	○	○	○	○			20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】、【メールの設定・操作】-メールの作成、送受信- 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】メール操作の確認（20分）	個人ワーク
2) 【Windowsの基本操作】- Windowsの仕組み、ファイル操作、タッチタイピング- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】タッチタイピングの練習（20分）	個人ワーク
3) 【インターネットの利用】-情報検索、情報社会のルールとマナー- 【予習】ファイル操作の確認（10分） 【復習】情報検索（20分）	個人ワーク
4) 【文章作成 1】-Wordの基礎、文章の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
5) 【文章作成 2】-書式設定、図表の挿入- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
6) 【文章作成 3】-総合的な資料の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
7) 【表計算 1】-Excelの基礎、表の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
8) 【表計算 2】-データ整理、計算- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
9) 【表計算 3】-グラフの作成、編集- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
10) 【プレゼンテーション 1】-PowerPointの基礎、スライドの作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】PowerPoint操作の確認（20分）	個人ワーク
11) 【プレゼンテーション 2】-レイアウト、アニメーション- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作内容の検討（20分）	個人ワーク
12) 【プレゼンテーション 3】-デジタル絵本（紙芝居）の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作物の確認（10分）	個人ワーク
13) 【プログラミング体験】-Scratch入門- 【予習】情報検索（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
14) 【総合演習 1】-情報検索、グラフの作成、スライドの作成- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
15) 【総合演習 2】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表した内容の確認（20分）	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>コンピュータは使えば使うほど上達します。授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習してください。特にタイピング練習は重要です。空いた時間で構わないので、積極的に行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice2016対応（noa出版）	

課題に対するフィードバック

次回の講義冒頭で解説を行います。

備考

- ・この「情報機器の操作」は、保育学科を対象に開講しています。
- ・本学への入学までに学んだ情報リテラシーを活用し、総合的な情報通信技術を活用する力を高めます。必ず毎回出席するようにしてください。
- ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	体育講義						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	1年	前期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修 障がい者スポーツ指導員資格（初級） 必修			
授業概要 病気がなく、心とからだが健やかな状態であることを健康という。まさに、健康は人間誰もが望むところである。健康な心とからだを維持し、生き生きとした生活を送るためには未然に疾病等を予防することが大切と言われている。そのひとつとして、適度な運動を続けることが挙げられている。 本講義では、身体活動・運動の視点から、自分自身の健康のあり方を歩数や体脂肪率、筋肉量等の測定値を通して見つめ直し、生涯にわたる健康的なライフスタイルを確立するための実践方法を修得できることを目的とする。							
到達目標 J1117abd M1117 ・現在の自分の健康に関する課題に気づき、将来の自分の姿を想定し、今後の健康でいきいきとした豊かな生活のための健康づくりプランを考えることができる。 ・日常生活における身体活動・運動を通じた自分の健康観を説明できる。			成績評価方法 ・定期試験 ・授業内レポート （毎授業のふりかえりシート） ・授業外レポート（1週間活動記録表） ・授業態度・授業参加度（ハラスポーツクリエイション参加態度）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 健康とは 自分の健康観について考える・歩数の計測について 【予習・復習】活動目標を考える・現在の自分の身体活動・運動について記録する（60分）	
2) わが国の健康事情 認知症予防から学ぶ(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
3) 身体活動・運動と健康 運動不足による疾病のリスクについて(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
4) 身体活動量を高める方法について 前半の自分の身体活動について見つめる 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
5) 生涯におけるスポーツ活動について（障がい者スポーツの意義） 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
6) 生涯におけるスポーツ活動について /（障がい者スポーツの実際・安全管理） 【予習・復習】活動目標を考える・プラスレクリエーションのふりかえりを記入する（60分）	
7) 健康づくりプランを考える / 健康的なライフスタイルのために 【予習・復習】自分に合った健康づくりプランを考える（60分）	
8) 授業のまとめ・学びのふりかえり	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
自分の普段の生活をみつめ、身体活動量を知りましょう。そして、身体活動量を高める自分なりの方法を探しましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・健康スポーツ ・健康スポーツ

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返す

備考

科目名		健康スポーツ					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実技	選択	1	1年	前期			
担当者名	和田 康夫		関連する資格	幼稚園教諭二種免許・保育士資格 健康スポーツの いずれか1単位以上必修			
授業概要 子どもの取り巻く環境は、大きく変化してきており、体を動かす習慣が次第に失われ、運動する子どもとしない子どもの二極化が社会問題になっているといっても過言ではない。体を動かすことによって、健康や体力の保持増進に限らず、コミュニケーション能力などのこころの発達にも大きな影響をもたらすことを指導者が理解しておくことは重要なこととなる。本授業では、幼児期からの運動遊びやスポーツを窓口に、自らスポーツを楽しむだけにとどまらず、スポーツや運動遊びの効果について学ぶ機会とする。							
到達目標 ナンバリング(J1118ab) ・幼児期からの運動習慣の必要性を理解し、創造的に運動遊びやスポーツを積極的に行おうとする関心や態度をもてるようにする。 ・仲間とともにスポーツをする楽しさを味わい、遊びのアレンジについて理解する。 ・多様な動きのある運動遊びの実践を通して学び、仲間と一緒にアレンジしていくことで、スポーツの楽しさを味わう。			成績評価方法 ・授業内レポート ・授業外レポート ・運動遊び大会のプレゼンテーション ・授業への参加態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（受講上の留意点・授業計画・評価方法など） 復習：授業の流れや目標について理解する。 予習：ACPの意義について調べる。	
2) ACPの実践（アイスブレイキング・新聞紙など） 復習：ACPの理論と実践について、ふりかえりシートに記入 予習：ソフトバレーボールの基本ルールについて調べる	
3) ACPの実践（鬼遊び・ボールを使って）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ソフトバレーボールの反則となるルールを調べる。	
4) ACPの実践（ボールを使って・ケンパ）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ソフトバレーボールの練習方法を調べる。	
5) ACPの実践（ボールを使って・ジャンケン）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入 予習：バドミントンの基本ルールを調べる。	
6) ACPの実践（用具を使って）バドミントン 復習：ふりかえりシートの記入 予習：バドミントンのスキルについて調べる。	
7) ACPの実践（投力・バランス）バドミントン 復習：ふりかえりシートの記入 予習：サッカーのルールを調べる。	
8) ACPの実践（新聞紙） サッカー 復習：ふりかえりシートの記入 予習：障がい者スポーツ（パラスポーツ）について調べる。	
9) ACPの実践（風船） 風船バレー ポッチャ（ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入 予習：人間関係づくりについて、その種類や行い方を調べる。	
10) 人間関係づくり体験（PA）風船バレー ポッチャ（ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ACPの指導するにあたっての留意点をまとめる。	人間関係づくりプログラム
11) ACP教室の指導案づくりに役立つ実践 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ACP教室プログラム作成	
12) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する。	ACPの模擬授業
13) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する	ACPの模擬授業
14) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する	ACPの模擬授業
15) ACPの理論と実践のまとめ 復習：授業の取組についてふりかえる。	ACPの模擬授業
授業外学習	
遊びのアレンジを实践しておきましょう。 ACP普及講習会（6月）やACP教室に参加してみましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
ACPガイドブック（JSPO編）	健康スポーツ

課題に対するフィードバック

備考

科目名	健康スポーツ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	1	1年	前期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許・保育士資格 健康スポーツ のいずれか1単位以上必修	

授業概要

スポーツは私たち人間にとって、肉体的にも精神的にもさらに、人との繋がり、仲間づくりといったコミュニケーションの促進にも有益であると言われている。
本講義では、「だれもが、いつでも、どこでも、気軽に参加できる」スポーツをテーマに、競うことよりも楽しむことを主としたニュースポーツ（ニュー・コンセプチュアル・スポーツ）を仲間と共に楽しみながら主体的に取り組むことを目的とする。

到達目標

J1118ab
・準備から後片付けに至るまで、何事にも主体的に取り組むことができる。
・他の受講生にも、積極的に関わりをもち、からだを動かす楽しさや心地よさを仲間と共に共有することができる。
・健康で、豊かな生活が送れるよう、生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するための方法を見つける。

成績評価方法

・授業内レポート（ふりかえりシート）
・授業外レポート
・授業態度・参加度（服装、身だしなみ等含む）
・プレゼンテーション
（スポーツ大会グループごとに企画）
以上を総合的に評価をする

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業計画・授業評価等について） 【予習】シラバスを熟読する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
2) インディアカ 【予習】インディアカのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
3) ソフトバレーボール 【予習】ソフトバレーボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
4) フリーテニス 【予習】フリーテニスのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
5) シャッフルボード・ペタンク・フライングディスク 【予習】ペタンクのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
6) キンボール 【予習】キンボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
7) フライングディスク（アルティメット） 【予習】アルティメットのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
8) ユニバーサルホッケー 【予習】ユニバーサルホッケーのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
9) チャレンジ・ザ・ゲーム 【予習】チャレンジ・ザ・ゲームについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
10) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
11) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
12) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
13) スポーツ大会の企画 【予習】スポーツ大会企画、及びプレゼンテーションを考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
14) スポーツ大会の企画 【予習】チームで勝つための練習を考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
15) スポーツ大会・授業のまとめ「生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するためには」【予習】チームで一致団結する方法を考える（30分）（30分） 【復習】生涯通じて楽しくできるスポーツ活動を考える（30分）	
授業外学習	
<p>普段の生活の中でからだを動かすこと（スポーツ活動・身体活動）を取り入れてみましょう。 自分の住んでいる地域等で開催されているスポーツイベント（するスポーツ・みるスポーツ）に参加してみましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
なし	健康スポーツ

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返却する

備考

本授業は、旧短期大学部のある「第2体育館」にて授業を行います。場所を確認し、安全に十分に気を付けて移動してください。尚、体育館内には、更衣室があります。

科目名	国際現地研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	2	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

本学と学術協定を結んでいる海外の大学への研修あるいは交換留学などのプログラムに参加した者に対して単位を授ける。この単位に関しては、30日以内のプログラムが対象となる。単位認定の前提条件としては、プログラム参加前に科目登録を行い、留学前の指導を受けるものとする。留学後は報告書を提出してもらう。

到達目標

- ・ 留学先の情報を積極的に収集し、滞在中の活動を自らアレンジできる。
- ・ 異文化を理解し、外国での体験を具体的に伝えることができる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>1) ~ 15) 留学前と留学後に適時指導を行う。 指導内容は留学前の心構え・準備から留学中に注意すべき事柄に及ぶ。留学後は反省会を開き、留学体験のフィードバックを行うことによって、プログラムの改善に寄与してもらおう。また、将来のプログラム参加者のために学内で随時報告会を催す。この科目の単位取得者に対しては、自らの体験の発表の場としての報告会への積極的参加を促す。また、この科目を受け入れ留学生が希望した場合は、別途日本語の授業を通して日本語能力の向上を目指す。 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。</p>		グループワーク
授業外学習		
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
各自で留学先のガイドブック等を購入してもらいたい。	国際交流プランニング	

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	国際交流プランニング						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	内海 俊祐		関連する資格				
授業概要 遠隔授業を行う。GoogleClassroomを使い、授業ビデオをアップロードし、テキストに基づく授業内容の説明と課題の指示を行い、併せて資料の提示を行う。 異文化理解の意義、交流の必要性を学び、実際に留学生と交流し、サポートをするに際して必要な生活上の問題、日本文化や日本語関連の知識を習得する。							
到達目標 ・外国人留学生のフレンドシップパートナーやピアサポーターの役割が果たせる。 ・交流に当たって必要となるさまざまな事柄を学習する。			成績評価方法 講義への参加度、レポート、プレゼンテーション及びグループワークで評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							30
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 異文化理解の意義 日本文化を知る_映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
2) 異文化理解の意義 日本文化を知る_映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
3) 異文化理解の意義 日本文化を知る_映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
4) 日本文化を概略的に知るために 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
5) 日本人の言語行動 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
6) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
7) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
8) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
9) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
10) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
11) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
12) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
13) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
14) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
15) まとめ 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
授業外学習	
パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションの準備をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回講義においてプリント等を配布する。	国際現地研修

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

この授業の単位の要件はパワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションとする。

科目名	スタンダード英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	竹山 恵里	関連する資格		

授業概要

英語のアクティビティを通して、基礎的な文法・会話を養成する。
本授業は対面で実施する。(状況によっては遠隔に変更する場合もある)

到達目標

ナンバリング(J1120a)
中学・高校時代に培った英語力を、様々な活動を行うことによってスムーズに発話できるようにする。

成績評価方法

期末試験60点 + 授業態度・授業参加度20点 + 小テスト20点 = 100点満点 毎回プリントを配付・提出
(紛失しても再配付はなく、減点となる)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 仲間作り・自己紹介 【復習】自己紹介文を書く・暗記する(20分)	与えられた簡単なQ&Aを通し、クラスメートを知る
2) フォニックスの基礎（日本語の音との違いを知る）Be動詞と一般動詞の使い分け 【予習】一般動詞30以上挙げる(ルーズリーフに書く)(20分) 【復習】フォニックス発音、その音で始まる単語を書き出す(20分)	ペアで口の形・筋肉・息の出方をチェックする
3) 時制（過去・未来）を使った自己紹介：ワードオーダー（語順）の日英差 【予習】自己紹介文+1日の活動を時間軸に従い書く(30分) 【復習】動詞の過去形を覚える(20分)	簡単な自分史・目標を仲間とシェアする
4) 世界の国々：疑問詞文・数字 【予習】世界の国々とその首都を表にする(30分) 【復習】大きい数字の読み方を英語で書く(20分)	国旗を使い、その国の人間になり、情報交換をする
5) 旅行計画：未来形で計画を表現 【予習】国内・外の観光地について調べる(20分) 【復習】旅行計画をレポート的に書く(30分)	5W1Hで相手の旅行計画を聞きだす・経験をシェア
6) 旅行に関する英語（機内・入管）：リスニング、発音、発話の強化 【予習】機内での会話を暗記する(30分) 【復習】入管での会話を暗記する(30分)	海外旅行での機内・入管での会話をロールプレイする
7) 朝起きてから寝るまでの英語（1）：動詞変化の整理・疑問詞文 【予習】朝起きてから寝るまでの行動を現在形で書く(30分) 【復習】朝起きてから寝るまでの行動を過去形で書く(30分)	1日の自分の行動を整理し、友人との違いをシェアする
8) 朝起きてから寝るまでの英語（2）：頻度の副詞・時の前置詞整理 【予習】頻度の副詞を書き出す(10分) 【復習】日頃の習慣を頻度の副詞を使って書く(30分)	副詞・前置詞で文に広がりを与え、お互いを深く理解する
9) 家族・友達紹介（親族の呼称・人称の整理） 【予習】自分の家系図を描く(10分) 【復習】家族の趣味や性格などを一覧表にする(30分)	自分の家族のことをお互いに紹介しあう
10) 疑問詞文・助動詞文の整理 【予習】助動詞を書き出し、例文を作る(20分) 【復習】疑問詞+助動詞を組み合わせ作文する(20分)	Q&Aを再度整理し、正しい情報を伝える
11) わたしの家・町・国：前置詞・形容詞の整理 【予習】形容詞を家・町・国、それぞれマインドマッピングする(20分) 【復習】「理想の私の家」について作文する	自分の身の回りを見直し、比較、再認識する
12) 好きな本の紹介 【予習】一番好きな本を読んでくる(30分) 【復習】他に好きな本について作文する(30分)	好きな本についてのQ&A
13) 絵本読み聞かせ 【予習】好きな本の一部分を徹底的に読む(20分) 【復習】「読み聞かせに使った本」を写す(30分)	読むだけでなく、聞き手の感想を受け、さらに読み込む
14) 現在完了形で経験を表現：将来の希望を未来形、または仮定法で表現 【予習】動詞の過去分詞形（原形・過去形も）を表にする(15分) 【復習】自分の経験を完了形を使って作文する(30分)	経験を話す。未経験なことへの希望を話し作文する
15) 文法整理・総復習 【予習】予習：使用したプリントを整理する(30分)	
授業外学習	
毎回、授業プリントを使用して復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント配付・辞書必携	

課題に対するフィードバック

理解が難しかった部分を小テストし、満点が取れるまでくり返し教授し、納得させる。

備考

期末試験の再試験は行わず、それに代わるレポート提出も行わない。
予習・復習（家庭学習）の達成度は成績の30%を占める。

科目名	編入対策英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 編入試験問題（英語）の特徴について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 編入試験問題（英語）への対策について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) どうしたら英語の能力が向上するかを考える 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 様々な英語の楽しみ方 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語習慣化の提言 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 演習問題1 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 演習問題2 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 演習問題3 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 演習問題4 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 演習問題5 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 演習問題6 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 演習問題7 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 演習問題8 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 演習問題9 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) まとめと今後の学習について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
<p>予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。 紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。</p>	<p>スタンダード英語</p>

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

この科目は、半期開講科目で単位取得になります。通年科目ではありません。
前期にこの科目を受講して単位を取得し、後期に引き続きこの科目の受講を希望する者は、学生支援課で「特別履修」の手続きをしてください。その場合、受講はできますが単位取得はできません。
連絡先： uchiumi@frontier-u.jp

科目名	編入対策英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 編入試験問題（英語）の特徴について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 編入試験問題（英語）への対策について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) どうしたら英語の能力が向上するかを考える 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 様々な英語の楽しみ方 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語習慣化の提言 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 演習問題1 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 演習問題2 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 演習問題3 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 演習問題4 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 演習問題5 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 演習問題6 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 演習問題7 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 演習問題8 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 演習問題9 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) まとめと今後の学習について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
<p>予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。 紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。</p>	<p>スタンダード英語</p>

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

この科目は、半期開講科目で単位取得になります。通年科目ではありません。
前期にこの科目を受講して単位を取得し、後期に引き続きこの科目の受講を希望する者は、教務課で「特別履修」の手続きをしてください。その場合、受講はできますが単位取得はできません。
連絡先： uchiumi@frontier-u.jp

科目名	オーラル英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	針間 サラン	関連する資格		

授業概要

This course will help you to improve your spoken English in a variety of everyday situations, focussing on travel.
このコースでは、色々な場面、特に旅行に使う英会話力の上達を目指します。

到達目標

ナンバリング(J1121a)
Students will learn casual conversational English and learn phrases necessary for travel abroad. 日常英会話と旅行英語に必要な表現を学びます。

成績評価方法

Students attending this course will be evaluated according to their class participation, in class presentations, attitude, effort and test results. 授業参加、授業中の発表、態度、努力、試験の結果によって評価されます。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○		○		30
小テスト、授業内レポート	○		○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オーラル英語の紹介・説明 Introduction テキストの紹介 Where are you from? 出身はどこですか 【復習】ページ4-7の確認 (30分)	グループワーク
2) Classroom Language 教室英語 How long are you staying? Immigration 入国審査 【復習】ページ8-11の確認 (30分)	グループワーク
3) Nice to meet you. 初めまして。 【復習】ページ12・13の確認 (30分)	グループワーク、課題
4) What time is Dinner? Hotel ホテルの英語【復習】ページ16・17の確認 (30分)	グループワーク
5) It's a kind of jacket. Explaining Japanese Culture 日本の文化の説明 【復習】ページ18・19の確認 (30分)	グループワーク
6) How was it? Describing Events イベントの感想を述べる 【復習】ページ22・23の確認 (30分)	グループワーク、課題
7) Help yourself. Meal time 食事の言葉 Roleplay Test 1 Explanation and Preparation ロールプレイテスト 1の説明と準備 【復習】ページ24・25の確認 (30分)	グループワーク
8) Roleplay Test 1 ロールプレイテスト実施【復習】これまでに学習したテキスト (30分)	ロールプレイテスト
9) I'd like 15 tickets please. 切符の購入 【復習】ページ26・27の確認 (30分)	グループワーク、課題
10) Can I have a towel, please? 宿での依頼 Are you into music? Hobbies and Interests 趣味 【復習】ページ28-31の確認 (30分)	グループワーク
11) Tell me about your family. 家族について 【復習】ページ36・37の確認 (30分)	グループワーク
12) I'm hungry! Ordering Food 料理の注文 【復習】ページ38・39の確認 (30分)	グループワーク、課題
13) What are you doing tomorrow? 明日の予定 【復習】ページ40・41の確認 (30分)	グループワーク
14) How much is it? いくらですか Roleplay Test 2 Explanation and Preparation ロールプレイテスト 2の説明と準備 【復習】ページ42・43の確認 (30分)	グループワーク
15) Roleplay Test 2 ロールプレイテスト実施 【復習】試験の復習プリント (120分)	ロールプレイテスト
授業外学習	
Review and practice the material covered in the previous week's lesson before each class, and complete any assignments or preparation for role plays tests. 全授業の復習、必要なら課題やロールプレイテストの準備・練習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
My First Passport 1 (2/E) English for International Communication	スタンダード英語

課題に対するフィードバック

課題は翌週コメントをつけて返します。

備考

【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	教育・保育職論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

教育・保育に関する様々な問題状況に関心を持ち、教職員となる自分自身の役割、社会的責任および、教職や保育職の専門性、また、それらの前提となる社会人としての姿勢などについて学ぶ。

到達目標

制度面をはじめ、教員・保育者に必要な基本的な知識をえること。
 今まで、そして今も「受ける」立場にあるところから「行う」立場の教員・保育者としての姿勢について考えることができること。
 保育園（所）や幼稚園のさまざまな実態を知り、教育・保育の職にある者が担うべき役割・あるべき姿と課題について考えることができること。

成績評価方法

定期試験 80%
 提出課題等 20%

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							80	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							10	
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) (1) オリエンテーション 受講上の留意点と学習姿勢について 【予習・復習】シラバスを確認し、ノートを作成等、受講に必要と思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) (2) 保育士、教員とは何かを考える(1) 「働く」ということと保育 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 保育士、教員とは何かを考える(2)語られる教員像、現場の求める保育者像 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
4) (4) 幼稚園・保育所の一員としての保育者の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) (5) 信頼される保育者、教育者として 志向、倫理・規範 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) (6) 保育者の仕事について考える(1) 日々の保育とクラスの運営 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみる。	
7) (7) 保育者の仕事について考える(2) 園・所の管理運営、行事への対応 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
8) (8) 学校教育・保育職に関する制度【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) (9) 教育・保育職の養成とキャリアアップ 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) (10) 現代の保育・教育と課題(1) 保護者・地域との関わり、連携・協働 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
11) (11)現代の保育・教育と課題(2) 保幼小連携、保育需要をめぐる課題への対応【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみ	
12) (12)現代の保育・教育と課題(3) 子ども・子育て支援新制度と教育・保育職の今後 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返る	
13) (13) 保育職のあるべき姿(1)子どもの最善の利益を優先する保育者であるために 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返って	
14) 保育職のあるべき姿(2)よい保育を実現するために - 組織の中の役割・責任と行動 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返る	
15) 15)まとめ 信頼される存在になるために - プロとしての保育者の資質 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみる	
授業外学習	
9.9320188801	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 「プロとしての保育者論」上野恭裕編著 (保育出版社)</p> <p><参考書> 「学校文化の社会学」、「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「保育福祉小六法」</p>	<p>教育原理、保育原理、教育・保育カリキュラム論、教育実習、保育所実習、各実習指導、保育・教職実践演習</p>

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

受講の心得> 講義の趣旨のひとつが教育・保育職にある者としての姿勢を問うものであることから、受講に際しても、そのことを踏まえた「姿勢」を体现することを求める。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	保育原理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	徳永 良枝	関連する資格	保育士資格 必修 社会福祉主事任用資格 必修	

授業概要

- ・ 保育の意義や目的、保育の基本的な考え方を学び、「保育」に対する認識を高めていく。
- ・ 保育の歴史的展開や子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、保育の基礎条件は何かを考えながら子どもの発達過程に応じた保育の方法や内容についての理解を深める。
- ・ 幼児教育に関わる実務経験をもとに、現場での実践（保育）事例と関連づけながら興味関心を高め、「これからの保育」に対する考えを修得するように授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1101bg)
 幼稚園教育要領や保育所保育指針において保育の基本を理解し、保育の意義を認識する。
 保育の思想や成り立ち、変遷について理解する。
 保育の現状と課題について考察する。

成績評価方法

- ・ 定期試験
- ・ 授業内レポート
- ・ グループワーク・プレゼンテーションによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		15
プレゼンテーション	○			○			5
グループワーク	○		○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育の基本 「保育」とは何か 【予習・復習】テキストとシラバスの内容確認（90分）	授業内レポート
2) 保育の基本 変化する社会の中で求められる保育・教育のあり方 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
3) 保育における「子ども理解」 子ども理解から始まる保育 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
4) 保育の制度と現状 保育所・幼稚園・認定こども園 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
5) 保育の歴史 日本の保育の変遷と発展 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
6) 保育の内容 保育内容の定義と構造 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
7) 保育の方法 子どもと保育者が共につくる保育 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
8) 保育の計画 保育の計画と評価の意義 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（60分）	授業内レポートによる質疑応答
9) 保育者の専門性と資質向上 保育現場のかかわりの中で求められるもの 【予習・復習】保育新聞作成準備（60分）・レポート作成（90分）	授業内レポートによる質疑応答
10) 子育て支援 現代の家庭と子育て支援 【予習・復習】保育新聞作成準備（60分）・レポート作成（60分）	授業内レポートによる質疑応答
11) 保育でのさまざまな対応 多様な子どもの理解と保育 【予習・復習】保育新聞作成（120分）	グループワーク
12) 保育の現状と課題 保育新聞作り（グループワーク） 【予習・復習】保育新聞作成（120分）	グループワーク
13) 保育の現状と課題 プレゼンテーション（グループワーク） 【予習・復習】プレゼンテーション準備と振り返り（90分）	プレゼンテーション及び評価
14) 保育の現状と課題 プレゼンテーション（グループワーク） 【予習・復習】プレゼンテーション準備と振り返り（90分）	プレゼンテーション及び評価
15) 保育者に求められるもの 保育の質と評価 【復習】テキストとレジユメの内容確認 試験に向けての振り返りとまとめ（120分）	自己評価レポート
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読のこと。 13) 14) は、「保育の現状と課題」についてグループでプレゼンテーションを行う。 保育新聞作成に向け、乳幼児に関わる記事や出来事について、新聞やニュースなどで興味や関心をもったものを2つ集めておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
アクティベート保育学1「保育原理」 汐見稔幸・無藤隆・大豆生田啓友 編著（ミネルヴァ書房）	教育・保育カリキュラム論、保育内容総論 教育原理

課題に対するフィードバック

授業内レポートにより、学生の理解度を確認すると共に疑問点などの対応を行う。

備考

科目名	子ども家庭福祉			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	坂井 芳浩	関連する資格	保育士資格 必修 社会福祉主事任用資格 必修	

授業概要

本授業は対面授業で実施する。

子ども家庭福祉の理念、歴史的展開や最近の動向、あるいは子ども家庭福祉の法体系や実施体制等の理解を深めていくとともに、現実に即した子ども家庭福祉観を温め、保育士としての専門性を高める。さらに、専門里親、児童養護施設及び母子生活支援施設、スクールソーシャルワーカーの実務経験をもとに、社会的養護や子ども家庭支援について授業を行う。

到達目標

ナンバリング(J1103bg)

- 1.一連の授業を通して、子どもや家庭の福祉領域に係る知識を実践に適用できる。
- 2.児童福祉法や子どもの権利条約等の資料を通して、理論や専門用語を説明できる。
- 3.関連するDVDや新聞記事等に触れ、グループ内で主体性と協調性をもって討論し、感性豊かな表現ができる。

成績評価方法

知識：知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。

態度：質問や意見を授業や出席カードの質問・意見欄を通して表出するなど主体性・積極性を評価する。また、グループワークやプレゼンテーションを通して、協調性や表現力も評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 特別講義 DVDから見る「子ども家庭福祉Part 1」～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ 【予習】児童養護施設に関する事前の情報収集（20分）【復習】DVDを観て率直な感想の記録（10分）	担当教員との質疑・意見交換
2) 特別講義 DVDから深める「子ども家庭福祉Part 2」～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ 【予習】前回の感想や考え方の整理（10分）【復習】DVDを観て率直な感想の記録（10分）	担当教員との質疑・意見交換
3) 特別講義(グループワーク)DVDを振り返る「子ども家庭福祉Part 3」～こども家庭福祉の考察を深める【予習】DVDの感想や支援者についての整理と理解（20分）【復習】他者の発言や他グループの発表の振り返り(10分)	グループワーク及びプレゼンテーション
4) 子ども家庭の福祉 ～ウェルフェアからウェルビーイングへ 【予習】テキストp12～34の熟読（30分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
5) 子ども家庭福祉の歴史(1) ～海外の歴史 【予習】テキストp36～51の熟読（20分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
6) 子ども家庭福祉の歴史(2) ～日本の歴史 【予習】テキストp52～60の熟読（20分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
7) 子ども家庭福祉の制度と法律 ～子育て支援制度の根拠法 【予習】テキストp62～82の熟読（30分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
8) 特別講義(グループワーク)新聞記事等から見る「子ども家庭福祉Part 4」～「このとりのゆりかご」から学ぶ【予習】「このとりのゆりかご」についての事前学習(20分)【復習】発言や他グループ発表の振り返り(10分)	グループワーク及びプレゼンテーション
9) 特別講義 小レポートの作成から深める「子ども家庭福祉Part 5」～「このとりのゆりかご」に関する考察のまとめ 【予習】自己の意見や考えの整理（20分）【復習】自己認識の振り返り（10分）	小レポートの作成
10) 子ども家庭福祉にかかわる機関と施設 ～子ども家庭福祉分野の専門職 【予習】テキストp84～108の熟読（30分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
11) 少子化と子育て家庭へのサービス ～少子化対策の必要性 【予習】テキストp110～136の熟読（30分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
12) 子育て支援と子どもに関する諸問題 ～子育て支援サービス 【予習】テキストp138～147、p154～163の熟読（20分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
13) 子育て支援と子どもに関する諸問題 ～子どもに関する諸問題 【予習】テキストp148～153、p164～177の熟読（20分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
14) 地域における連携・協働とネットワーク ～子どもの生活と権利を守る 【予習】テキストp180～204の熟読（30分） 【復習】ノートや配布資料等による振り返り（10分）	
15) 特別講義 まとめ「子ども家庭福祉Part 6」～子ども家庭福祉を振り返る 【予習】過去のノートや配布資料の整理（30分） 【復習】定期試験に向けての復習・まとめ	小レポートの発表（紹介）を通しての質疑・意見交換
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、事前にテキストの該当単元を熟読して授業に臨んでください。 ・ 3)、8)のグループワークのテーマや課題に沿って、事前に各自の考えや意見をまとめて授業に臨んでください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉」直島正樹・河野清志 編 著（発行所：榊文書林） その他「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」	社会福祉

課題に対するフィードバック

小レポートについては、翌週コメントをつけて返します。
出席カードによる意見・質問等については、毎回翌週の授業初めに回答します。

備考

- ・指定のテキストは事前に購入してください。
 - ・積極的な発表や質問に心掛けてください（出席カードを介しての意見・質問を含む）。
 - ・他の学生に迷惑を掛ける行為をする者は退席願います（私語等も含む）。
- 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	社会福祉						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	前期			
担当者名	近藤 鉄浩		関連する資格	保育士資格 必修 社会福祉主事任用資格 必修			
授業概要 自己責任、自立、QOLなどのキーワードを手がかりに、社会福祉が目指しているもの、社会福祉の主要な法律・制度を学習する。また社会福祉援助の基本理念と援助のポイントについて学ぶ。 全国身体障害者総合福祉センター、老人保健施設、病院でのソーシャルワーク実務経験をもとに、福祉の対象理解、社会福祉援助の要点について授業を行う。 本授業は対面により実施する。							
到達目標 ナンバリング (J1104bg) 1. 現代社会において社会福祉が必要とされている背景について説明できる。 2. 社会福祉の法律、制度の基本的な仕組みを理解できる。 3. 社会福祉援助の基本理念と援助の進め方の基本を理解できる。			成績評価方法 期末定期試験、小テストにより評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 保育学科学生と社会福祉との関係 【予習】保育と社会福祉の関係について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) 社会福祉とは何か 【予習】社会福祉とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) 現代における社会福祉の課題 【予習】「貧困率」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) 社会福祉の理念 【予習】「人間の尊厳」という言葉について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
5) 5) 社会福祉の基本的なしくみ 【予習】「福祉六法」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
6) 6) 社会福祉の援助のしかた 【予習】「ソーシャルワーク」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
7) 7) 社会福祉援助において大切なこと 【予習】対人援助専門職の役割について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
8) 8) 社会福祉施設について 【予習】「社会福祉施設」にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
9) 9) 施設での援助の実際 【予習】乳児院について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
10) 10) 低所得者の福祉 健康で文化的な最低限度の生活とは 【予習】「生活保護制度」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
11) 11) 低所得者の福祉 生活保護制度の問題点 【予習】生活保護制度の問題点について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
12) 12) 障害者の福祉 障害者の生活と自立 【予習】ノーマライゼーションについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
13) 13) 障害者の福祉 障害のある方々の思い 【予習】障害の種類と内容について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
14) 14) 高齢者の福祉 高齢者介護の昔と今 【予習】高齢者介護の問題点、ダブルケアについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
15) 15) まとめ 社会福祉の課題 【予習】これまで学習した内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を授業プリントにより復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	子ども家庭福祉、子ども家庭支援論

課題に対するフィードバック

小テストは採点の上翌週に返却する。また必要に応じコメントを付す。

備考

科目名	子ども家庭支援論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	前期			
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 子育て家庭に対する支援の意義と支援体制、子ども家庭支援にとって必要となる援助の概要を理解する。援助を行う際の基本的な視点や原則、援助者としての態度や関わり方等については適宜演習を行いながら学んでいく。 病院、老人保健施設でのソーシャルワークの実務経験をもとに、対人援助における基本的態度や援助技法について授業を行う。 本授業は対面により実施する。							
到達目標 ナンバリング (J3101b) 子ども家庭支援の意義や目的を理解できる。 相談援助を行う際の基本的な視点や考え方、援助の原則、援助者としての態度や関わり方について理解できる。			成績評価方法 期末定期試験、小テストにより評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】保育所保育指針第4章を読む（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) 子ども家庭支援の意義、目的について 【予習】保育所保育指針解説書第4章を読んでおく（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) 子ども家庭支援の基本 【予習】全国保育士会倫理綱領を読んでおく（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) 保育士に求められる基本的態度 【予習】パイステックの7原則を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
5) 5) 保育士に求められる基本的態度 【予習】割り当てられた発表の準備をする（30分） 【復習】演習を振り返り要点を整理する（30分）	小テスト グループワーク
6) 6) 支援に求められる視点 - 本人の持つプラスの面を見出す - 【予習】ストレングス視点について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
7) 7) 援助における関係の特徴について 【予習】自己覚知について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
8) 8) 援助の際の関わり方について 【予習】自分が人と関わる時に取りやすい態度について考える（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
9) 9) 援助の技法 よい聴き手になるには 【予習】「傾聴」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
10) 10) 援助の技法 よい聴き手になるには 【予習】傾聴することの難しさについて考える（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
11) 11) 子ども家庭支援のアセスメントについて 【予習】「アセスメント」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
12) 12) 子ども家庭支援の進め方 【予習】一般的な対人援助の進め方を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
13) 13) 子育て家庭への支援体制 【予習】子育て家庭を支援する社会資源について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
14) 14) 子育て支援に関する課題 【予習】子育て支援の問題点について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
15) 15) まとめ 【予習】これまでの学習内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	社会福祉、子育て支援

課題に対するフィードバック

小テストは採点の上、翌週の授業時に返却する。

備考

科目名	社会的養護			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 浩二	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

様々な環境・状態にある子どもや家庭の現状を理解するとともに、保育者として子どもと関わることの意味・意義について考える。
また、社会的養護を要する、あるいは社会的養護を要する可能性のある子どもや家庭に対する理解を深め、保育者として多面的に思考し、適切な対応方法を学ぶ。

到達目標

ナンバリング(J1105b)

1. 子どもの権利保障を理解する
2. 社会的養護を要する子どもや要する可能性のある子どもならびにその過程などに対する理解を持ち、保育者としての行動ができるようになる。
3. 社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割について理解する

成績評価方法

課題の提出、定期試験及び授業態度をもって評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会的養護の概念（子どもの状況・背景の理解） 【復習】プリント：子どもの状況・背景を整理する（30分）	さまざまな子どもの生活の状況や背景を考える
2) 社会的養護の考え方1（養育・保育・養護） 【予習】子どもの生活を支える主体を調べる（60分） 【復習】プリント：子どもの生活の担い手を考える（30分）	
3) 社会的養護の考え方2（療育・特別な支援が必要な子ども） 【予習】障害について調べる（60分） 【復習】「障害は個性か？」レポート（90分）	
4) 社会的養護と子どもの権利 【予習】権利について考える（60分） 【復習】プリント：権利の守り方について考える（30分）	子どもの権利について考える
5) 現代の子どもを取り巻く状況（子どもの数など） 【予習】現代の子どもの実態を調べる（60分） 【復習】プリント：将来の社会での子どもの状態を考える（30分）	
6) 現代の家庭の状況（婚姻・離婚・子育てなど） 【予習】家庭と子どもの関係を調べる（30分） 【復習】プリント：現代の子育ての実態を調べる（30分）	現代の子育て家庭の課題等を考える
7) 子どもの発達（身体的・精神的発達） 【予習】発達の視点を調べる（30分） 【復習】プリント：発達曲線を作る（30分）	
8) 子どもの社会性の発達 【予習】子どもの社会性にはどんな内容があるかについて調べる（30分） 【復習】プリント：子どもの発達を知ることの意味を考える（30分）	
9) 児童虐待の概念 【予習】児童虐待の程度について調べる（60分） 【復習】プリント：児童虐待の種類について調べる（30分）	
10) 児童虐待の現状 【予習】児童虐待の背景について調べる（30分） 【復習】プリント：児童虐待の背景について整理する（30分）	児童虐待の事例を調べる
11) 児童虐待の実態 【予習】児童虐待の件数について調べる（60分） 【復習】プリント：児童虐待の背景について整理する（30分）	児童虐待の考察ワーク
12) 児童虐待への対応、児童福祉施設（児童養護施設、乳児院） 【予習】児童虐待からの子どもの守り方について調べる（30分） 【復習】プリント：児童福祉施設の種類について整理する（30分）	
13) 障害児の現状と障害児への社会的養護 【予習】障害の種類を調べる（60分） 【復習】プリント：障害のある子どもの生活について考える（30分）	
14) 障害児の地域生活支援 【予習】障害のある子どもの生活場所を調べる（30分） 【復習】プリント：障害のある子どもの生活場所を整理する（30分）	
15) 社会的養護を支える行財政 【予習】措置制度、契約制度について調べる（90分）	
授業外学習	
授業の際に翌週のプリントを配布しますので、事前に熟読するとともに空欄に語句等を埋めておいてください。授業の感想や質問などを積極的に出席カードに記述して下さい。質問等は次回に回答します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
随時プリントを配布	社会的養護

課題に対するフィードバック

課題として課した内容に対しては、次回に解説する。

備考

科目名	教育原理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

本講義では、教育の思想や歴史、学校教育を中心とした教育のしくみ、教育と社会との関係等について学修し、現代の教育という事象全般についての理解を深めること、また、教育組織の成員として適正な知見を得ることを目標とする。特に、歴史的な視点を通して教育の成立過程やその背景を理解することを通じて、現代における教育の意義・意味についての理解をすすめ、教育にみられる課題や社会における教育の役割、また、そのあり方等、教育の各事象について考えることのできる基盤を培うことを目指す。

到達目標

- ・ 教育の意義、教育の目的、教育の制度について理解する。
- ・ 教育の思想と歴史的変遷について学び、現代の教育についての理解・考察ができるようになる。
- ・ 教育組織の運営に関して配慮すべき要素を理解する。
- ・ 現代社会における教育の現状と教育の課題について理解する。

成績評価方法

成績評価方法
定期試験 80%
提出物・受講状況 20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 第1回:オリエンテーション-本講義の計画と目指すところ、および留意事項【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第2回:教育の意義と目的-人間社会における「教育」の意味と目的【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 第3回:子ども観と教育-子ども期の発見、児童中心主義など【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	資料映像視聴 ディスカッション レポート課題
4) 第4回:教育思想史と幼児教育-近・現代の人物とその思想【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) 第5回:学校の成立と展開(1)-学校教育の成り立ちとその社会的意義【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) 第6回:学校の成立と展開(2)-日本における学校教育制度の変遷【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7) 第7回:学校教育の内容-幼稚園教育要領、保育指針、認定こども園要領の概要とカリキュラム【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
8) 第8回:学校運営の諸課題(1) 組織マネジメント、連携・協働(地域、幼保小など)【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) 第9回:学校運営の諸課題(2) 安全・安心を担保するために【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) 第10回:教育・保育をめぐる制度(1)-教育法規と教育行政【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11) 第11回:教育・保育をめぐる制度(2)-子ども・子育て支援新制度を中心に【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) 第12回:教職と教員養成-教員養成制度の歴史と制度【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
13) 第13回:生涯学習社会と教育-「学び」の充実・多様化、キャリアアップと教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
14) 第14回:現代社会と教育-変化する地域・家庭と教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
15) 第15回:総括-変わる社会、これからの教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
9.9320188801	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 「子どもと教師のための教育原理」石田美清編著(保育出版社) <参考書> 「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、「保育福祉小六法」みらい、「文部科学白書」、山崎博敏編著「教育の制度と社会」協同出版。その他、講義中において適宜紹介する。	保育原理 教育・保育職論 教育・保育カリキュラム論

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

「教育」という事象に対し、日常的に関心を寄せること。
また、教育専門職に就くための学習科目として、受講の態度と主体的学習の姿勢を重視する。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	教育と保育の心理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許状 必修 社会福祉主事任用資格 選択			
授業概要 子どもの発達及び学びの過程について心理学の知識をもとに理解する。保育者として発達をとらえる視点を獲得し、子どもの主体的な学びを支える援助について理解する。 福祉現場の実務経験をもとに、子どもの発達についての授業を行う。							
到達目標 1. 子どもの心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2. 子どもの学びに関する基礎的な知識を習得する。 3. 発達をふまえた学びを支える援助の基本を理解する。			成績評価方法 ・定期試験(70%) ・小テスト(20%) ・毎回のコメントシート(10%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 子どもの発達を理解することの意義 【予習・復習】実習や授業で観察した子どもの姿を整理する(120)	個人ワーク
2) 子どもの発達と環境 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
3) 発達理論と子ども観・保育観 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
4) 乳児期の社会情動的発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
5) 幼児期の社会情動的発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
6) 身体的機能と運動機能の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	小テスト
7) 認知機能の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
8) 乳児期の言葉の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
9) 幼児期以降の言葉の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
10) 社会性の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
11) 乳幼児期の学びに関わる理論 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	小テスト
12) 乳幼児期の学びの過程と特性 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
13) 乳幼児期の学びを支える保育 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
14) 子どもの発達・学びの評価 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
15) まとめ 【予習・復習】授業全体を振り返る(120)	個人ワーク
授業外学習	
2)～5)について6)、6)～10)について11)に小テストを実施します。復習してきてください。 自身の経験を振り返ったり、周りにいる人たちとよくコミュニケーションをとったりしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業時にプリントを配付します。	子ども理解の理論と方法 子ども家庭支援の心理学

課題に対するフィードバック

コメントシートをまとめたものを、次回の授業の最初に配布しコメントする。小テストは添削し、返却する。

備考

毎回の授業後にコメントシートを記入してもらいます。授業で自身が何を学んだか・疑問点を記入してください。
【オフィスアワー】オフィスアワーの掲示を確認ください。

科目名	子ども家庭支援の心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	中山 幸輝	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

生涯発達に関する心理学の基礎知識や発達課題、特に乳幼児期の体験の重要性について学ぶ。また、家族や家庭の心理的機能を知り、子育て家庭の現状と課題、子どもの精神保健について考える。

到達目標

ナンバリング (J3102b)

生涯発達について理解し、各発達課題、初期経験の重要性について説明できる。

家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。

子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を説明できる。

子どもの精神保健とその課題について理解している。

成績評価方法

定期試験 (60%)

小レポート (25%)

コメントシート (15%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 生涯発達とは、講義ガイダンス 【予習・復習】ひとの発達について復習しておく（60分）	コメントシート
2) 2) 乳幼児期の発達 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
3) 3) 乳幼児期の発達 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
4) 4) 学童期の発達 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
5) 5) 青年期の発達 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
6) 6) 成人期・老年期の発達 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
7) 7) 親子関係と家族関係の理解 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
8) 8) 子育ての経験と親になるということ 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
9) 9) 子育てを取り巻く社会的状況 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
10) 10) ライフコースと仕事・子育て 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
11) 11) 多様な家庭とその理解 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
12) 12) 特別な配慮を要する家庭 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
13) 13) 子どもの生活・生育環境とその影響 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
14) 14) 子どもの心の健康に関わる問題 【予習】前回の小課題やキーワードについて調べる（60分） 【復習】配布プリントを読み返し、内容を整理する（60分）	コメントシート
15) 15) まとめ 【予習・復習】授業全体を振り返る（60分以上）	コメントシート
授業外学習	
各回の最後に小課題やキーワードを提示するので、自分の生活を振り返ったり、関連図書やインターネット上の資料を通して事前に調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用せず、プリントを毎回配布する。 参考文献は授業で適宜紹介する。	教育と保育の心理学 子育て支援 子ども家庭支援論

課題に対するフィードバック

備考

積極的な参加を望む。

科目名	子どもの保健			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	谷川 和子	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

子どもの特性を理解し、保育に必要な子どもの成長・発達に関する知識を習得する。
 子どもの健康保持や増進、発達支援について、保育者としての責任や役割を学ぶ。
 原則、対面で行う。

到達目標

ナンバリング(J1107b)

1. 子どもの心身の健康増進をはかる保健活動の意義を理解できる。
2. 子どもの身体の成長や、運動機能・解剖生理機能・精神機能の発達について理解できる。
3. 子どもが健康に成長できる環境について考えることができる。
4. 子どもと家族をとりまく法律や政策について理解できる。

成績評価方法

- ・テスト70%
- ・小テスト、授業内レポート 10%
- ・授業外レポート 10%
- ・授業態度・授業参加度 10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義、母子保健施策 【予習】第1章保健活動の意義、健康の概念と健康の指標を読んでおく（30分） 【自己学習】母子健康手帳の内容を調べ、次週提出（60分）	課題「母子健康手帳の内容を調べよう」
2)	子どもの発育・発達 発育の原則、乳幼児の身体発育 【予習】第2章乳幼児期の身体発育を読んでおく（30分） 【復習】発育の原則、乳幼児の発育について整理（60分）	母子健康手帳の内容の確認 成長発達の特徴を話し合う
3)	子どもの発育・発達 身体発育の評価 【予習】第2章乳幼児身体発育曲線を読んでおく（30分） 【復習】身体発育、評価を整理（60分）	身体発育の評価の実施
4)	生理的機能の発達 呼吸・循環・免疫 【予習】第2章生理機能の発達（呼吸・循環・免疫）を読んでおく（30分） 【復習】呼吸・循環・免疫機能について整理（60分）	グループワーク「生理機能について、大人と子どもの違いと気をつけたいこと」
5)	生理機能の発達 消化・排泄・水分代謝・体温・内分泌 【予習】第2章生理機能（消化・排泄・水分代謝・体温・内分泌）を読んでおく（30分） 【復習】排泄機能の発達から、6か月と1歳6か月の子どもの必要な世話の違いを整理（60分）	グループワーク「排泄行動の発達」
6)	生理機能の発達 睡眠・感覚・神経機能（反射・運動機能） 【予習】第2章生理機能（睡眠・感覚・神経機能）を読んでおく（30分） 【復習】3か月、9か月、1歳6か月の運動機能の違いを整理（60分）	グループワーク 「反射と運動機能の発達の関係」
7)	精神機能の発達 認知、言語、情緒、社会性の発達、精神発達の評価法 【予習】1歳、2歳、3歳の運動、認知、言語の発達について調べてみる（30分） 【復習】精神機能の発達 知能、言語発達の特徴について整理（60分）	デンバー式発達スクリーニング検査の実施
8)	発達に即した基本的生活習慣の形成 予習】第2章生活リズム形成における睡眠の意義を読んでおく（30分） 【復習】子どもの睡眠の特徴、生活リズム形成との関連について整理（60分）	【小テスト
9)	発達に即した基本的生活習慣の形成 予習】第2章食習慣、排泄習慣、清潔習慣を読んでおく（30分） 復習】生活習慣形成について整理（60分）	【グループワーク「幼児の生活習慣の形成について」
10)	子どもの心身の健康状態とその把握 【予習】第3章健康状態の観察を読んでおく（30分） 【復習】観察項目、観察方法について整理（60分）	登園時、保育中、降園時の観察について検討
11)	子どもの心身の健康状態とその把握 【予習】第3章発育・発達の把握、健康診断を読んでおく（30分） 【復習】発育・発達、健康状態の把握方法について整理（60分）	グループワーク「事例を考える」
12)	子どもの疾病の予防及び適切な対応 【予習】第4章子どもの疾病の特徴、感染症と予防接種を読んでおく（30分） 【復習】感染症、予防接種について整理（60分）	グループワーク「事例を考える」
13)	子どもの疾病の予防及び適切な対応 【予習】第4章先天異常、アレルギー、消化器、呼吸器疾患を読んでおく（30分） 【復習】アレルギーの子どもに対する対応について整理（60分）	グループワーク「事例を考える」
14)	子どもの疾病の予防及び適切な対応 【予習】第4章循環器疾患、血液疾患、悪性腫瘍、神経疾患、腎および泌尿器疾患を読んでおく（30分） 【復習】事例について整理（60分）	グループワーク「事例を考える」
15)	まとめ、子どもの疾病の予防及び適切な対応 【予習】第4章皮膚、眼、耳、内分泌、代謝、人共通感染症、乳幼児突然死症候群を読んでおく（30分） 【復習】病気をもつ子どもに対する対応、保育士の役割について整理（60分）	子どもの健康に対する保育士の役割について話し合う
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の内容を調べて成長発達の過程で必要なことを理解しましょう。 ・復習を行い知識の確認をしてください。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「子どもの保健」中根淳子/佐藤直子編著（ななみ書房）		子どもの健康と安全

課題に対するフィードバック

提出課題の内容に対するまとめ、説明を行う。

備考

【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。
復習：知識の確認をしてください。

科目名	子どもの健康と安全			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	谷川 和子	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

「子どもの保健」で学んだことを基礎にして、保育現場で出会うことの多い子どもの病気や事故について理解し予防と対策について学ぶ。子どもの健康保持や増進、発達支援を促すための保育者としての責任や役割を学ぶ。原則、対面で行う。

到達目標

ナンバリング(J2102b)

1. 保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。
2. 保育における健康及び安全の管理について理解する。
3. 子どもの体調不良に対する適切な対応について理解する。
4. 感染症対策について理解する。
5. 保育における保健的対応について理解する。
6. 子どもの健康及び安全の管理の実施体制について理解する。

成績評価方法

- ・小テスト、授業内レポート50%
- ・宿題、授業外レポート30%
- ・授業参加度 10%
- ・演習 10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 【予習】第1章を読む（30分） 【復習】レポート作成（60分）	レポート：個の健康と集団の保健について考える。
2) 2) 保育における健康及び安全の管理 【予習】第2章衛生管理を読む（30分） 【復習】園の衛生管理のポイントをまとめる（60分）	小テスト
3) 3) 事故防止及び安全対策 【予習】第2章事故防止及び安全対策を読む（30分） 【復習】レポート作成（60分）	レポート：子どもの発達と事故の関連性について考える。
4) 4) 事故防止及び安全対策 【予習】第2章安全対策、安全教育を読む（30分） 【復習】排泄の自立への支援についてまとめる（60分）	レポート：安全対策、安全教育について考える。
5) 5) 危機管理、災害への備え 【予習】危機管理、災害への備えを読む（30分） 【復習】レポート作成（60分）	レポート：園での災害対策について考える。
6) 6) 子どもの体調不良に対する適切な対応 【予習】第3章子どもに起こりやすい体調不良とケア（発熱、嘔吐、下痢）を読む（30分） 【復習】ケアのポイントについてまとめる（60分）	小テスト
7) 7) 子どもの体調不良に対する適切な対応 【予習】第3章子どもに起こりやすい体調不良とケア（咳、腹痛、便秘、発疹、頭痛）を読む（30分） 【復習】ケアのポイントについてまとめる（60分）	小テスト
8) 8) 感染症対策 【予習】第4章感染症対策を読む（30分） 【復習】感染症発生時の対応について考える（60分）	レポート：感染症発生時の対応についてまとめる
9) 9) 保育における保健的対応 【予習】第5章保健的対応の基本的考え方、3歳未満児への対応を読む（30分） 【復習】3歳未満児の養護の実際のポイントを整理（60分）	小テスト
10) 10) 個別的な配慮を要する子どもへの対応 【予習】第5章個別的な配慮を要する子どもへの対応を読む（30分） 【復習】けいれん、アレルギー、障害のある子どもに対する対応をまとめる（60分）	小テスト
11) 11) 子どもの健康及び発育発達状況の把握 【予習】第1章健康及び発育発達状態の把握を読む（30分） 【復習】健康観察、発育評価についてまとめる（60分）	実技：身体発育の測定、発育評価の実際、乳児の抱き方・寝かせ方
12) 12) 子どもに起きやすい事故の応急手当 【予習】第3章子どもに起きやすい事故の応急手当（ショック、出血、傷、頭部外傷）を読む（30分） 【復習】事故の応急手当のポイントを整理（60分）	実技：応急手当、救急法
13) 13) 子どもに起きやすい事故の応急手当 【予習】第3章子どもに起きやすい事故の応急手当（熱傷、熱中症、誤飲、目・耳・鼻の異物）を読む（30分） 【復習】事故の応急手当のポイントを整理（60分）	演習、実技：事例を考える
14) 14) 子どもに起きやすい事故の応急手当 【予習】第3章子どもに起きやすい事故の応急手当（突き指、捻挫、脱臼、骨折、鼻血、救急法）を読む（30分） 【復習】事故の応急手当、救急法のポイントを整理（60分）	演習、実技：事例を考える、救急法
15) 15)健康及び安全の管理の実施体制 【予習】第6章保育における保健活動の計画及び評価を読む（30分） 【復習】保健計画の活用、評価について考える（60分）	演習：保健計画活用方法と評価方法を考える
授業外学習	
復習：知識の確認をしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの健康と安全」中根淳子、佐藤直子編著（ななみ書房）	子どもの保健

課題に対するフィードバック

小テスト、レポートへのコメントを返す

備考

【オフィスアワー】授業前、終了後に行います。

科目名	子どもの食と栄養			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	2年	前期
担当者名	城野 世津子、山下 晋平、大久保 祐花	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

子どもの保育において栄養や食事の問題は、発育・発達や健康に直接影響するため、十分な配慮が必要である。しかし、小児期の食生活は保育者に依存しているため、保育者が望ましい食事観や健康観がもてるように学ぶ。

到達目標

J3103b

保育者として保育の関連の中で、子どもに適切な食事が提供できるように、
 1. 栄養学、調理学、食品学に関する基礎知識を正しく理解する。
 2. 食生活が心の健康にも影響をあたえることを理解する。
 以上の観点から、理論と実践が身につくように学ぶ。

成績評価方法

小テスト
レポート提出

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 子どもの健康な生活と食生活の意義について 【予習】教科書第1章（1時間）	
2) 栄養に関する基本的知識について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
3) 子どもの発育と発達の食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
4) 妊娠・授乳期の食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
5) 乳児期の食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
6) 幼児期の食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
7) 離乳食の実践 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
8) 幼児食の実践 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
9) 幼児食の実践 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
10) 間食の必要性と意義 間食の実践 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
11) 学童期・思春期の食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
12) 食育の基本媒体作り 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
13) 食育の基本媒体作り 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	グループワーク（演習）
14) 子どもの疾病と食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
15) 障がいのある子どもの食生活について 【予習・復習】主に前回授業復習（1時間）	
授業外学習	
授業中に提示する課題を滞りなく実施してくること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの食と栄養」堤ちはる・土井正子編著（萌文書林） 必要に応じて資料を配布する。	子どもの保健、 子どもの保健、 乳児保育

課題に対するフィードバック

提出した課題（レポート）は内容が不十分な場合は、再提出とします。

備考

私語は慎むこと。実習時は、身支度を整えること。
【オフィスアワー】

科目名	子育て支援演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	伊藤 一統、河村 靖彦		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 子育て支援の現場に関する様々な取り組み、事象について理解を深め、観察・演習等実践的な学習を行うことで、子育て支援の現実について知見を広め、自身ができる支援について考える。							
到達目標 ・様々な子育て支援の取り組みについて学び、発表する ・観察や調査から、対象者のニーズを把握し、説明する			成績評価方法 授業内レポート・演習・発表による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) イントロダクション 「子育て支援」ということ 【予習】地域における子育て支援について学びたいことを考える(30) 【復習】授業プリント内容を振り返る(30)	
2) 子育て支援の役割と機能 【予習】子育て支援の機能について調べる(30) 【復習】授業プリント内容を振り返る(30)	
3) 地域資源について 【予習】地域資源について調べる(30) 【復習】資料作成(60)	グループワーク
4) 地域資源について 【予習】発表練習(30) 【復習】発表の振り返り(15)	グループワーク プレゼンテーション
5) 実践に向けての観察・学習法 【予習】観察方法について調べる(30) 【復習】授業プリント内容を振り返る(30)	
6) 子育て支援の実際 施設見学 【予習】見学準備(15) 【復習】自身の見学の振り返り(30)	実習
7) 見学振り返り・調査に向けた計画 【予習】課題レポート作成(40) 【復習】計画を読み込んでおく(15)	グループワーク
8) 子育て支援の実際 調査 【予習】調査準備(15) 【復習】自身の調査の振り返り(30)	実習
9) 調査振り返り 【予習】課題レポート作成(30) 【復習】GWを受けた振り返り(30)	グループワーク
10) 演習に向けた計画 【予習】演習計画の考案(40) 【復習】計画を完成させる(30)	グループワーク
11) 子育て支援の実際 演習 【予習】演習準備(40) 【復習】自身の演習の振り返り(30)	実習
12) 演習振り返り 【予習】課題レポート作成(30) 【復習】GWを受けた振り返り(30)	グループワーク
13) 報告書作成 【予習】見学・調査・演習の体験をまとめる(30) 【復習】報告書を完成させる(30)	グループワーク
14) 発表 【予習】発表練習(30) 【復習】発表振り返り(30)	プレゼンテーション
15) これからの子育て支援に向けて 【予習】本授業の振り返り 【復習】子育て支援について考える(45)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援についてニュースや新聞などで取り上げられる情報に触れるようにしてください。 ・自分の考えを表現できるようにしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配布します。	教育と保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子育て支援

課題に対するフィードバック

グループワーク中及びその後、プレゼンテーション後にコメントをする。

備考

子育て支援の現場への見学・演習を行います。身だしなみを整えて臨んでください。
子育て支援演習 をあわせて受講することを望みます。
【オフィスアワー】 掲示を確認のこと

科目名	子育て支援演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	後期			
担当者名	伊藤 一統、河村 靖彦		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 子育て支援演習 をさらに深める。 地域の子育て支援現場での実践を通じて、乳幼児の保護者・その子どもについて理解する。さらに、その支援方法について体験的に学ぶ。							
到達目標 ・子育て支援を利用する乳幼児の保護者・その子どもについて理解し ・地域における子育て支援の役割と機能について説明する			成績評価方法 実習・レポート・発表による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション 【予習】子育て支援演習 における自身の課題を洗い出す(30) 【復習】今後の計画を考える(30)	
2) 現代の子育て家庭が抱える課題（遠隔授業） 【予習】新聞等のメディアでの報道をよく見ておく(30) 【復習】子育て家庭が抱える課題について考える(30)	
3) 支援の姿勢（遠隔授業） 【予習】自身の親子への関わりについて考える(30) 【復習】授業配布プリントを振り返る(30)	
4) 子育て支援計画の作成 【予習】実施したい遊びを考える(30) 【復習】計画の完成(30)	グループワーク
5) 子育て支援の実践 実習 【予習】実習の準備をする(30) 【復習】自身の振り返り(30)	実習
6) 実践振り返り 【予習】課題レポート(30) 【復習】次回の実習の検討をする(30)	グループワーク
7) 子育て支援計画の作成（遠隔授業） 【予習】実施したい遊びを考える(30) 【復習】計画の完成(30)	グループワーク
8) 子育て支援の実践 実習 【予習】実習の準備をする(30) 【復習】自身の振り返り(30)	実習
9) 子育て支援の実践 実習 【予習】実習の準備をする(30) 【復習】自身の振り返り(30)	実習
10) 実践振り返り 【予習】課題レポート(30) 【復習】次回の実習の検討をする(30)	グループワーク
11) 子育て支援計画の作成（遠隔授業） 【予習】実施したい遊びを考える(30) 【復習】計画の完成(30)	グループワーク
12) 子育て支援の実践 実習 【予習】実習の準備をする(30) 【復習】自身の振り返り(30)	実習
13) 子育て支援の実践 実習 【予習】実習の準備をする(30) 【復習】自身の振り返り(30)	実習
14) 実践振り返り 報告書作成 【予習】全ての実践の振り返り(30) 【復習】報告書完成(30)	グループワーク
15) まとめと発表 【予習】発表練習(30) 【復習】授業全体の振り返り(30)	プレゼンテーション
授業外学習	
実習に向けて、よく練習をして臨んでください。また、より良い遊びを提供できるよう振り返りと改善を実践してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付します。	子育て支援演習 教育と保育の心理学・子ども家庭支援の心理学 家庭支援論・子育て支援

課題に対するフィードバック

グループワーク中及びその後、プレゼンテーション後にコメントをする

備考

子育て支援演習 の受講をしていることを前提とします。
子育て支援の現場での実践を行います。日程など変更する可能性があります、授業の中で説明します。
【オフィスアワー】 掲示を確認のこと

科目名	子ども理解の理論と方法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 子ども理解を深めるための保育者の姿勢を理解する。子どもの内面の理解をするための様々な視点について、観察・記録・話し合いを通して学ぶ。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 子ども理解についての考え方や基礎的態度を理解する。 子ども理解の方法を具体的に理解する。 子ども理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。 				成績評価方法 観察記録（20%） ディスカッションへの参加（20%） 定期試験（60%）			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 子ども理解の意義 【予習】これまで関わった子どもの姿を思い出す（30） 【復習】子ども理解についての考え方を理解する（30）	
2) 子ども理解のための保育者の姿勢（1）子どもを「みる」ということ 【予習】事例を読む（30） 【復習】見ると観察の違いを知る（30）	個人ワーク
3) 子ども理解のための保育者の姿勢（2）事例から考えること 【予習】事例を読む（30） 【復習】事例を考えることで得られること（30）	個人ワーク
4) 子ども理解の方法（1）観察の方法 【予習・復習】観察の意義や目的を知る（60）	
5) 子ども理解の方法（2）記録の方法 【予習・復習】目的に応じた観察の方法について知る（60）	
6) 子ども理解の方法（3）遊びの場面 【予習】子どもの遊びの意義について考える（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
7) 保育者として学び合うこと 【予習・復習】保育者間の連携や学び合いについて考える（45）	グループディスカッション
8) 子ども理解の方法（4）生活の場面 【予習】基本的な生活習慣について調べる（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
9) 発達の姿をとらえること 【予習・復習】発達の課題に応じた関わりについて考える（60）	グループディスカッション
10) 子ども理解の方法（5）クラス活動の場面 【予習】発達過程について調べる 【復習】観察記録の作成（各30）	観察
11) 子どもの学びの姿をとらえること 【予習・復習】集団における経験・育ちについて考える（60）	グループディスカッション
12) 子ども理解の方法（6）「気になる子ども」について 【予習】「気になる子ども」とはどのような子どもか調べる（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
13) 家庭との連携 【予習・復習】家庭との連携の重要性・あり方について考える（60）	
14) 子どもにとっての教育・保育 【予習・復習】教育・保育を行う環境について考える（60）	グループディスカッション
15) まとめ 【予習・復習】子ども理解に基づく保育者の援助や態度について考える（60）	
授業外学習	
観察後には各自観察記録を書きます。 自身がどのような視点で人や物事をみているか意識して生活してみてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付します。 （参考書） 幼稚園教育要領解説書、保育所保育指針解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、「子ども理解と保育実践」萌文書林（2013）	教育と保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 教育相談の理論と方法

課題に対するフィードバック

グループワーク中に適宜コメントをする。観察記録にコメント等つけて返却をする。

備考

現場での観察を通して学びます。観察日の服装や観察者としての態度などに気を付けてください。また、観察したことや自分の意見を周りの人に伝えること、他の人の意見を聞くことも学びです。
【オフィスアワー】オフィスアワーの掲示を確認ください。

科目名	教育相談の理論と方法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 選択			
授業概要 教育相談に関する基礎的知識と方法について理解する。 病院や老人保健施設での実務経験をもとに、対人援助における対象理解や基礎的な技法について授業を行う。 本授業は対面により実施する。							
到達目標 ナンバリング (J4102ab) 1.教育相談の意義と理論を理解できる。 2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識を説明できる。 3.教育相談の進め方やポイントについて理解し説明できる。			成績評価方法 授業内で実施する確認テスト、授業参加度により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】幼稚園における教育相談の現状について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) 学校現場における教育相談の意義 【予習】幼稚園教育要領の子育て支援に関する記述を読む（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) 保育に求められるカウンセリング・マインド 【予習】カウンセリングの概要について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「傾聴」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
5) 5) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「効果的な質問」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
6) 6) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「感情の反映」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
7) 7) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「内容の反映」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
8) 8) 基礎的対人関係について 【予習】「自己覚知」について調べる（30分） 【復習】自分自身の対人関係の持ち方や考えを整理する（30分）	小テスト グループワーク
9) 9) 基礎的対人関係について 【予習】自分自身の対人関係の持ち方や考えをまとめる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
10) 10) 教育相談の進め方・ポイント 【予習】幼稚園における教育相談の事例を検索する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
11) 11) 教育相談の事例分析 【予習】幼稚園における教育相談の事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
12) 12) 教育相談の事例分析 【予習】幼稚園における教育相談の事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
13) 13) 教育相談の事例分析 【予習】幼稚園における教育相談の事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
14) 14) 援助者のメンタルヘルス 【予習】保育者とメンタルヘルスの関係について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
15) 15) まとめ 【予習】これまでの学習内容を確認する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	子ども家庭支援論、子育て支援、子ども理解の理論と方法

課題に対するフィードバック

小テストは採点の上翌週の授業時に返却する。また必要に応じコメントを付す。

備考

科目名	障害者福祉			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	保育士資格 選択 公認障がい者スポーツ指導員資格 必修	

授業概要

障害の概念や障害のある人々がおかれている生活問題（就労、移動、地域活動など）を取り上げ、それに関連する障害者福祉の制度やサービスについて学習する。また障害者福祉における援助の要点についても学ぶ。
 全国身体障害者総合福祉センターでの実務経験をもとに、障害理解、障害者支援の要点について授業を行う。
 本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング（J3104bd）

1. 障害者福祉の法律と制度の概要について説明できる。
2. 障害者のおかれている実態について概括的に説明できる。
3. 障害者福祉における支援の基本について説明できる。

成績評価方法

期末定期試験、小テスト

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】障害者に関する国内外のニュースを検索する（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) 障害者福祉の考え方 【予習】障害の医学モデル、社会モデルについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) 「障害者」の概念と法的な定義 【予習】障害分野の福祉法を読んでおく（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) 日本の障害者福祉施策について - 障害者総合支援法を中心に - 【予習】障害者総合支援法を読んでおく（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
5) 5) 障害者福祉施設の概要 【予習】障害者支援施設とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト 個人ワーク
6) 6) 障害者の生活とニーズ 【予習】障害者が生活する上での困りごとについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
7) 7) 障害者の就労について 【予習】障害者雇用率について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
8) 8) 車椅子介助 【予習】車椅子の方の介助の仕方について調べる（30分） 【復習】介助体験をふりかえり、要点について整理する（30分）	小テスト 実技
9) 9) 視覚障害者の歩行介助 【予習】視覚障害者の歩行介助の仕方について調べる（30分） 【復習】介助体験をふりかえり、要点について整理する（30分）	小テスト 実技
10) 10) 施設で障害のある人と関わることについて 【予習】事例をあらかじめ読み発表の準備をする（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
11) 11) 施設で障害のある人と関わることについて 【予習】事例をあらかじめ読み発表の準備をする（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
12) 12) 障害者の地域移行について 【予習】障害者の地域移行とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
13) 13) 障害者の様々な地域生活について 【予習】障害者のスポーツ・芸術活動などの取り組みについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
14) 14) 障害のある人への配慮について 【予習】合理的配慮について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
15) 15) 障害のある人と共に生きるということ 【予習】ボランティア活動など障害者と共に活動する事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	グループワーク
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	社会福祉、子ども家庭福祉

課題に対するフィードバック

小テストは採点の上翌週に返却する。また必要に応じコメントを付す。

備考

科目名	教育・保育カリキュラム論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	徳永 良枝	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修	

授業概要

- ・乳幼児期の生活を充実させ発達を促すための「保育」、その基本となる教育課程や保育課程について学ぶ。
- ・指導計画作成について、教育課程編成の基本を踏まえ、理解と実践の両面からアプローチしていく。
- ・幼児教育に関わる実務経験をもとに現場での実践（保育）事例を踏まえ、指導計画と関連づけながらより理解を深めるよう授業を行う。

到達目標

ナンバリング（J2201ab）

- 一人一人の育ちを保障する保育とは何かを追求し、計画と評価の必要性について理解する。
- 教育課程および保育課程の意義とその編成方法を学び、実践を想定した指導計画の基本を理解する。

成績評価方法

- 定期試験
- レポート
- 受講状況（授業への意欲・態度）など総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○		○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 保育の基本 保育のねらいと内容（教育と養護） 【予習・復習】テキストとシラバスの内容確認（60分）		授業内レポート
2) 教育課程と保育課程 教育課程・保育課程の必要性 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
3) P D C A サイクルに基づいた指導計画 教育課程・保育課程の循環性（保育の流れと指導計画） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
4) 教育課程・保育課程の意義 教育課程・保育課程編成の基本 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
5) 教育課程・保育課程の歴史 幼児教育の変遷（幼稚園教育要領・保育所保育指針） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
6) 教育課程と保育課程 幼稚園・保育所・認定こども園における教育課程・保育課程 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
7) 指導計画の構成について 内容をとらえる視点（五領域との関連） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポート 演習
8) 指導計画の実際 指導計画作成のポイント（配慮すべき事項） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
9) 指導計画の実際 育ちの姿を読み取る（3歳未満児） 【予習・復習】3歳未満児の発達についての理解（90分）		授業内レポート 演習
10) 指導計画の実際 発達理解と指導計画（3歳以上児） 【予習・復習】3歳以上児の発達についての理解（90分）		授業内レポート 演習
11) 指導計画の実際 協同性の育ちをとらえた指導計画 【予習・復習】協同性を育てる遊びについての理解（90分）		授業内レポート 演習
12) 小学校教育との連携 アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム 【予習・復習】実際の教育課程の理解（90分）		授業内レポートに関わる質疑応答
13) 指導計画作成の実際 明日につながる指導計画（長期指導計画との整合性） 【予習・復習】実際の指導計画の理解（90分）		授業内レポート 演習
14) 指導計画作成の実際 遊びを豊かにする指導計画（環境の構成と保育者の援助） 【予習・復習】実際の指導計画の理解（90分）		授業内レポート 演習
15) 教育課程・保育課程の再編成 評価と改善（教育課程・保育課程の見直し） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）		自己評価レポート
授業外学習		
<p>授業計画に従い、テキストの該当単元を熟読していただくこと。 授業の振り返りで各自の疑問や課題を明確にし、講義資料やテキストを復習すること。 新聞やニュースなどで幼児教育の動向に関心を持ち、目的意識を高めること。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
就学前教育の計画を学ぶ 松村和子 近藤幹生 椋島香代著（ななみ書房）		保育内容（五領域） 保育内容総論 子どもとあそび 保育原理

課題に対するフィードバック

授業での小レポートにより理解度を確認、疑問点などの対応を行う。

備考

科目名	保育内容総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	重村 美帆		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 <p>本授業は、対面と遠隔で実施する。保育の内容は、子どもの生活と遊びを通して「養護と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」が一体的に展開し、保育実践においてそれらがつながりをもつことを理解する。さらに、保育内容の歴史の変遷や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の全体構造を理解した上で、情報機器及び視聴覚教材を活用しながら実際の遊び場面を通し保育や子どもを捉え、保育創りの展開が出来るようにする。保育現場の実務経験をもとに保育のあり方について授業を行う。</p>							
到達目標 J1201ab 1、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園で展開される保育内容について「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をふまえてそれらの全体構造を理解することができる。 2、保育内容の歴史の変遷について説明することができる。 3、実際の遊び場面について視聴覚教材を活用しながら、観察・記録する視点を理解し、保育内容と子ども理解の関わりについて記述することができる。 4、子どもの生活と遊びを通して各領域が総合的に展開し、保育実践においてそれらがつながりをもつことを具体的に理解することができる。			成績評価方法 定期試験 60% 演習（20%） 授業内レポート（10%） 授業外レポート（10%） による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の概要について 【予習】テキスト第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の比較表を完成する（30分）	授業外レポート
2)	保育内容の歴史の変容 【予習】テキスト第 4 章を熟読する（30 分） 【復習】保育所保育指針等の歴史の変容についてまとめる（30 分）	授業内レポート
3)	幼稚園での生活と遊び 【予習】幼稚園教育要領序章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園での生活の流れや遊びについてまとめる（30 分）	授業内レポート
4)	付属幼稚園見学「子どもを見る」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章第 1 節を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「子どもの遊びや様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
5)	幼稚園で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「子ども理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園で過ごす子どもの発達過程について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
6)	付属幼稚園見学「幼稚園教諭の支援と役割を見る」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「幼稚園教諭の姿や様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
7)	幼稚園で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「保育者理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園教諭の仕事や役割について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
8)	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育のねらい及び内容の理解 【予習】テキスト第 5 章を熟読する（30 分） 【復習】3 法令の保育内容の捉え方についてまとめる（30 分）	授業内レポート
9)	保育所での生活と遊び 予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所で過ごす子どもの生活の流れについて理解を深める（30 分）	授業内レポート
10)	保育所見学「子どもを見る」 【予習】保育所保育指針第 1 章 2 節を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「子どもの姿や様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
11)	保育所で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「子ども理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】保育所で過ごす子どもの発達過程について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
12)	保育所見学「保育士の支援と役割を見る」 【予習】保育所保育指針第 2 章 4 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所保育士の仕事や役割について見学内容をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
13)	保育所で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「保育者理解」 【予習】テキスト第 7 章を熟読する（30 分） 【復習】保育を創る保育所保育士の役割について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
14)	特別な支援を必要とする子どもの保育と地域交流について 【予習】保育所保育指針第 3 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】子どもの健康支援として必要な知見を深める（30 分）	グループディスカッション 授業内レポート
15)	15. 保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）の総合的視点と保育者の省察 【予習】テキスト第 8 章を熟読する（30 分） 【復習】保育とは何かについて自分の意見をまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業内レポート
授業外学習		
・幼稚園教育要領及び保育所保育指針を熟読してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<テキスト> 新しい保育講座 保育内容総論、渡邊英則・大豆生田啓友、ミネルヴァ書房		保育指導法の各領域科目

課題に対するフィードバック

授業内外レポートは、Classroomを活用し返却・解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育指導法（表現）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	久光 明美、重村 美帆	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

子どもの発達に沿った豊かな感性や自己表現力・創造性を育てるための音・音楽環境のあり方や音楽表現活動の内容について学び、「聴く」「歌う」「動く」「奏でる」「つくる」の視点から子どもの総合的音楽表現活動の構造化と実践・展開ができるようになることを目的とする。同時に、保育者としての豊かな感性や表現力、創造性も身に付けていく。また、表現における情報機器及び教材の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通して、保育構想に活用できるアイデアを考え抜いていく。

到達目標

J2202ab

1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。
2. 領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。
3. 指導案の構造を理解し、子どもの発達に沿った具体的な保育を想定した指導案を作成、実践し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。
4. 領域「表現」に関わる乳幼児が経験し身に付けて行く内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解することができる。

成績評価方法

期末定期試験、模擬保育、授業外レポート、グループ学習、課題、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」について【予習】保育指導法（表現）のシラバスを読んでおく。（30分）【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク
2) 子どもの発達と音楽表現 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク
3) 子どもの発達と聴く活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
4) 保育現場の見学「乳児期における音楽表現を通じた場面」【予習】子どもの発達に応じた音楽表現活動を学習しておく。（30分）【復習】子どもの音楽表現活動の理解と援助の仕方などをまとめておく。（30分程度）	グループワーク ディスカッション
5) 保育現場の見学「乳児期における音楽表現を通じた場面」 【予習】子どもの発達に応じた音楽表現活動を学習しておく。（30分） 【復習】観察を振り返り、観察シートを記入し、提出する。	グループワーク ディスカッション
6) 子どもの発達と歌う活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
7) 子どもの発達と奏でる活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
8) 子どもの発達と動く活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
9) 子どもの発達とつくる活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
10) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方と模擬保育の進め方」 【予習】音楽表現の指導方法について考え、指導案を立案しておく。（30分） 【復習】立案した指導案の改善点を見つけ、再検討し、立案しなおす。	個人ワーク グループワーク
11) 音楽表現を通じた保育活動の展開「0、1歳児の保育」 【予習】0.1歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
12) 音楽表現を通じた保育活動の展開「2歳児の保育」 【予習】2歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
13) 音楽表現を通じた保育活動の展開「3.4歳児の保育」 【予習】3.4歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
14) 音楽表現を通じた保育活動の展開「5歳児の保育」 【予習】5歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
15) 領域「表現」における音楽に関する保育の動向と保育創り 【予習】これまでの模擬保育について振り返りをしておく。（30分） 【復習】「音楽表現を通じた保育」についてまとめる。（30分）	個人ワーク グループワーク
授業外学習	
テキストや配布資料は復習する。 授業で取り上げた子どもの歌は、練習し暗譜をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの発達と音楽表現」（学文社）2020年、「子どものための音楽表現技術」（萌文書林）2018年、「保育所保育指針解説」厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省、 適宜プリント配付	子どもの音楽 子どもの音楽 子どもの音楽 子どもの音楽 保育内容総論

課題に対するフィードバック

- ・指導案を添削し、加筆、修正をして返却をし、個人指導を行なう。
- ・提出したワークシートにコメントをつけて返却する。

備考

- ・音楽表現活動に積極的に参加してください。
- ・楽譜や配布資料を整理保管してください。
- ・グループ活動では、自分の意見を持ち他者の意見も受容し、自分の役割を果たしてください。

科目名	保育指導法（表現）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	原井 輝明、重村 美帆		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 乳幼児のかく活動・つくる活動の発達段階を知るとともに、豊かな感性や表現力を育てるための教材研究やそれに伴う指導方法などを理解する。また、子どもを取り巻く環境に興味や関心を持たせ、身近なものや自然を取り入れ、遊びを発展させていく指導方法について学ぶ。そして、子どもの視座に立ち、結果より過程を大切に表現感を身につける。							
到達目標 J3201ab ・保育内容の他領域と関連させながら総合的に理解することができるようになる。 ・表現のねらいと内容を理解し、発達段階、乳幼児画の特徴を把握する。 ・表現の実践や指導案の立案ができる。 ・乳幼児の発達段階や表現に応じて、材料の工夫や用具の使い方が指導できるようになる。			成績評価方法 定期試験、課題（レポート・提出物）、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							20
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 子どもの視座に立った造形：「遊びを中心にした表現観・幼児の心のよみとり」 【予習・復習】指導案作成及び授業の復習（240分）	
2) 1) 乳幼児造形表現の理解：「かく・つくるの発達段階」 発達段階における特徴・個人差について知る 【予習・復習】事前に教科書に目を通す（60分）	グループワーク
3) 3) 乳幼児画の特徴：「自然発生的表現としてうけとめる」 【予習・復習】事前に教科書に目を通す（60分）	グループワーク
4) 表現のねらいと内容：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」（造形表現）について 【予習・復習】事前に教科書に目を通し、復習（60分）	
5) 5) 保育現場の見学に備えて：「乳幼児期の製作あそび」の観察ポイント 【予習・復習】復習（60分）	
6) 6) 保育現場の見学：「幼児期の製作あそび」 【予習・復習】見学後のレポート課題（210分）	レポート
7) 7) 造形教育の方法：「材料・用具（情報機器を含む）の扱いについて」 【予習・復習】復習（60分）	
8) 8) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「表現（造形表現）」との関連 【予習・復習】事前に教科書に目を通し、復習に（60分）	
9) 9) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方」と模擬保育の進め方 【予習・復習】模擬保育の準備（300分）	
10) 10) 表現を通した保育活動の展開「0・1歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
11) 11) 表現を通した保育活動の展開「2歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
12) 12) 表現を通した保育活動の展開「3歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
13) 13) 表現を通した保育活動の展開「4歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
14) 14) 表現を通した保育活動の展開「5歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
15) 15) 領域「表現」（造形表現）における保育動向と保育創り 【予習・復習】模擬保育のワークシート作成及びファイル作成（240分）	ワークシート
授業外学習	
<p>毎回次に取り組み教科書の範囲を事前に読み込んでおくこと。 ・模擬保育の際は、グループワーク後、ワークシートを完成させ、翌日提出してもらいます。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 表現」無藤隆監修、浜口順子編（萌文書林） 「幼稚園教育要領」（文部科学省） 「保育所保育指針」（厚生労働省） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府）	子どもの造形 ~ 保育指導法

課題に対するフィードバック

レポートやワークシートは翌週にコメントをつけて返却する

備考

保育の現場に立つという気持ちと毎回の授業で大切なポイントをつかむこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	保育指導法（健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園、及び保育所、認定子ども園において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領指針に示された領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させながら理解を深めるとともに、領域「健康」に関わる具体的な指導場面において子どもの発達等に応じた情報機器及び教材の活用法を踏まえたうえで、保育を実践できる力を身につける。							
到達目標 1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。 2. 領域「健康」のねらい及び内容の理解を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。 3. 領域「健康」において乳幼児が身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解することができる。 4. 幼児の発達や体験を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、領域「健康」に関わる保育場面を想定した指導案を立案、演習（模擬保育）し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。			成績評価方法 ・ 定期試験 ・ 授業内レポート ・ 宿題、授業外レポート ・ 演習（模擬保育） 以上を総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「健康」について 【予習・復習】幼稚園教育要領・保育所保育指針等の保育内容（健康）を熟読し、理解する。（60分）	
2) 子どもの「健康」をめぐる現状と課題 【予習・復習】最近の子どもの健康をめぐる現状を調べ、理解する。（テキスト参考）（60分）	
3) 生活習慣を獲得する・自分たちで生活の場を整えるための援助 【予習・復習】園生活の中での生活習慣を調べる。生活習慣を育む保育者の役割を理解する。（60分）	グループワーク
4) 多様な動きを育むための援助 【予習・復習】乳幼児期の運動機能の発達と獲得過程を確認する。身近な遊具を使った遊びを考える。（60分）	グループワーク
5) 子どもの運動機能の発達とからだの動きについて（保育現場の観察） 【予習・復習】担当する年齢の子どものからだところの発達段階を確認する。観察した子どものからだの動きをまとめる。（60分）	
6) からだの動きや興味を引き出す環境・安全に楽しむ環境について（保育現場の観察） 【予習・復習】テキストの該当ページを熟読する。子どものからだ動きや興味を引き出す環境、安全に楽しむ環境について観察内容をまとめる。（60分）	
7) 危険や安全を意識する力を育むための援助 【予習・復習】身の回りの道具（はさみやセロテープ等）の安全な使い方について考える。（60分）	グループワーク
8) 領域「健康」と「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」/小テスト（今までの学びのふりかえり） 【予習・復習】今までの授業プリントやテキスト等を見直し、確認する。（60分）	
9) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方と模擬保育の進め方」 【予習・復習】対象年齢児に応じた「健康」のねらいと内容をもとに保育活動の指導案を作成する。（60分）	
10) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「0、1歳児の保育」 【予習・復習】乳児保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
11) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「2歳児の保育」 【予習・復習】1歳以上3歳未満児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
12) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「3歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
13) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「4歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
14) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「5歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
15) 授業のまとめ、授業評価アンケート 【復習】子どもたちの健康を支える保育者の援助について理解する。（30分）	
授業外学習	
<p>・新聞記事や保育雑誌等をよく読み、子ども、あるいは自分自身の健康に関する事柄の理解を広げましょう。</p> <p>・模擬保育を実施する場合は、あらかじめ指導案を作成し、事前にシミュレーションを行っておきましょう。尚、必要な物品等は、あらかじめ確認し、準備を整えておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>・「事例で学ぶ保育内容 領域健康」無藤隆監修・倉持清美編者代表（萌文書林）</p> <p>・「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレーベル館）</p> <p>・「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館）</p> <p>・「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）</p>	子どもの体育 ～

課題に対するフィードバック

提出した課題等は、コメント等をつけて返却する

備考

科目名	保育指導法（言葉）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	竹内 幹雄		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 「言葉」についての基礎知識を習得し、乳幼児期の言葉を獲得する過程を理解するとともに、言葉の育ちを支える保育者として援助や環境構成、指導計画の作成、評価・改善等基本的事項を身に付ける。また、子どもの発達に即した児童文化財の活用法を学び、保育実践に活かす力を修得する。 幼稚園教諭及び保育士の実務経験をもとに乳幼児期の言葉について授業を行う。							
到達目標 ナンバリング（J2204ab） 1. 領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 2. 乳幼児期の言葉の発達過程を踏まえ、言葉を育むための保育に必要な力を身に付ける。 3. 児童文化財等（情報機器及び教材を含む）の活用法を理解した上で指導案を立案・演習し、保育を改善する視点を身に付ける。			成績評価方法 定期試験、レポート、演習などを総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 乳幼児の豊かな言葉が育つための領域「言葉」 乳幼児期にふさわしい生活の保障 領域「言葉」のねらい及び内容 【予習】テキストP1～P15を読んでおく。（20分）	
2) 乳幼児期の子どもの言葉 乳児期の言葉の発達 【予習】テキストP20～P36を読んでおく。（20分）	
3) 乳幼児期の子どもの言葉 幼児期の言葉の発達 【予習】テキストP37～P55を読んでおく。（20分）	
4) 乳幼児期の子どもの言葉 幼児期から児童期の言葉 【予習】テキストP56～P70を読んでおく。（20分）	
5) 言葉を育むための保育者のかかわり・役割 【予習】テキストP71～P83,P118～P121,P156を読んでおく。（20分）	グループワーク（保育者のかかわり）
6) 子どもの言葉を育む保育 保育環境と言葉 【予習】テキストP86～P101を読んでおく。（20分）	グループワーク（絵本や文字環境）
7) 子どもの言葉を育む保育 保育と児童文化財 【予習】テキストP51～P52,P95～97,P104を読んでおく。（20分）	演習（絵本読み聞かせの展開）
8) 遊びと生活のなかの言葉 【予習】テキストP105～P118を読んでおく。（20分）	
9) 保育の計画と評価 【予習】テキストP101～P102,P139～P154を読んでおく。（20分）	グループワーク（環境構成図作成）
10) 言葉の問題と援助 教材研究 【予習】テキストP122～P138を読んでおく。模擬保育の題材を考え必要な教材を準備する。（60分）	演習（教材研究）
11) 子どもの言葉を育む保育構想 保育指導案作成 【予習】教材研究を活かし保育指導案の構想を考える。（30分） 【復習】保育指導案を完成させる。（40分）	演習（保育指導案作成）
12) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
13) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
14) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分） 【復習】模擬保育の振り返り（反省と課題）をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
15) 保育の評価と改善 模擬保育の振り返り 【予習】模擬保育の振り返りをまとめておく。（20分）	グループワーク（模擬保育の振り返り）
授業外学習	
授業内容の振り返りを行い、疑問や課題を明確にして次回の授業に臨んでください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 『保育内容 言葉』秋田喜代美・野口隆子編著（光生館） 2018年	保育内容総論、保育指導法

課題に対するフィードバック

備考

【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	保育指導法（人間関係）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	大森 洋子		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許状 必修			
授業概要 乳幼児期の人間関係の発達について理解し、発達に即した保育内容について具体的場面を通して考えるとともに、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育者の援助や環境構成、教材等について学んでいく。また、乳幼児の発達に即した具体的な指導計画の作成や、保育の構想、記録と省察等の方法について身につける。							
到達目標 ・乳幼児期の人間関係の発達を理解する。 ・領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・「人間関係」を育てる保育実践に必要な基本的な力（計画・環境構成・実践・記録・省察など）を身につける			成績評価方法 定期試験・レポート・演習による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 「人間関係」とは何か 人とかがかわるといこと、「人間関係」の発達と教育に興味をもつ。	演習、グループワーク
2) 2) 乳幼児期の人間関係の育ち 乳児期の人間関係の育ちについて発達論から理解する。	演習、グループワーク
3) 3) 乳幼児期の人間関係の育ち 幼児期の人間関係の育ちについて具体的な姿を通して理解する。	演習、グループワーク
4) 4) 保育の基本と領域「人間関係」 教育要領や保育指針等における領域「人間関係」について理解する。	演習、グループワーク
5) 5) 領域「人間関係」のねらい及び内容と指導上の留意点 「人間関係」のねらいと内容、留意点について具体的な姿から学ぶ。	演習、グループワーク
6) 6) 「人間関係」の育ちを支える幼児理解 保育の基本となる幼児理解について「人間関係」を中心に深める。	演習、グループワーク
7) 7) 「人間関係」の育ちと保育者との信頼関係 安心・安定、保育者との信頼関係の構築の観点から人間関係を考える。	演習、グループワーク
8) 8) 「人間関係」の育ちと集団 一人一人を生かした集団の形成について具体的事例をもとに考える。	演習、グループワーク
9) 9) 「人間関係」の育ちと協同性 試行錯誤や協同性について、具体的な事例をもとに考える。	演習、グループワーク
10) 10) 「人間関係」の育ちと道徳性の芽生え 信頼感や思いやり、葛藤やつまずき等について事例をもとに考える。	演習、グループワーク
11) 11) 「人間関係」の育ちと自己調整力 自己発揮や自己主張、自己調整力等について事例をもとに考える。	演習、グループワーク
12) 12) 「人間関係」の育ちと様々な人とのかかわり 様々な人とのかかわりが人間関係の育ちに及ぼす影響について考える。	演習、グループワーク
13) 13) 「人間関係」の育ちを小学校へとつなぐ 人間関係の内容と小学校以降の教育とのつながりを考える。	演習、個人ワーク
14) 14) 「人間関係」の育ちを支える保育の構想 実際の保育を立案し、人間関係の観点から援助や環境構成を考察する。	演習、個人ワーク
15) 15) 「人間関係の育ち」を支える保育の構想 保育考察を通して、人間関係の育ちを支える保育者の在り方を考える。	演習、グループワーク
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領解説（文部科学省）・保育所保育指針解説（厚生労働省）・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説（内閣府）・保育内容「人間関係」（乳幼児教育・保育シリーズ）岩立京子・西坂小百合 2018 光生館 ・事例で学ぶ保育内容 領域「人間関係」 岩立京子・武藤隆 2018 萌文書林 	保育内容総論、保育指導法、教育・保育カリキュラム論

課題に対するフィードバック

備考

科目名	保育指導法（環境）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	重村 美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面と遠隔で実施する。乳児期を含む幼児の発達を踏まえながら、保育内容は「養護と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」が一体的に展開していくことを実際の保育現場における子どもの遊び場面に触れながら理解を深めていく。また、年齢や時期に即した遊び場面を想定し、様々な素材や教材（情報機器を含む）を活用した模擬保育の演習を行う。さらに、その振り返りを通して保育活動（遊び）を創る上で最も重要となる「環境を通した教育・保育」について保育構想の向上に取り組む。保育現場の実務経験をもとに保育の指導方法について授業を行う。

到達目標

J3202ab

1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。
2. 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえながら実際の遊び場面を観察し、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。
3. 指導案の構造を理解した上で、具体的な保育場面を想定した指導案を立案・演習し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。
4. 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする経験と、小学校以降の教科等とのつながりを理解することができる。

成績評価方法

定期試験 60%
授業内・外レポート 10%
演習及びグループ活動 30%
による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート		○	○	○			5
宿題、授業外レポート	○			○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク				○	○	○	15
演習	○	○	○	○	○		15
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「環境」について 【予習】幼稚園教育要領第 2 章の領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】領域「環境」についての小テストを行う（30 分）	授業内レポート
2) 「モノ」とふれあう活動とは 【予習】テキスト第 2 章を熟読する（30 分） 【復習】保育における「モノ」の種類とその役割を考える（30 分）	授業外レポート
3) 保育現場の見学「物的環境を通じた遊び場面」 【予習】保育所保育指針第 2 章 3 歳以上児の保育 領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】物的環境に関する見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
4) 「ヒト」とふれあう活動とは 【予習】テキスト第 5 章を熟読する（30 分） 【復習】保育における「ヒト」の種類とその役割を考える（30 分）	授業外レポート
5) 保育現場の見学「人的環境を通じた遊び場面」 【予習】保育所保育指針第 2 章 3 歳以上児の保育 領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】人的環境に関する見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
6) 「コト」に関わる活動とは 【予習】テキスト第 4 章を熟読する（30 分） 【復習】保育活動（遊び）を調べる（30 分）	授業外レポート
7) 保育現場の見学「子どもを取り巻く様々な環境を通じた遊び場面」 【予習】テキスト第 6 章を熟読する（30 分） 【復習】子どもを取り巻く様々な環境について見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
8) モノ・ヒト・コト」環境を通じた教育・保育とは 【予習】全 4 回の見学内容を振り返る（30 分） 【復習】グループ発表を通じた気づきや感想をまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業外レポート
9) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「環境」との関連 【予習】テキスト第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】領域「環境」に関する指導案を作成する（30 分）	授業外レポート
10) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章第 4 を熟読する（30 分） 【復習】添削された指導案を再考する（30 分）	授業外レポート
11) 環境を通じた保育活動の展開「0、1 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
12) 環境を通じた保育活動の展開「2 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
13) 環境を通じた保育活動の展開「3、4 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
14) 環境を通じた保育活動の展開「5 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
15) 領域「環境」における保育の動向と保育創り 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】「環境を通して行う保育」について考えをまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業外レポート
授業外学習	
<p>保育所保育指針及び幼稚園教育要領の領域「環境」を熟読してください。 11 回目以降は、個人での模擬保育演習を行います。演習に向けた指導案作成や活動に使用する保育教材等の準備、練習を行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新しい保育講座 保育内容「環境」、久保健太・高嶋景子・宮里暁美、ミネルヴァ書房	保育内容総論・保育指導法の各領域科目

課題に対するフィードバック

授業内外レポートについては、Classroomを活用し返却・解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	乳児保育演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	山根 祐子、坪 道子	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

- ・乳児の生活と保育について講義と演習により具体的に学ぶ。
- ・事例検討やグループ討議により学びを深める。
- ・絵本の読み聞かせやわらべうた遊びなどみんなの前で繰り返し演じる。山根は保育園の実務経験をもとに、乳児保育演習の授業を行う。坪は保育園と子育て支援センターの実務経験をもとに、乳児保育演習の授業を行う。

到達目標

- ナンバリング(J3206b)
- ・1年次の乳児保育を踏まえ、乳児保育に必要な知識や技術をさらに習得する。
 - ・乳児保育をするために必要な教材研究を行い、実際にそれを活用した保育実践を考える。

成績評価方法

- ・総合評価です。(筆記試験40%、実践など60%)

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							40	
小テスト、授業内レポート							10	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク							20	
演習							20	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業の進め方 乳児の発達と保育（講義）山根 評 【予習】シラバスを読む 乳児の発達と保育 1 2 を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
2) 乳児の発達と保育（講義）山根 【予習】乳児の発達と保育 2 3 を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
3) 乳児保育の内容と方法 基本的生活を中心に 1（講義）評 【予習】乳児保育でめざすものを読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	育児の演習
4) 乳児保育の内容と方法 基本的生活を中心に 2（講義）山根 【予習】保育園の一日を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	育児の演習
5) 乳児保育の内容と方法 基本的生活を中心に 3（講義）評 【予習】基本的生活の内容と方法を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	育児の演習
6) 乳児保育の内容と方法 基本的生活を中心に 4（講義）山根 【予習】特別な配慮を必要とする子どもを読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	グループ討議
7) 乳児保育の内容と方法 遊びを中心に 1（講義）評 【予習】遊びのありかたと保育実践を読んでおく（20分） 【復習】グループでの発表を家でやってみる（20分）	グループ討議
8) 乳児保育と内容 遊びを中心に 2（講義）山根 【予習】遊びと環境を読んでおく（20分） 【復習】手作りおもちゃの準備をする（20分）	グループでのパフォーマンス発表
9) 乳児保育の内容と方法 遊びを中心に 3 4（講義）評 【予習】遊びにおける保育士の役割 遊び文化を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	グループでの手作りおもちゃ作り
10) 保育の記録と計画 1 2 3（講義）山根 【予習】子どもの姿・活動の記録 保育の計画を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
11) 保育の記録と計画 4 5（講義）指導計画作り 評 【予習】2歳児の指導計画を考えておく（20分） 【復習】2歳児の指導計画作成の続きをする（30分）	2歳児の指導計画作り（個人ワーク）
12) 乳児保育と子どもの発達・親としての発達（講義）山根 【予習】乳児保育と子どもの発達・親としての発達を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	個人ワーク
13) 保育士のあり方をめぐって（講義）評 【予習】保育士のあり方をめぐってを読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	わらべ歌 手遊び 1分間スピーチ
14) 乳児保育のあゆみ（講義）山根 【予習】乳児保育のあゆみを読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	わらべ歌 手遊び 1分間スピーチ
15) 乳児保育の現状・課題とこれから（講義）山根 評 【予習】乳児保育の現状・課題とこれからの読んでおく（20分） 【復習】前期・後期すべての授業内容を振り返り、復習する（30分）	わらべ歌 手遊び 1分間スピーチ
授業外学習	
乳児保育に役立つ手作りおもちゃや教材作り 子育て支援センターなどで、親子の様子を観察する機会を作る。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育所保育指針」厚生労働省（参考書） 「資料でわかる 乳児の保育新時代」乳児保育研究会編 ひとなる書房	

課題に対するフィードバック

翌週に授業の中で全体的なコメントする

備考

- ・子どもに関するニュースや社会の動きについて関心を持ち、積極的に情報収集をしましょう。
 - ・学ぶことは楽しいことです。授業に積極的に参加してください。
- 【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。

科目名	特別支援教育・保育概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2年	前期			
担当者名	岡本 実		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭資格 必修			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や幼稚園、児童発達支援センターなどにおける障害児保育の意義を知り現状を把握する。 ・ 特別な支援を必要とする子どもの障害の特性、支援の方法、環境の在り方について、具体的かつ実践的に学習する。 ・ 保育所や知的障害児通園施設、児童発達支援センターなどにおける障害児保育の実務経験をもとに授業を行います。 							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害をもつ子どものライフステージを知り、ライフステージの各段階における支援や社会資源を理解する。 ・ 幼児期の支援 - 障害児保育 - の現状と課題について理解し、関係機関との連携や家族への支援、地域への参加について学ぶ。 ・ 発達期の障害（発達障害）に関する基礎的な理解をもち、発達障害児の保育指導、発達支援についての知識と技術を習得する。 			成績評価方法 受講態度、提出物、試験などにより総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：演習の概要，障害の社会モデル 【予習】障害者基本法等の障害者の定義について予習の事（30分） 【復習】社会モデルや乳幼児期の支援と合理的配慮について復習（30分）	障害の社会モデルと合理的配慮についてのディスカッション
2) 障害児（統合）保育の歴史と現状、課題 【予習】テキスト等で障害児保育の現状と課題について予習の事（30分） 【復習】インクルージョン等の意義について復習する（30分）	障害児保育を支える理念についてのディスカッション
3) 関係機関との連携と保護者支援 【予習】親の手記などを読み、親の心情を理解する（30分） 【復習】グループワークでの学びを整理する（30分）	グループワーク：親の手記等から親の心情の理解と援助について考察
4) 小学校との連携と就学指導：障がいのある児童の教育の歴史，就学指導 【予習】障害のある児童の就学の場や特徴について予習の事（30分） 【復習】就学指導についてワークシートを用いて整理する（60分）	就学指導についてのディスカッション
5) 障害児保育の実際：保育所や専門施設における障害児保育の実際 【予習】各機関における障害児保育について予習の事（30分） 【復習】各機関の障害児保育の特色等についてまとめること（30分）	
6) 知的障害の理解と援助：主な知的障害と配慮事項（ <i>タウ</i> 症候群を中心に） 【予習】テキスト（p100-p116）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】知的障害の特徴と配慮点をまとめる（30分）	
7) 自閉症スペクトラム障害の理解と援助 【予習】自閉症の研究史，診断基準等について確認しておくこと（30分） 【復習】ASD児の障害の特性と配慮事項について復習すること（60分）	自閉症の障がい体験とディスカッション
8) ASD児の理解と援助：TEACCHに学ぶ，支援の基本原則，支援ツールの作成 【予習】ワークシートを確認しておく（30分） 【復習】自閉症児支援ツール作成上のポイントを整理する（30分）	自閉症児のストレングスに着目した支援ツールの作成（グループワーク）
9) てんかんのある子どもの理解と援助：定義と分類，Epi発作時の対応 【予習】紹介した関連サイトを閲覧し，事前学習を行う（30分） 【復習】Epiの発作時の対応と生活指導についてまとめること（30分）	てんかん発作時の対応，映像視聴とディスカッション
10) 運動障害の理解と援助：主な運動障害，重心と医ケア児の理解と援助 【予習】テキスト（p90-p99）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】運動障害の特徴と配慮点についてまとめる（30分）	
11) コミュニケーション障害の理解と援助 【予習】テキスト（p84-p90）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】コミュニケーション障害の特徴と配慮点についてまとめる（30分）	
12) 障害をもつ子どもの生活指導：障害の特性に応じた生活指導のポイント 【予習】幼児期の身辺自立の発達について関連書籍に眼を通す（30分） 【復習】障害の特性に応じた生活指導や援助についてまとめる（30分）	
13) 障害をもつ子どものアセスメント（グループワーク） 【予習】保育活動におけるアセスメントの役割について事前学習（30分） 【復習】GWの振り返りを行い，アセスメント実施上のポイントを整理する（30分）	発達検査の実施と検査結果の解釈（グループワーク）
14) 保育計画作成演習（グループワーク）：事例を基に障害児保育の計画を考える 【予習】テキスト（p61-p68）読んでポイントを整理する（30分） 【復習】GWの振り返りを行い保育計画作成上のポイントを整理する（30分）	保育計画の作成（グループワーク）
15) まとめ 【予習】障害児保育の保育者の役割について考えを整理する（30分） 【復習】演習の振り返りを行い，演習の学びをまとめる（60分）	
授業外学習	
テキストの該当箇所を事前に熟読して授業に臨むこと。 適宜配布する予習課題（ワークシート）に取り組んだうえで授業に臨むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新：障害のある子どもの保育実践」水田・増田編著（2014）（学文社） 参考書はその都度紹介します	障害者福祉、障害児の発達援助法

課題に対するフィードバック

ワークシート等の課題は翌週にコメントをつけて返却します。

備考

意欲的に取り組むこと、配布資料は必ずファイルしておくこと。
【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	社会的養護						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	杉 武士		関連する資格	保育士資格 必修			
授業概要 主に児童養護施設の講義や演習を通して、児童福祉施設の役割や入所児童を理解する。また、これからの社会的養護の在り方について創造する。児童養護施設児童指導員での実務経験をもとに、社会的養護について授業を行う。							
到達目標 ナンバリング(J3204b) ・社会的養護の中で児童養護施設が果たしている役割を、講義や演習を通して認識する。 ・入所児童、保護者、職員の思いを提示し、それをもとに多角的に物事を考える力をつける。			成績評価方法 小テスト及び筆記試験、受講態度等で評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第1章 社会的養護の基礎理解 社会的養護の理念と体系、勤務体制 【復習】社会的養護の基本的な考えや背景について理解を深める。（20分）	グループワーク
2) 第2章 社会的養護における支援内容 アドミッションケア、インケア 【復習】施設を利用するまでの流れと入所前後の生活について考える。（20分）	グループワーク
3) 第2章 社会的養護における支援内容 リービングケア、アスターケア 【復習】施設を退所する子どもへのアプローチと退所後の支援について考える。（20分）	グループワーク
4) 第2章 社会的養護における支援内容 施設養護のインケア 【復習】施設における日常生活の指導ポイントを生活場面ごとに整理する。（20分）	グループワーク
5) 第2章 社会的養護における支援内容 里親制度への理解 【復習】里親制度への理解を深める。また、里親が求められている背景と委託が進まない要因について考える。（20分）	グループワーク
6) 第2章 社会的養護における支援内容 虐待された子どもへの理解と対応 【復習】虐待が子どもに与える影響について学ぶことで、子どもへの養育について事例を用いて考えてみる。（20分）	事例検討
7) 第2章 社会的養護における支援内容 特徴のある子どもへの理解と対応 【復習】発達障害児の特徴を理解したうえで、その子にあった支援を考える。（20分）	事例検討
8) 第2章 社会的養護における支援内容 家族支援 【復習】保護者支援を行うために有効な関係機関との連携の在り方について考える。（20分）	事例検討
9) 第3章 支援計画と記録・評価 自立支援計画1 【復習】自立支援計画を作成するための準備として、事例を通して子どもの特徴や家庭状況を把握する。（40分）	事例検討
10) 第3章 支援計画と記録・評価 自立支援計画2 【復習】小グループに分かれて自立支援計画票を作成する。（30分）	グループワーク
11) 第3章 支援計画と記録・評価 記録、評価 作成した自立支援計画票をグループごとに発表する。 【復習】マッピング技法やケース記録の書き方を理解する。（20分）	プレゼンテーション
12) 第4章 社会的養護の実際 地域小規模化 【復習】施設の小規模化を進めていくうえでのメリット・デメリットを考える。（20分）	事例検討
13) 第4章 社会的養護の実際 児童家庭支援センターの役割 【復習】地域への福祉支援について、児童家庭支援センターの活動から学ぶ。（20分）	事例検討
14) 第5章 社会的養護の課題と展望 里親と施設の連携 【復習】里親と施設のこれまで歩みを整理し、双方の今後の協働の在り方について考えていく。（20分）	グループワーク
15) 第5章 社会的養護の課題と展望 社会的養護の課題と展望 【復習】社会的養護の課題を明確にし、これからの在り方を考えていく。（20分）	グループワーク、小テスト
授業外学習	
・講義で学んだことを見直し、理解を深めていく。理解状況の把握については、次回の講義前に小テストを行い確認する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	社会的養護

課題に対するフィードバック

事例検討、グループワークについては授業内でまとめコメントする。

備考

一面的な見方では関わりの幅が広がりません。広い視野が持てるよう学生生活を送ってください。

科目名	子育て支援						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 保育現場における保育相談支援の基本と実際の展開から、その要点となるものを学ぶとともに、相談支援を行う自分自身についての分析や相談をする側（援助を受ける側）の立場や心理についての学習も行う。 病院や老人保健施設でのソーシャルワークの実務経験をもとに、対人援助における対象理解や視点、援助者の態度について授業を行う。 本授業は対面により実施する。							
到達目標 ナンバリング（J4101b） 保育士として保護者に行う子育て支援について、その意義と内容、方法について理解する。			成績評価方法 定期試験、授業内で実施する確認テスト及び授業参加度により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 保育士と相談援助の関係 【予習】子ども家庭支援論の授業内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) なぜ助けを求めないのか？ 保護者の心理 【予習】保護者が支援を求められない理由について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
3) 3) なぜ助けを求めないのか？ 支援者の姿勢 【予習】保護者に対する支援者としての姿勢について考える（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
4) 4) 相談支援の価値と原理（1） 【予習】子ども家庭支援の基本について振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
5) 5) 相談支援の価値と原理（2） 【予習】保育所保育指針第4章を読む（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
6) 6) 保育相談支援の手順と考え方 【予習】子ども家庭支援の進め方を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
7) 7) 保育所の果たす福祉機能 【予習】児童福祉法、保育所保育指針から保育所の役割を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
8) 8) 保護者の立場・心情を理解する（1） 【予習】子育て中の保護者の心情について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
9) 9) 保護者の立場・心情を理解する（2） 【予習】子育て中の保護者の心情について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
10) 10) 保育者の保護者支援 どんな点に留意しているか？ 【予習】子ども家庭支援の基本について振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
11) 11) 保護者からの訴えに対応する 【予習】これまで学んだ保護者支援の要点を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
12) 12) 保護者対応の実際（1）ロールプレイ 【予習】支援の技法や進め方を振り返る（30分） 【復習】演習を通して得た気づきを整理する（30分）	ロールプレイ
13) 13) 保護者対応の実際（2）ロールプレイ 【予習】支援の技法や進め方を振り返る（30分） 【復習】演習を通して得た気づきを整理する（30分）	ロールプレイ
14) 14) 子育て支援の意義 【予習】子育て家庭をめぐる社会的環境について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
15) 15) まとめ 【予習】これまでの授業内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	社会福祉、子ども家庭支援論

課題に対するフィードバック

毎回の小テストは次の回までに返却する。

備考

科目名	教育の方法と技術			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

教授 - 学習活動に関する基本的な理論・事項について幼児の実態に即して理解するとともに、教授活動のために必要な知識・技能、また、教育環境の充実に必要な知見や技法について学び、それらを活用した教育活動ができるようになることを目標とする。特に ICT や視聴覚機器については、基本的な理解を中心として、それらを実際の幼児教育で活用する際に必要となるミニマムの知識や技術の習得を図る。

到達目標

- ・教育・保育活動において子どもたちの動き・意識に配慮した指導法を考え、実践することができる。
- ・より効果的かつ質の高い教育・保育活動を行うためにメディアを適切かつ有効に用いることができる。

成績評価方法

定期試験 50%、課題・提出物・ワーク等 50%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							5
実習							5

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第 1 回：オリエンテーション 講義の概要および受講に際する留意点等の説明【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第 2 回：「教える」ということ～その理論 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 幼児期の教育の理解(1)～要領・指針に示された幼児教育【予習・復習】「教育要領解説」、「保育指針解説書」、「認定こども園要領」における関係個所に目を通しておくこと。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返ってみること。	
4) 第 4 回：幼児期の教育の理解(2)～幼児期の発達特性と教育の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) 第 5 回：教育の方法のポイント(1)～指導計画の作成 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) 第 6 回：教育の方法のポイント(2)～教材研究の意義 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7) 第 7 回：教育の方法のポイント(3)～学びを構成する技術・方法 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
8) 第 8 回：環境の構成と保育の形 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) 第 9 回：学習評価の理論と方法 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) 第 10 回：情報化社会とメディア・リテラシー～メディアに対して必要な態度・知見【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11) 第 11 回：保育・教育とデジタル・メディア～現状と課題 【予習・復習】最新のデジタル技術等について、関心をもって接すること。講義中に出された課題に取り組むこと。	
12) 第 12 回：保育・教育実践への活用～画像処理の方法とデジタル教材の作成・活用 【予習・復習】前回の講義内容について理解を図ること。講義中に出された課題に取り組むこと。	演習・実習・GW
13) 第 13 回：保育・教育活動を支援する ICT～情報の蓄積と共有の方法 【予習・復習】前回の講義内容について理解を図ること。講義中に出された課題に取り組むこと。	
14) 第 14 回：ICT 時代の保育・教育と子どもと保育・教育現場で必要とされる情報活用能力【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
15) 第 15 回：子どもの育ち・学びのために～小学校や地域等との連携・協働の重要性と方策【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
9.9320188801	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 師岡章編著『幼児教育の指導法』放送大学教育振興会</p> <p><参考図書・資料> 幼稚園教育要領（平成 29 年改訂）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成 29 年告示）、幼稚園教育指導資・指導計画の作成と保育の展開（平成 25 年 7 月改訂）のほか、適宜、資料を配布する。</p>	<p>情報機器の操作 保育指導法の各講義</p>

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

<注意>「努力した」は認められない。確実な「理解」と「学修」が望まれる。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	乳児保育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	平 道子、山根 祐子	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

乳児保育が社会で果たす役割や、0歳から2歳の発達の特徴、保育者の役割、大切にしなければいけないことなどを学ぶ。平は保育園と子育て支援センターの実務経験をもとに、乳児保育の授業を行う。山根は保育園の実務経験をもとに、乳児保育の授業を行う。

到達目標

ナンバリング(J2206b)
 ・乳児期の発達段階に合わせた保育ができるように、基礎的な知識と理論を学ぶ。
 ・わらべ歌、手遊びなどの実技を行い、具体的な技能を高めていく。

成績評価方法

定期筆記試験50%、実践など50%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	自己紹介 授業の進め方について 乳児保育とは（講義） 評 山根 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（10分）	自己紹介
2)	乳児保育とは（講義） 評 【予習】1章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	個人ワーク
3)	保育園における乳児保育（講義） 山根 【予習】2章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
4)	1歳未満児の保育（講義） 評 【予習】3章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
5)	満1歳以上3歳未満児 1歳児の保育（講義） 山根 【予習】4章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	
6)	満1歳以上3歳未満児 2歳児の保育（講義） 評 【予習】5章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	個人ワーク
7)	乳児保育の環境（講義） 課題に対する考察 山根 【予習】6章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	グループ討議
8)	乳児保育の環境（講義） パフォーマンス 評 【予習】発表の練習をしておく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	グループでのパフォーマンスの発表
9)	乳児保育における保健活動（講義） 課題に対する考察 山根 【予習】7章をよんでおく（20分） 【復習】授業内に出来なかった場合続きを行う	個人ワーク
10)	保育の計画（講義） 課題に対する考察 評 【予習】8章を読んでおく（20分） 【復習】授業内に出来なかった場合続きを行う	個人ワーク
11)	乳児保育と連携（講義） 課題に対する考察 山根 【予習】9章を読んでおく（20分） 【復習】授業内に出来なかった場合続きを行う	個人ワーク
12)	保育所における子育て支援（講義） 評 【予習】10章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	個人ワーク
13)	乳児保育の未来（講義） 山根 【予習】11章を読んでおく（20分） 【復習】授業内容を振り返りまとめる（20分）	グループ討議
14)	わらべ歌 手遊び 1分間スピーチ（発表） 評 【予習】発表の練習をする（20分） 【復習】後期のすべての授業内容を振り返り、復習する（20分）	個人演習
15)	わらべ歌 手遊び 1分間スピーチ 発表 評 山根 【予習】発表の練習をする（20分） 【復習】後期のすべての授業内容を振り返り、復習する（30分）	個人演習
授業外学習		
乳児に接する機会を多くもつこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<テキスト> やさしい乳児保育 神蔵幸子 金 允貞 編 著 青鞥社 <参考書> 「保育所保育指針」（厚生労働省）		

課題に対するフィードバック

翌週に授業の中で全体的なコメントをする。

備考

・学ぶことは楽しいことです。授業に積極的に参加して下さい。
【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。

科目名	障害児の発達援助法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 障害の特性を理解し、障害のある子どもが日々の保育活動のなかで主体的に生活できるようになるための保育者の配慮や具体的な保育の展開方法を学ぶ。様々な保育・教育・福祉現場における支援の実際を知り、地域の中で行う障害児の発達援助について理解を深める。 全国身体障害者総合福祉センターでの実務経験をもとに、障害理解、障害児支援について授業を行う。 本授業は対面により実施する。							
到達目標 ナンバリング (J4103b) 1. 子どもの発達と障害の特性に配慮した活動について理解できる。 2. 発達障害のある子どもを中心に、子どもの全面的な発達を促す保育活動のあり方や個別的配慮について検討できるようになる。 3. 保護者への育児支援、地域での生活について配慮できるようになる。			成績評価方法 レポート、小テスト				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							90
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション（近藤） 【予習・復習】これまで受講した障害関係の科目の内容を整理する（60分）	
2) 2) 障害のある子どもとの関わりについて（近藤） 【予習・復習】自分自身の障害児への関わりを振り返るとともに授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	個人ワーク
3) 3) あらためて「障害」とは何か、専門職の役割と姿勢について（近藤） 【予習・復習】障害者福祉で学んだ障害の概念を再確認するとともに授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	個人ワーク
4) 4) より良い発達障害児支援を行うには（近藤） 【予習・復習】実習現場での障害児支援を振り返るとともに授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
5) 5) 小学校における障害児への対応（河村） 【予習・復習】小学校における特別支援教育の概要について確認するとともに授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
6) 6) 発達援助のための基本的な留意点 肢体不自由のある子ども（岡本） 【予習・復習】特別支援教育・保育概論で学んだことを再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
7) 7) 発達援助のための基本的な留意点 知的障害のある子ども（岡本） 【予習・復習】特別支援教育・保育概論で学んだことを再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
8) 8) 発達援助のための基本的な留意点 発達障害のある子ども（岡本） 【予習・復習】特別支援教育・保育概論で学んだことを再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
9) 9) 保育所における障害児の発達援助（近藤） 【予習・復習】保育所実習で学んだことを再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	個人ワーク
10) 10) 障害児の支援 構造化について（近藤） 【予習・復習】構造化の概念を再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	個人ワーク
11) 11) 障害児の支援 応用行動分析について（近藤） 【予習・復習】応用行動分析概念を再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	個人ワーク
12) 12) 保育現場での対応について（近藤） 【予習・復習】これまで学んだ支援方法について再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
13) 13) 保育現場での事例研究（近藤） 【予習・復習】これまで学んだ支援方法について再確認し授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	グループワーク
14) 14) 障害児を育てる親への支援（近藤） 【予習・復習】保育現場における保護者支援を再確認するとともに授業プリントをもとに内容を整理する（60分）	
15) 15) まとめ（近藤） 【予習・復習】これまで学んだ内容を整理する（60分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	特別支援教育・保育概論、障害者福祉

課題に対するフィードバック

提出物にはコメントをつけて返却する

備考

科目名	子どもとあそび						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	久光 明美		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 幼児の生活のほとんどが遊びであると言ってもよい。その遊びは子どもへの心身の成長・発育にとって非常に重要である。そこで、本授業は、自然あそびやリズム遊びなど、それぞれの遊びの実践を通して、遊びには意味があることを学ぶ。また、遊びの楽しさ、面白さを体験するとともに、保育者としての遊びの展開の方法や楽しさの広がりについて学習する。							
到達目標 J1202b ・実際に作品を創作したり体を動かして表現したりするなど、実践を通して遊びのもつ楽しさ・面白さ・意味を理解する。 ・さまざまな遊びの広がり、遊びの展開方法を考えることができる。 ・自分の得意となる遊びを見つけ、披露することができる。			成績評価方法 ・授業毎のふりかえりカードの提出 ・製作物や課題の提出 ・遊びについてのまとめ（発表） 以上を総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					30
授業態度・授業参加度		○					30
プレゼンテーション		○	○	○			10
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業の概要、諸注意） 【予習】子どもにとっての遊びについて考える（30） 【復習】今後の授業内容について理解する（10）	
2) 自然と関わる遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
3) 自然と関わる遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
4) リズム遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
5) リズム遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
6) リズム遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
7) 身近なものを使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
8) 身近なものを使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
9) 身近なものを使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
10) 身近なものを使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
11) 竹を使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
12) 竹を使った遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
13) けん玉遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
14) けん玉遊び 【予習】下調べレポート（30） 【復習】事後レポート（30）	演習
15) まとめ 【予習】体験した遊びを振り返る（30） 【復習】まとめレポート（50）	グループ活動 プレゼンテーション
授業外学習	
予習としてそれぞれの遊びの下調べと、受講後の学びを各自でまとめ、課題レポートとして提出します。遊びの楽しさの引き出しが増えるように、工夫をすることを望みます。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付します。	

課題に対するフィードバック

提出したレポートは、評価・コメントをつけて、返却します。

備考

遊びは、強制的な活動ではなく、あくまでも自由かつ主体的な活動です。授業毎に講師をお招きして様々な遊びの方法や遊びにまつわるお話し等を通して学習を深めます。みなさんの前向きな意欲と姿勢でよりよい学びの場をつくりましょう。尚、みなさんの学びの場を乱すような態度は一切認めません。携帯電話や私語は慎んでください。持参物が必要な内容があります。その都度、掲示板にて連絡します。

科目名	レクリエーション演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修 公認障がい者指導員資格 必修 保育士資格 選択	

授業概要

レクリエーションの理論を踏まえたうえで、ホスピタリートレーニングやアイスブレイキング等の体験を通して、レクリエーション支援者としてより良いコミュニケーションを築くための方法を修得する。また、子どもや地域の人たち、障がいのある人等、それぞれに応じた遊びや運動・スポーツ活動の楽しさの基本的な展開方法を体験的に学ぶ。

到達目標

J3209bcd

- ・よりよい信頼関係を築くために必要な態度・行動を習得する。
- ・グループ活動において相互作用を引き出し、活用する手法を理解する。
- ・様々なレクリエーション活動の体験を通して、レクリエーション活動が展開できる技術を習得する。

成績評価方法

- ・授業内レポート
 - ・授業外レポート（遊びのノート）
 - ・演習（学びの発表）
 - ・授業態度・授業参加度（学外活動での取り組み等も含む）
- 以上を総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 遊びノートづくりについて 【予習・復習】遊びのノート（1冊）を準備し、遊びのノートづくりの工夫を考える。（60分）	
2) 信頼関係づくりの方法 （あたたかくもてなすという意識と配慮） 【予習・復習】あたたかくもてなすための配慮について考える。遊びのノートづくりを行う。（60分）	
3) 信頼関係づくりの方法 （対象者と意思疎通を促進する技術） 【予習・復習】対象者とのよりよい意思疎通について考える。遊びのノートづくりを行う。（60分）	グループ活動
4) 良好な集団づくりの方法 （アイスブレイキング） 【予習・復習】アイスブレイキングの方法を理解し、実践できる。遊びのノートづくりを行う。（60分）	
5) 良好な集団づくりの方法 （アイスブレイキングの効果を高める支援技術） 【予習・復習】アイスブレイキングの効果を理解し、実践できる。遊びのノートづくりを行う。（60分）	グループ活動
6) レクリエーション活動の展開方法 【予習・復習】スポーツ・レクリエーション大会での遊びの企画を考える。遊びのノートづくりを行う。（60分）	
7) レクリエーション活動の展開方法 【予習・復習】具体的な遊びの内容を考え、プログラム案を作成する。遊びのノートづくりを行う。（60分）	グループ活動
8) レクリエーション活動の展開方法 【予習・復習】考えた遊びのシュミレーションを行い、よりよい遊びになるようさらに工夫等を行う。（60分）	グループ活動
9) レクリエーション支援の実施 （スポーツ・レク大会への参加） 【予習・復習】楽しい遊びの支援のための準備を行う。実践をふりかえり、ふりかえりシートの記入、及び遊びのノートづくりを行う。（60分）	グループ活動
10) レクリエーション支援の実施 （スポーツ・レク大会への参加） 【予習・復習】楽しい遊びの支援のための準備を行う。実践をふりかえり、ふりかえりシートの記入、及び遊びのノートづくりを行う。（60分）	グループ活動
11) 児童・障がい児（者）に合わせたレクリエーション活動の理解（障がいの特性の理解）【予習・復習】身体障がいの主な特性を調べる。障がいの特性を踏まえたスポーツ活動の実態を理解する（60分）	
12) 児童・障がい児（者）に合わせたレクリエーション活動の理解（障がいの特性の理解）【予習・復習】知的障がいの主な特性を調べる。障がいの特性を踏まえたスポーツ活動の実態を理解する（60分）	
13) 児童・障がい児（者）に合わせたレクリエーション活動の理解（障がいの特性の理解）【予習・復習】精神障がいの主な特性を調べる。特性の理解を踏まえたスポーツ活動の実態を理解する（60分）	
14) 児童・障がい児（者）に合わせたレクリエーション活動の体験（障がい者スポーツにおける指導上の配慮点）【予習・復習】パラ・スポーツにおける支援方法を考える。パラ・スポーツの参加から配慮点を理解する。（60分）	グループ活動
15) 児童・障がい児（者）に合わせたレクリエーション活動の体験 / 生涯に応じたスポーツの工夫・障害者スポーツ指導員資格制度と役割について【予習・復習】パラスポをふりかえり、障害に応じたスポーツの工夫を理解する。（60分）	グループ活動
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ様々な遊びやレクリエーション活動に興味を持ち、積極的に取り組んでみましょう。 ・地域のレクリエーション協会主催の事業等にも、意欲的に参加をしましょう。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、資料配布 ・参考書：「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」（日本レクリエーション協会） レク・インストラクター資格取得希望者のみ 	レクリエーション概論 レクリエーション演習 レクリエーション実習

課題に対するフィードバック

提出したプリントや遊びノートは、コメントをつけて返却する

備考

- ・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等支援者としてのふさわしい身だしなみを各自心掛けてください。
- ・遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。

科目名	レクリエーション演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修 公認障がい者指導員資格 必修 保育士資格 選択	

授業概要

レクリエーション演習 での学びを踏まえたうえで、想定した対象者への実践を通してレクリエーション支援者、及び障がい者スポーツ指導員としての支援技術ならびに支援方法を修得する。

到達目標

J4202bcd

- ・対象者に応じた支援の方法を修得する。
- ・対象者に応じたレクリエーション活動のアレンジの方法について理解する。
- ・対象者・目的に応じた様々なレクリエーション活動を活用した指導案が作成できる。

成績評価方法

- ・授業内レポート（遊びのノート）
- ・授業外レポート
- ・演習（遊びの実践）
- ・授業態度・参加度（学外活動での取り組み等も含む）

以上を総合的に評価する

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							30	
宿題、授業外レポート							40	
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習							20	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業概要、進め方、評価方法等ガイダンス） 【予習・復習】実習で行った遊びをふりかえる。返却された遊びのノートを確認し、よりよいノートづくりを行う。（60分）	
2) レクリエーション活動のアレンジと展開 【予習・復習】遊びの楽しさを考える。アレンジと展開した活動をふりかえり、遊びノートづくりを行う。（60分）	
3) レクリエーション活動のアレンジと展開 【予習・復習】遊びの楽しさを考える。アレンジと展開した活動をふりかえり、遊びノートづくりを行う。（60分）	
4) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の実際 【予習・復習】乳幼児の親子へ関わる際の配慮すべき点を考える。子どもたちの遊びの様子をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
5) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の実際 【予習・復習】乳幼児の親子へ関わる際の配慮すべき点を考える。子どもたちの遊びの様子をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
6) 児童を想定したレクリエーション活動支援の実際 【予習・復習】児童への関わる際の配慮すべき点を考える。子どもたちの遊びの様子をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
7) 児童を想定したレクリエーション活動支援の実際 【予習・復習】児童への関わる際の配慮すべき点を考える。子どもたちの遊びの様子をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
8) 障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の実際（パラスポーツ参加） 【予習・復習】障がい児（者）へ関わる際の配慮すべき点を考える。パラスポーツの参加をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
9) 障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の実際（パラスポーツ参加） 【予習・復習】障がい児（者）へ関わる際の配慮すべき点を考える。パラスポーツの参加をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
10) 障がい児（者）を想定したレクリエーション支援について（障がいに応じたスポーツの工夫・全国障害者スポーツ大会の概要）【予習・復習】パラスポーツをふりかえる。障がい者スポーツの工夫を理解する（60分）	
11) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの企画 【予習・復習】季節を感じるプログラムを立案する。グループごとにプログラムの準備を進める。（60分）	
12) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの企画 【予習・復習】グループで準備・練習を進める。シュミレーション後、再度打ち合わせ等を行う。（60分）	
13) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの実践 【予習・復習】実践に向けた準備を整える。活動のふりかえりを行い、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
14) 企画したレクリエーションプログラムのふりかえり／学びの発表 【予習・復習】授業で体験した遊びから1つを選択し、発表の準備を整える。自分と他の受講生の発表をふりかえり、遊びのノートづくりを行う。（60分）	
15) レクリエーション支援者（障がい者スポーツ指導員）としての今後の課題 【予習・復習】支援者として果たすべき役割を考える。遊びのノートづくり（まとめ）を行う。（60分）	
授業外学習	
<p>・地域で行われる行事やイベント（遊びのプログラム）を探し、積極的に参加をしましょう。そして、その参加を通し、できるだけ地域の子どもや障がい児（者）と関わる機会と経験をたくさんもちましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・資料配布 ・テキスト：「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」（日本レクリエーション協会） レク・インストラクター資格取得希望者のみ 	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション概論 レクリエーション演習 レクリエーション実習

課題に対するフィードバック

提出したプリントや遊びノートは、コメントをつけて返却する

備考

- ・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等レクリエーション支援者（障がい者スポーツ指導員）として、ふさわしい身だしなみを各自心がけて受講してください。
- ・遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。

科目名	子どもの音楽						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	久光 明美、阿部 勝、佐々木 ちとせ、玉木 葉子、神出 裕子		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択			
授業概要 幼稚園教育要領・保育所指針に基づき、音楽を通じた基礎的表現技術を習得することを目的とする。保育現場での音楽表現活動を展開するために必要な、音楽に関する基礎的知識や読譜力を身につけ、同時に、声による表現技術や声楽・ピアノを中心とした基礎技能を修得しながら、豊かな音楽的感性を培い、自己表現していく技術や方法を学ぶ。子どもの歌は毎回季節、行事などに応じた曲を歌う。							
到達目標 J1203ab 1. 楽典の基礎的知識を理解する。 2. 正しい音程で楽しく歌うことができる。 3. ピアノ演奏ができる。 4. 弾き歌いができる。 5. 様々な声の出し方があることに気付き声による豊かな表現ができる。			成績評価方法 定期試験（実技、楽典）・授業態度・提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（ピアノ個人レッスン振り分けの実技発表など）【予習】実技課題曲を入念に練習する。「子どもの音楽」のシラバスを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲は練習しておく。（30分程度）	個人ワーク
2) 音楽基礎(楽譜のしくみ)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
3) 音楽基礎(音名)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
4) 音楽基礎(音名)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
5) 音楽基礎(小節)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
6) ピアノ・弾き歌いの実技中間確認試験 【予習】実技中間確認試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の課題を明確にし、次の実技課題曲の練習をしておく。（30分程度）	振り返り・ディスカッション
7) 音楽基礎(小節)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク
8) 音楽基礎(楽曲の形式)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
9) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	
10) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
11) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
12) 音楽基礎(拍子とリズム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
13) 音楽基礎(拍子とリズム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
14) まとめ【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキスト、配布資料の確認をしておく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、前期授業内容の重点を確認し、試験対策を行なう。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
15) 実技試験 【予習】実技試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の振り返りからの課題を明確にする。楽典試験対策をしておく。（30分程度）	振り返り・ディスカッション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレッスンに向けてのピアノ、弾き歌い、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どものための音楽表現技術」（萌文書林） 「こどものうた 100」（チャイルド本社） 「子どもの発達と音楽表現」（学文社） プリント配布	子どもの音楽 ～ 、保育指導法（表現）

課題に対するフィードバック

- ・授業最後に行なう小テスト結果から各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。
- ・ピアノ受講表に個人レッスン実技担当教員から毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容をピアノ受講表に記入し、練習の振り返りを行い、課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念な練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	久光 明美、阿部 勝、佐々木 ちとせ、玉木 葉子、神出 裕子	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択	

授業概要

子どもの音楽 を基礎として、音楽表現技術や知識及び表現方法をより発展的に学ぶことを目的とする。ピアノ、声楽、現場での即戦力となる「弾き歌い」の技術を高めると共に、音楽を通して自己表現していく技術を習得する。声楽の個人レッスンを行いながら、子どもの歌を通しての声による表現力を学ぶ。子どもの歌は毎回季節、行事などに応じた曲を歌う。

到達目標

J2207ab

- 1.楽譜を理解し、正しい音程、正確なリズムでピアノ演奏、歌唱ができる。
- 2.独唱やアンサンブルを通して曲のイメージをもって表現することができる。
- 3.弾き歌いなどが実習で実践できる技術を習得する。

成績評価方法

定期試験(実技、楽典)・授業態度・提出物による総合評価

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							30	
小テスト、授業内レポート							10	
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク							10	
演習							20	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・夏期休暇課題曲の試験 【予習】実技課題曲を入念に練習する。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
2)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
3)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストp57を読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
4)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
5)	音楽基礎(音階と調)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
6)	音楽基礎(音階と調)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
7)	ピアノ・弾き歌いの実技中間試験 【予習】実技中間確認試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の課題を明確にし、次の実技課題曲の練習をしておく。（30分程度）	振り返り ディスカッション
8)	音楽基礎(和音とコードネーム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
9)	音楽基礎(和音とコードネーム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
10)	歌唱・声を中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
11)	歌唱・声を中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
12)	楽器遊びを中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・振り返り ディスカッション
13)	楽器遊びを中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
14)	音楽基礎・歌唱・楽器での表現のまとめ 【予習】実技課題曲を入念に練習する。（30分程度） 【復習】後期授業内容の重点を確認し、試験対策を行なう。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
15)	実技試験 【予習】実技試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の振り返りからの課題を明確にする。楽典試験対策をしておく。（30分程度）	振り返り ディスカッション
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレッスンに向けてのピアノ、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「子どものための音楽表現」(萌文書林) 「こどものうた 100」(チャイルド社) 「子どもの発達と音楽表現」(学文社) プリント配布		子どもの音楽、～、保育指導法(表現)

課題に対するフィードバック

- ・授業最後に行なう小テスト結果から各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。
- ・個人レッスン実技担当教員からピアノ受講表に毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容を授業記録表に記入し、練習の振り返りを行い課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念に練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの造形			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択	

授業概要

造形表現を学ぶことで基本的な表現方法を身につけ、表現の幅を広くして幼児の情操教育を豊かにしていく一助を担う。また同時に作品制作を進める過程で、学生自身の表現力を向上させ身をもって制作活動の楽しさを味わう経験をもつ時間とする。本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。

到達目標

J1204ab

- ・保育者が子どもと関わる造形活動において必要な、材料、用具の取り扱い方や技法を身につけ、作品制作ができるようになる。
- ・子どもと関わる際に用いる保育教材が作れるようになる。
- ・保育室や園内を飾る壁面制作において必要になってくる、行事や生活場面が描けるようになる。

成績評価方法

スケッチブック、レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 造形表現の意義 さまざまな素材（鉛筆、フェルトペン、パステル、クレパス、など） 【予習・復習】教科書の「はじめに」「1章」を読む。（60分）	個人ワーク
2) 絵画表現技法を楽しむ スクラッチ技法、フィンガーペインティング技法（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
3) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、パチック技法、にじみ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
4) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、型紙作り、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
5) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、スパッタリング、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
6) 絵画表現技法を楽しむ マスキング技法、マーブリング技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
7) 絵画表現技法を楽しむ ローリング、ドリッピング、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
8) 絵画表現技法を楽しむ デカルコマニー技法、フロッタージュ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
9) 絵画表現技法を楽しむ スタンピング技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
10) 絵画表現技法を楽しむ コラージュ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
11) ペープサートとは、材料・道具、題材選び、構想 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
12) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
13) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
14) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
15) まとめ、ふりかえり 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	レポート
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、達成できていない課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p> <p>事後学習に関して、毎回の制作物の整理をすること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林） 「スケッチブック」	子どもの造形 ・ ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

備考

科目名	子どもの造形						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	原井 輝明		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択			
授業概要 造形表現 で習得してきたことを踏まえてその幅を広げ、深めていく。 自然や身近にある物を利用して造形表現に必要なと思われる体験を蓄積し、創造する喜びを会得する。その学び得たことを伝えていく技量や手段を身につけていく。 本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。							
到達目標 J2208ab ・材料の性質、道具・画材の扱い方を学びながら技法を身につけ、作品作成の喜びを感じ取る。 ・保育者として作品づくりができるようになると同時に、子どもの活動に結び付けられる様になる。			成績評価方法 提出作品、レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 感触の再発見 様々な粘土素材を楽しむ（小麦粉ねんど） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
2) 感触の再発見 様々な粘土素材を楽しむ（油ねんど・紙ねんど） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
3) 感触の再発見 粘土粉末をこねる 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
4) 粘土成型の用具説明および技法 様々な技法（たたら作り、ひも作り、くり抜き） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
5) 陶芸制作 成型 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
6) 陶芸制作 素焼き・釉薬掛け 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（30分）	個人ワーク
7) 陶芸制作 本焼き、陶芸まとめレポート 【予習・復習】準備物を揃える。レポート作成。（120分）	
8) 版画の種類と作成 さまざまな版画、版あそび（スタンピングの応用） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
9) 紙版画の制作 版づくり 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
10) 紙版画の制作 刷り 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
11) サインの入れ方 紙版画の応用 素材の工夫（布、糸、など） 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（60分）	
12) 紙版画の応用 版づくり 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
13) 紙版画の応用 刷り 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
14) スチレン版画技法と制作 刷り 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（120分）	個人ワーク
15) 版画作品提出、まとめ、試験について 【予習・復習】試験に向けて復習（5時間）	
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林）	子どもの造形 ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

制作物は期末にまとめて評価をし返却

備考

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	子どもの体育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	弘中 陽子、富田 輝美	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択 保育士資格 必修	

授業概要

幼児期の運動は、一人ひとりの幼児の興味や生活経験に応じた遊びの中で、幼児自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感することが大切であることから、幼児が自発的に体を動かして遊ぶ機会を十分に保障することが重要である。さらに、幼児が楽しく体を動かして遊んでいる中で、多様な動きを身に付けていくことができる
 本授業では、基本的な動きをキーワードにした様々な運動遊びの体験を通して、多様な動きの獲得に結び付く遊びの展開方法を理解することを目的に学習を進める。

到達目標

- ・何事にも積極的に取り組み、自ら進んで楽しく体を動かすことができる。
- ・運動遊びの楽しさを理解し、遊びの楽しさを自ら広げることができる。
- ・幼児の体操の実践を通して、子どもの前に立つ保育者としての姿勢、表情や動き等の重要性を理解できる。

成績評価方法

- ・定期試験（実技・幼児の体操）
- ・授業内レポート（到達度チェック）
- ・授業態度（服装、身だしなみ等を含む）及び授業参加度
- ・グループ活動の取り組み

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート							15	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション（授業計画等ガイダンス）/ 集合・整列・集団行動（弘中） 【予習】授業全体の「めあて（目標）」を記入する（15分） 【復習】並ぶ、集合することの意味を理解する（30分）	
2)	体を動かすこととは / 日常生活の中の動き・遊びの中の動き（弘中） 【予習】テキスト13頁-1を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
3)	体を移動する動き「歩く・走る」（弘中） 【予習】次回の「授業めあて」を記入する（15分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
4)	体を移動する動き「跳ぶ・這う」（弘中） 【予習】テキスト13頁-2を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
5)	体のバランスをとる動き「寝ころぶ・起きる・回る・転がる」（弘中） 【予習】テキスト13頁-3を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
6)	用具などを操作する動き「持つ・運ぶ・積む」（弘中） 【予習】テキスト13頁-4を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
7)	用具などを操作する動き「渡る・ぶら下がる・押す・引く」（弘中） 【予習】テキスト13頁-5熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
8)	創作運動遊び / 基本的な動きを用いた運動遊びをグループで実践する（弘中） 【予習】基本的な動きを用いた運動遊びを考えてくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
9)	体操の実践（ラジオ体操他） / グループに分かれ練習（富田・弘中） 【予習】ラジオ体操を正しくできるよう練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえり・本日の到達度を記入する（15分）	グループ活動
10)	幼児の体操 幼児向き体操と乳児向き体操を選択、決定（富田・弘中） 【予習】子どもの体操を調べてくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
11)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】選択した体操を練習してくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
12)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】選択した体操を練習してくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
13)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】グループごとに体操の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
14)	幼児の体操 / グループごとに体操の実践（富田・弘中） 【予習】グループごとに体操の練習をする（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
15)	15) 幼児の体操 / グループごとに体操の実践・授業のまとめ（富田・弘中） 【復習】授業全体のふりかえりシートを記入する（15分）	
授業外学習		
授業計画内容を照らし合わせながら、テキストを受講までに熟読しておいてください。 授業の空き時間等を活用し、グループごとに体操の練習を進めていきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「＜改訂＞保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する		子どもの体育 ～ 保育指導法（健康）

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返却する

備考

科目名	子どもの体育						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	弘中 陽子、富田 輝美		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択 保育士資格 必修			
授業概要 子どもの体育 の内容を踏まえた上で、幼児期の基本的な動きのひとつ、「用具などを操作する動き（操作系）」を取り上げ、ボール、縄、フープ、マット等を使った運動遊びの実践を行う。特に、保育者としての運動遊びの展開方法、及び幼児の年齢や発達段階に応じた援助方法を理解し、修得する。 また、幼児期における運動能力の中で著しく発達する調整力も踏まえて、リズムや音楽に合わせ、しなやかに身体を動かすことができるとともに、保育者としての表現力を修得する。							
到達目標 ・自分のからだをしなやかに動かす楽しさを感じる。 ・マット運動（前転・後転）、跳び箱（5、7段）、縄跳び（8種目）のそれぞれのコツと練習方法を理解し、前向きに取り組む。また、仲間へのサポートや励ましを積極的に行なうことができる。 ・子どもの発達段階に応じたボール、縄、フープ、マット等を使った運動遊びの特徴と展開方法を理解する。			成績評価方法 ・小テスト（実技） （身体表現の基本的な動き・ダンス、マット運動） ・跳び箱・縄跳び） ・課題（到達度チェック） ・授業態度及び授業参加度（服装、身だしなみ等を含む） ・グループ活動の取り組み				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業計画等説明） / マットを使った運動遊び（弘中） 【予習】テキスト「マットで遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
2) 跳び箱を使った運動遊び / 前回の復習・跳び箱（5段・7段）の練習（弘中） 【予習】テキスト「跳び箱で遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
3) 縄を使った運動遊び / 前回の復習・短縄跳び（8種目）の練習（弘中） 【予習】テキスト「なわで遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
4) マット運動・跳び箱・縄跳び / グループ練習（弘中） 【予習】得意でない種目の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
5) マット運動・跳び箱・縄跳び / グループ練習（弘中） 【予習】得意でない種目の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
6) マット運動・跳び箱・縄跳びのまとめ（小テスト）（弘中） 【予習】小テスト種目を練習する（30分） 【復習】次回のテストに向けて練習する（30分）	
7) マット運動・跳び箱・縄跳びのまとめ（小テスト）（弘中） 【予習】小テスト種目を練習する（30分） 【復習】テキストのマット遊び・縄遊び・跳び箱遊びを熟読する（30分）	
8) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】テキスト「表現的な遊び」を熟読する（15分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
9) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
10) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
11) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
12) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
13) 身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
14) 身体表現・ダンス（まとめ・小テスト）（富田・弘中） 【予習】すべてのステップ（ポイント）とダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
15) 紙・ダンボール・袋を使った運動遊びの実際 / 授業のまとめ（弘中） 授業のまとめ・授業評価アンケート	
授業外学習	
授業後、参照するテキストを熟読し、授業内容のふりかえりを行って下さい。 グループごとに、空きの時間を活用して練習を行いましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「＜改訂＞保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する	子どもの体育 ・ ・ ・ 保育指導法（健康） レクリエーション演習 ・

課題に対するフィードバック

授業のめあて、及び到達度チェックシートはコメントを書き、翌週の授業にて返却する

備考

科目名	生活						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	河村 靖彦		関連する資格	幼稚園教諭二種免許			
授業概要 子どもの主体的な学びや育ちは、子どもの生活の場である家庭や幼稚園だけでなく地域社会における身近な人や自然などのかかわりを体験していく中で、主体的に学び、自ら育っていく。授業では、小学校での実務経験をもとに、いかに子どもたちが身近な生活に関する見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育てていくかについて授業を行う。併せて、幼稚園や保育園等と小学校の連携について考える。							
到達目標 生活の場である家庭・園(学校)・地域社会における人や自然とのかかわりを理解し、気付き自ら考え、実践活動に結び付けられるよう工夫する。			成績評価方法 定期試験 60% レポート 10% 授業態度・授業参加 10% グループワーク 10% 実習(フィールドワーク) 10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 予習：幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領生活編において、幼小連携に関わる内容についてチェックしてくる。(30分)	
2) 幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領生活編について 復習：幼稚園及び小学校における幼小連携についてまとめる。(15分) 予習：学校、家庭、地域と生活の内容を読んでくる。(10分)	
3) 学校、家庭、地域と生活 復習：各内容のポイントをまとめる。(15分) 予習：宇部フロンティア大学周辺の草花や生き物について調べてくる。(15分)	
4) 自然と生活(自然観察) 復習：大学周辺にあった草花や生き物について地図上にまとめる。(15分) 予習：栽培したい夏野菜をグループで決めてくる。(10分)	フィールドワーク及びグループワーク
5) 植物の栽培 復習：夏野菜の栽培計画を各グループで作成し、役割分担を決めてくる。(15分) 予習：夏野菜の栽培に必要な物を準備する。(15分)	グループワーク
6) 植物の栽培 復習：栽培記録を作成する。(15分) 予習：大学周辺の公共物や公共施設について調べてくる。(15分)	グループワーク
7) 公共物や公共施設の利用 復習：公共物や公共施設の違いについてまとめる。(15分) 予習：大学周辺の地図作成に必要な資料を集めてくる。(15分)	グループワーク
8) 公共物や公共施設の利用 復習：公共物等を利用するにあたって、気を付けることをまとめる。(15分) 予習：竹を使った遊びについて、調べてくる。(15分)	フィールドワーク
9) 自然や物を使った遊び 復習：自然や物を使ったおもちゃ作りの計画表から準備物を確認する。(15分) 予習：作ったおもちゃでどのように遊ぶか工夫する。(15分)	グループワーク
10) 自然や物を使った遊び 復習：自然や物を使ったおもちゃで遊んだことを振り返る。(10分) 予習：幼稚園教育要領等で幼小連携について書いてあるところを調べる。(15分)	グループワーク
11) 幼小連携のあり方 復習：幼小の連携には、どんなものがあったかまとめてくる。(15分) 予習：スタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムについて調べる。(15分)	ディスカッション
12) 幼小連携のまとめ 復習：幼小連携のまとめと課題についてまとめる。(15分) 予習：自分の成長記作成に必要な資料を準備してくる。(15分)	
13) 自分の成長 予習：自分の成長記のプロットを考えてくる。(15分)	
14) 自分の成長 復習：自分の成長記を振り返り、よさや課題についてまとめてくる。(15分)	
15) まとめ 復習：生活の授業を通して、学んだことや今後の実習に活かしていきたいことをまとめてくる。(15分)	
授業外学習	
授業中に提示したレポートの課題を滞りなく実施してくること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配布する。 授業終了後、毎回、授業を振り返り、気付きや学びの記録をする。 参考書：幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領解説（生活編）	保育内容研究

課題に対するフィードバック

活動カード等を提出さえ、翌週にコメントを付けて返す。

備考

携帯電話や飲食物等、授業に必要なものはカバン等に入れ、机の上に置かないこと。

科目名	子どもとことば			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	栗山 多恵子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択	

授業概要

子どもがことばの獲得をしていく成長段階に応じて、絵本をとおしてことばの重要性を考える。

到達目標

ナンバリング(J1109a)
長く読み継がれてきた絵本を読み合い知ることにより、
学生自身の選書の力を養う。

成績評価方法

全授業の中で紹介した絵本の中から1冊を選択する。
そして、その理由を述べる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							70
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ことばの誕生以前の周囲の人たちとの関わりの重要性 【予習】現在までに、心に残っている絵本 1冊を選び、その理由を述べる。（60分）	
2) ことばの獲得 わらべうたを唄う 【予習・復習】月齢別に知識として言葉の獲得方法を知っておく（60分）	
3) 生活の中で獲得していくことばを紡ぎあわせていく環境作り わらべうたを唄う 【予習・復習】絵本が身近に感じられるように工夫していく。（60分）	
4) ことばのもつ音のリズム 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
5) 視覚をとおして発生してくることばの表現 【予習・復習】絵と言葉のバランスを確認する。（60分）	
6) 絵とことばで原体験する絵本の世界 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
7) 絵本の質について 【復習】同じタイトルの絵本を読み比べてみる。（60分）	個人ワーク
8) ことばのよるこびを共有する絵本の世界 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
9) 林明子の世界 【予習】グループワークの準備。（60分）	グループワーク
10) 林明子の世界 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	個人ワーク
11) 昔ばなしの絵本 【予習】グループワークの準備。（60分）	グループワーク
12) 昔ばなしの絵本 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	個人ワーク
13) 核となる絵本の紹介のまとめ子どもにかかわる大人の選書 【予習】プレゼンテーションの準備。（60分）	プレゼンテーション
14) 学生による絵本の選書とプレゼンテーション 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	プレゼンテーション
15) 学生による絵本の選書とプレゼンテーション 【予習・復習】各自が選書した絵本を読み込む。（60分）	プレゼンテーション
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配布します。 <参考文献>・子どもとことば（岡本夏木著／岩波新書） ・ことばと発達（岡本夏木／岩波新書） ・えほんのせかいこどものせかい（松岡亨子／日本エディターズスクール出版部） ・「わらべうた」で子育て（福音館書店）	保育指導法（言葉）

課題に対するフィードバック

読み聞かせの実践の際に、読み方、絵本の持ち方、発声等の指導をする。

備考

絵本を読み聞きする際の内面的姿勢をみる。
【オフィスアワー】授業の前後で対応します

科目名	子どもの音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	久光 明美	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

子どもの音楽 ・ を基礎として、音楽の技術や知識、表現方法をより深く学ぶことを目的とする。
 子どもの音楽 ・ で習得した技術、知識を基に、簡易伴奏法、コードによる伴奏法を学ぶ。実習に向けて音楽を通じた表現活動の実践力を身につける。より幅広いジャンルの子どもの歌を毎回、歌う。

到達目標

J3210b

1. 弾き歌いの技術を身に付け、レパートリー曲数を増やす。
2. 曲想に合わせて表情豊かにピアノを演奏し、歌唱することができる。
3. 保育現場でピアノや歌唱を通して自己表現ができる。

成績評価方法

定期試験（実技）・授業態度・提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション【予習】「子どもの音楽」のシラバスを読んでおく。（30分程度）【復習】ピアノ、弾き歌い、歌の既習曲は実習で実践できるようにしておく。（30分程度）	個人ワーク
2) 生活の歌 【予習】実技課題曲を入念に練習する。・実習で実践できるように「生活の歌」を選曲し、調べておく。（30分程度）【復習】「生活の歌」をまとめ、実習で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
3) 生活の歌 【予習】実技課題曲を入念に練習する。・実習で実践できるように「生活の歌」を選曲し、調べておく。（30分程度）【復習】「生活の歌」をまとめ、実習で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
4) 行事の歌 【予習】実技課題曲を入念に練習する。・実習で実践できるように「行事の歌」を選曲し、調べておく。（30分程度）【復習】「行事の歌」をまとめ、実習で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
5) 春・夏の歌 【予習】実技課題曲を入念に練習する。・実習で実践できるように「春・夏の歌」を選曲し、調べておく。（30分程度）【復習】「春・夏の歌」をまとめ、実習で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
6) 春・夏の歌 【予習】実技課題曲を入念に練習する。・実習で実践できるように「春・夏の歌」を選曲し、調べておく。（30分程度）【復習】「春・夏の歌」をまとめ、実習で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
7) 音楽の素材や教材を使った音楽表現の模擬保育 【予習】音楽表現活動の指導案を立案しておく。（30分程度）【復習】模擬保育の振り返りをし、指摘されたところを改善しておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
8) 音楽の素材や教材を使った音楽表現の模擬保育 【予習】音楽表現活動の指導案を立案しておく。（30分程度）【復習】模擬保育の振り返りをし、指摘されたところを改善しておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
9) 保育現場における音楽表現活動を観察する。【予習】音楽表現活動の指導案を立案し、事前学習をする。（30分程度）【復習】音楽表現活動の振り返りをし、事後学習をする。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
10) 実習で実践した音楽表現活動の振り返り【予習】音楽表現活動の振り返りをし、反省、考察による事後学習をまとめておく。（30分程度）【復習】音楽表現活動の振り返り、反省、考察による事後学習をする。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
11) 伴奏付けの演習（ハ長調）【予習】ハ長調の子どものうたを選曲し、練習する。（30分程度）【復習】ハ長調の弾き歌いの課題練習と既習曲は実習で実践できるようにしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
12) 伴奏付けの演習（ト・二長調）【予習】ト・二長調の子どものうたを選曲し、練習する。（30分程度）【復習】ト・二長調の弾き歌いの課題練習と既習曲は実習で実践できるようにしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
13) 伴奏付けの演習（ヘ・変口長調）【予習】ヘ・変口長調の子どものうたを選曲し、練習する。（30分程度）【復習】ヘ・変長調の弾き歌いの課題練習と既習曲は実習で実践できるようにしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
14) 音楽表現を主な活動とした模擬保育 【予習】音楽表現の指導案を立案しておく。（30分程度）【復習】模擬保育の振り返りをし、指摘されたところを改善しておく。（30分程度）	グループワーク ディスカ ッション
15) 音楽表現を主な活動とした模擬保育 【予習】音楽表現の指導案を立案しておく。（30分程度）【復習】模擬保育の振り返りをし、指摘されたところを改善しておく。（30分程度）	グループワーク ディスカッション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「おんがくのしくみ」（教育芸術者） 「こどものうた 100」（チャイルド社） 「子どもの発達と音楽表現」（学文社） 適宜プリント配布	子どもの音楽、 保育指導法（表現）

課題に対するフィードバック

- ・立案した指導案を添削し、音楽表現の要点を助言する。
- ・ピアノ受講表に毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容を授業記録表に記入し、練習の振り返りを行い、課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念に練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの音楽						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	後期			
担当者名	久光 明美		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 楽典の知識や器楽・声楽の演奏を通して総合的な表現技術を高め、保育現場で通用する豊かな音楽表現実践力を身につける。これまでに学んできたリズム、音階、和音等の知識を応用して、音楽のアレンジ方法も学ぶ。さらに、子どもの発達段階に応じた音楽表現活動の展開方法や即興演奏の技術も習得する。							
到達目標 J4203b 1.既習のコードを用い、様々にアレンジした伴奏で弾き歌いができる。 2.表情豊かにピアノを演奏したり、歌唱することができる。 3.ピアノ演奏、歌唱、弾き歌い、合奏を通して自己表現ができる。 4.子どもの豊かな表現力を培うための音楽表現活動が実践できる。			成績評価方法 定期試験（実技）・授業態度・提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション【予習】「子どもの音楽」のシラバスを読んでおく。（30分程度）【復習】ピアノ、弾き歌い、歌の既習曲は保育現場で実践できるようにしておく。（30分程度）	個人ワーク
2) 和音と伴奏（主要三和音）【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストp62～p66を読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲は保育現場で実践できるようにしておく。その日の授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク
3) 和音と伴奏【予習】オリジナル伴奏を創りたい子どもの曲を選曲し、練習しておく（30分程度）【復習】実技課題曲は保育現場で実践できるようにしておく。その日の授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク
4) 和音と伴奏（いろいろな伴奏）【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストp66～p67を読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲は保育現場で実践できるようにしておく。その日の授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク
5) 音楽総合表現への試み（プログラム作成・演奏形態・選曲など）【予習】音楽表現（つくる）活動を考えておく。（30分程度）【復習】グループワークでの振り返りをまとめておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
6) 音楽総合表現への試み（歌、楽器、演技の個人、グループ練習）【予習】製作、歌、楽器演奏、演技など個人、グループでの準備や練習をしておく。（30分程度）【復習】グループワークでの振り返りをまとめておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
7) 音楽総合表現への試み（歌、楽器、演技の個人、グループ練習）【予習】製作、歌、楽器演奏、演技など個人、グループでの準備や練習をしておく。（30分程度）【復習】グループワークでの振り返りをまとめておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
8) 音楽総合表現への試み（リハーサル）【予習】製作、歌、楽器演奏、演技など個人、グループでの準備や練習をしておく。（30分程度）【復習】グループワークでの振り返りをまとめておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク ディスカッション
9) 子どものための音楽会（本番）【予習】製作、歌、楽器演奏、演技など個人、グループでの準備や練習をしておく。（30分程度）【復習】グループワークでの振り返りをまとめておく。（30分程度）	グループワーク ディスカッション
10) 子どものための音楽会（振り返り）【予習】音楽会の振り返りをし、まとめておく。（30分程度）【復習】保育現場での実践として、達成できた点はより発展させ、反省、指摘された点は改善しておく。（30分程度）	グループワーク ディスカッション
11) コードを使用した弾き歌いの実践【予習】コードを使用した弾き歌いを現場で実践できるように子どもの歌を選曲し、練習しておく。（30分程度）【復習】実技課題曲は保育現場で実践できるように練習しておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
12) コードを使用した弾き歌いの実践【予習】コードを使用した弾き歌いを現場で実践できるように子どもの歌を選曲し、練習しておく。（30分程度）【復習】実技課題曲は保育現場で実践できるように練習しておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
13) 様々な子どものうた【予習】保育現場で実践できるように子どものうたを選曲し、弾き歌いの練習をしておく。（30分程度）【復習】選曲した曲をまとめ、保育現場で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
14) 様々な子どものうた【予習】保育現場で実践できるように選曲した子どものうたの弾き歌いを練習しておく。（30分程度）【復習】選曲した曲をまとめ、保育現場で実践できるように練習をしておく。（30分程度）	個人ワーク グループワーク 振り返り
15) 実技発表【予習】選曲した子どものうたの弾き歌いを練習しておく。（30分程度）【復習】保育現場で実践できるように振り返りをし、課題を明確にする。（30分程度）	個人ワーク グループワーク 振り返り
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「おんがくのしくみ」（教育芸術者） 「こどものうた 100」（チャイルド社） 「子どもの発達と音楽表現」（学文社） 適宜プリント配布	子どもの音楽 ～ 、保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

- ・音楽表現の要点を助言する。
- ・ピアノ受講表に毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容を授業記録表に記入し、練習の振り返りを行い、課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念に練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの造形			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

造形表現 ・ で習得して来たことを基にその幅を広げ、内容をふかめていく。
 身近にある物を利用して造形表現に必要な体験を蓄積し、創造する喜びを会得し、技術や知識を実践に役立てていくために、異なる表現手段との共同表現に取り組む。
 本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。

到達目標

J3211b
 ・身近なものを扱った作品制作を通して、道具・材料の使い方を知り、作品で遊びにつなげることができるようになる。
 ・共同制作を通して他者の表現を認められるようになる。
 ・五感を通じた感覚が制作物と結び付けられるようになる。

成績評価方法

制作物、レポート、演習の振り返りシートによる総合評価。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							25	
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション							30	
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 様々な表現あそび 造形あそびの可能性 -1 新聞テント、構造を知る、棒作り 【予習・復習】到達していない者は続きを完成させる。（30分）	グループワーク
2) 造形あそびの可能性 -2 新聞テント、ユニットを作る 【予習・復習】到達していない者は続きを完成させる。（30分）	グループワーク
3) 造形あそびの可能性 -3 新聞テント、ホ口を張る 【予習・復習】到達していない者は続きを完成させる。（30分）	グループワーク 小レポート
4) 造形あそびの可能性 絵筆の特徴（水とともだち、細い線、太い線、にじみ、かすれ） 【予習・復習】教科書に目を通す。（30分）	グループワーク
5) 造形あそびの可能性 トイレットペーパーを使って 【予習・復習】教科書と照らし合わせる。（30分）	グループワーク
6) 造形あそびの可能性 段ボールを使って 【予習・復習】教科書と照らし合わせる。（30分）	グループワーク 小レポート
7) 造形あそびを考える ガイダンス、材料を考える 【予習・復習】あそびの構想を考える。（60分）	グループワーク
8) 造形あそびを考える ストーリーを考える（何をあるいはどんな体験するか、ねらいは何か、どのような効果が期待されるか、など）【予習・復習】構想を固める。（60分）	グループワーク
9) 造形あそびを考える 保育現場における造形表現活動を観察する。レポート発表、討議 【予習・復習】発表の準備。（60分）	グループワーク
10) 造形あそびを考える 制作 【予習・復習】製作の続きを進める。（60分）	グループワーク
11) 造形あそびを考える 制作 【予習・復習】製作の続きを進める。（60分）	グループワーク
12) 造形あそびを考える 報告、グループ学習、討議 【予習・復習】製作の続きを進める。（60分）	グループワーク
13) 造形あそびを考える 発表の準備 【予習・復習】報告に向けて準備。（60分）	グループワーク 小レポート
14) 造形表現活動をねらいとした造形表現の発表 / 他の表現領域との合同発表・保育表現の他の領域の表現を見る。・作品とパワーポイント等で模擬保育を想定した「造形あそび」を発表。【予習・復習】報告に向けて準備。（180分）	グループワーク
15) 振り返り 子どもとの関わりを想定して 【予習・復習】レポート提出。（120分）	レポート
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林）	子どもの造形 ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返す。

備考

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	子どもの造形						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	後期			
担当者名	原井 輝明		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 造形表現 で習得して来たことを基にその幅を広げ、実践的に内容をふかめていく。身近にある物を利用して造形表現に必要な体験を蓄積し、創造する喜びを会得し、技術や知識を実践に役立てていく。 本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。							
到達目標 J4204b ・異なる表現手段との共同表現に効果的な、造形表現の可能性を探りながら、自由な発想の基、様々な表現方法を理解し、造形表現を体験する。 ・共同制作を通して他者の表現を認められるようになる。 ・五感を通じた感覚が制作物と結び付けられるようになる。			成績評価方法 提出された作品、レポート、演習の振り返りシートによる総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							20
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 造形表現活動 ダイナミックな造形あそびを考える 【予習・復習】構想をレポートにまとめる。1時間	グループワーク 小レポート
2) 2) 造形表現活動 素材研究、造形物の役割分担、材料探し 【予習・復習】方法の調査。1時間	グループワーク
3) 3) 造形表現活動 制作 【予習・復習】材料調達。30分	グループワーク
4) 4) 造形表現活動 制作 【予習・復習】発表に向けて。30分	グループワーク
5) 5) 造形表現活動 制作 【予習・復習】発表に向けて。30分	グループワーク
6) 6) 造形表現活動 制作 【予習・復習】発表に向けて。1時間	グループワーク
7) 7) 造形表現活動 発表 【予習・復習】発表に向けて。3時間	グループワーク レポート
8) 8) 乳児の造形あそび 作品構想 【予習・復習】乳児の発達を調べる。30分	グループワーク レポート
9) 9) 乳児の造形あそび 制作 【予習・復習】材料の準備。30分	グループワーク
10) 10) 乳児の造形あそび 制作 【予習・復習】発表に向けて。1時間	グループワーク
11) 11) 乳児の造形あそび 発表 【予習・復習】発表に向けて準備。3時間	乳児を対象とした実践 レポート
12) 12) 焼き杉木工 木取り図、展開図を作る 【予習・復習】作品の構想。30分	個人ワーク
13) 13) 焼き杉木工 糸ノコギリで切る 【予習・復習】提出に向けて。30分	個人ワーク
14) 14) 焼き杉木工 ガスバーナーで焼く、仕上げのサンディングまで 【予習・復習】提出作品を整える。1時間	個人ワーク 作品提出
15) 15) 見えないものとの対話 まとめ 【予習・復習】レポート作成。1時間	レポート
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林）	子どもの造形 ・ ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返す。

備考

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	子どもの体育						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 心身の発達が著しい乳幼児期の子どもたちにとって、楽しく、心地よいからだを使った遊びは豊かな心身の発達を促す上でも、大切な経験や活動のひとつである。その中でも、本授業においては、子どもの体育 と子どもの体育 の内容を踏まえた上で、戸外遊びと身体表現活動を取りあげ、保育者としての魅力的なからだを使った遊びの展開方法を実践的に修得する。戸外遊びでは、実際に屋外に出向き、屋外の解放感と伸び伸びと思いきり活動できる心地よさを感じながら、戸外遊びの立案から実践までの一連の活動プロセスを実践する。 また、身体表現活動は、保育の中における子どもたちの気持ちと体の動きの表れの理解をもとに、心とからだほぐしの実践を通して、からだの自由な表現やリズムカルな身体活動をグループで創作、発表を行う。							
到達目標 ・ 戸外遊びの楽しさを感じ、保育における戸外遊びの重要性、必要性を理解できる。 ・ 子どもたち自ら進んで戸外で遊ぶための魅力的な戸外環境を考えることができる。 ・ 子どもの身体表現を理解し、自由な表現やリズムカルな身体活動をもとにした表現活動ができる。 ・ グループ活動において、積極的に仲間と意見を交わし、よりよい活動計画が実践できるよう主体的に取り組むことができる。			成績評価方法 ・ 授業内レポート（ふりかえりシート） ・ 授業外レポート（指導案） ・ 授業態度・参加度（服装、身だしなみ等を含む） ・ 演習（戸外遊び、身体表現活動） 以上を総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク	○						30
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス） 【予習】実習で行われていた戸外遊びを挙げる（30分） 【復習】シラバス内容、授業計画を確認する（30分）	
2) 「進んで戸外で遊ぶ」とは / 幼稚園教育要領・保育所保育指針を読み解く 【予習】教育要領・指針等の領域「健康」"進んで戸外で遊ぶ"を熟読する（30分） 【復習】「進んで戸外で遊ぶ」を理解する（30分）	
3) 戸外遊びの立案 【予習】戸外遊びを調べる（30分） 【復習】戸外遊びの指導案を立案する（30分）	グループ活動
4) 戸外遊びの実践（ふりかえりも含む） 【予習】グループで事前の打ち合わせを行い、準備を整える（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
5) 戸外遊びの実践（ふりかえりも含む） 【予習】グループで事前の打ち合わせを行い、準備を整える（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
6) 戸外遊びの実践（ふりかえりも含む） 【予習】グループで事前の打ち合わせを行い、準備を整える（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
7) 実践した戸外遊びをふりかえる 【予習】戸外遊びの実践をふりかえる（30分） 【復習】子どもにとって魅力的な戸外環境を考える（30分）	
8) 幼児期の子どものにおける身体表現を考える（教育実習のふりかえりをもとに） 【予習】実習における子どもの身体表現を挙げる（30分） 【復習】幼児期の子どもの身体表現を理解する（30分）	
9) 保育現場における身体表現あそびを観察する 【予習】子どもの身体表現の観察の視点を理解する（30分） 【復習】観察した内容をもとに、子どもの身体表現を理解する（30分）	グループ活動
10) 保育現場における身体表現あそびを観察する 【予習】子どもの身体表現の観察の視点を理解する（30分） 【復習】観察した内容をもとに、子どもの身体表現を理解する（30分）	グループ活動
11) 保育現場における身体表現あそびを考える 【予習】題材となる絵本を選び、持参する（30分） 【復習】決めた絵本から、体の動きをイメージする（30分）	グループ活動
12) 保育現場における身体表現活動を実践する 【予習】考えた体の動きを記録し、持参する（30分） 【復習】動き・表現方法を考える（30分）	グループ活動
13) 保育現場における身体表現活動を実践する 【予習】考えた表現方法を記録し、持参する（30分） 【復習】グループでよりよい身体表現ができるよう、練習する（30分）	グループ活動
14) 保育現場における身体表現活動を実践する（他の表現領域との合同発表） 【予習】実践するための準備を整える（30分） 【復習】コメントシートをもとに、発表内容をふりかえる（30分）	グループ活動
15) 身体表現活動発表のふりかえり・授業のまとめ 【復習】子どもの身体表現活動について考える（30分）	グループ活動
授業外学習	
さまざまな参考図書（テキストや保育雑誌等）等を活用し、できるだけ多くの遊びを理解しましょう。 授業の空き時間を活用し、グループメンバーと協力し、主体的に活動を進めてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：「＜改訂＞保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する 参考書：幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体育 ・子どもの体育 ・保育指導法（健康） ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習

課題に対するフィードバック

課題はコメントをつけて返却する

備考

保育者としての服装・身だしなみ等をしっかり整え、前向きな姿勢で積極的な態度で授業に取り組むことを望みます。

科目名	子どもの体育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

子どもの体育 ・子どもの体育 、及び子どもの体育 の内容を踏まえた上で、より専門的な運動遊びや身体運動に関する知識及び技能を学習し、保育者として幼児の多様な遊びの実践が出来る方法を修得する。
 また、幼児の運動能力測定等の実践を通して、幼児期に獲得すべき基礎的な動きについて理解を深めるとともに、保育の中で
 のからだを使った遊びの実践のあり方を理解する。

到達目標

- ・ 幼児の運動能力測定の方法、幼児への支援方法が理解できる。また、測定を通して幼児の発達段階における運動能力の違い等を理解できる。
- ・ 子どもが自ら進んで楽しくからだを動かすための環境構成、支援方法等を考え、実践できる。

成績評価方法

- ・ 授業内レポート（毎回のふりかえりシート）
- ・ 宿題、授業外レポート（学外活動）
- ・ 授業態度・授業参加度（服装、身だしなみ等を含む）
- ・ グループワーク

以上を総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							30
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス）	
2) 幼児期運動指針から幼児の体力を考える 【予習】幼児期運動指針について調べる（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
3) 幼児の運動能力測定の方法（幼児期運動指針参照） 【予習】幼児の運動能力測定について調べる（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
4) 幼児の運動能力測定の実際 【予習】測定方法や配慮点等を再度確認する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
5) 幼児の運動能力や体の動きについて考える（運動能力測定をふりかえる） 【予習】レポートを作成する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
6) 多様な動きを取り入れた運動遊びの実際 【予習】コーディネーショントレーニングについて調べる（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
7) 多様な動きを取り入れた運動遊びの実際 【予習】コーディネーショントレーニングについて調べる（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
8) 多様な動きを取り入れた運動遊びの実際 【予習】コーディネーショントレーニングについて再確認する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	
9) 乳幼児の親子を対象とした運動遊びを考える 【予習】乳幼児の親子ふれあい遊びを調べる（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
10) 乳幼児の親子を対象とした運動遊びを考える 【予習】乳幼児の親子ふれあい遊びを練習する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
11) 乳幼児の親子を対象とした運動遊びを考える 【予習】乳幼児の親子ふれあい遊びを練習する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
12) 乳幼児の親子を対象とした運動遊びを実践する 【予習】実践のための準備を整える（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
13) 実践活動のふりかえり 【予習】活動のふりかえりを記入する（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
14) 子ども自ら進んで楽しくからだを動かすためには 【予習】季節に応じたからだを動かす遊びを考える（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
15) 授業のまとめ 【復習】授業の学びをまとめる（30分）	
授業外学習	
<p>楽しくからだを動かす活動に積極的に取り組みましょう。 子どもの体力や運動能力に関するニュースや新聞記事等に目を向け、子どもの実態や現状を理解しましょう。また、グループ活動は、授業の空き時間を活用し、グループメンバーと協力し、主体的に活動を進めてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「＜改訂＞保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する 参考書：幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体育 ・子どもの体育 ・子どもの体育 ・保育指導法（健康） ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習

課題に対するフィードバック

課題等については、コメントを記入し、授業内にて返却する

備考

保育者としての服装・身だしなみ等をしっかり整え、前向きな姿勢で授業に取り組むことを望みます。

科目名	教育実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	1年	通年(前期)
担当者名	久光明美、河村明美、近藤靖彦、原井重村、鉄浩、輝明、伊藤弘中、一統陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。
- ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。
- ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。

到達目標

J1401ac

幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。

大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。

幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。

成績評価方法

実習評価表

実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	1年	通年(後期)
担当者名	久光明美、河村明美、近藤鉄浩、伊藤一統、河村靖彦、原井輝明、弘中陽子、重村美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。
- ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。
- ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。

到達目標

J1401ac

幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。

大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。

幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。

成績評価方法

実習評価表

実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	2年	通年(前期)
担当者名	久光明美、河村明美、近藤靖彦、原井重村、鉄浩、輝明、伊藤弘中、一統陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。
- ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。
- ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。

到達目標

J1401ac

幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。

大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。

幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。

成績評価方法

実習評価表

実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート		○					10	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							90	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	<p>教育実習指導</p>

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	2年	通年(後期)
担当者名	久光明美、河村明美、近藤靖彦、原井重村、鉄浩、輝明、伊藤弘中、一統陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。
- ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。
- ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。

到達目標

J1401ac

幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。

大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。

幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。

成績評価方法

実習評価表

実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	<p>教育実習指導</p>

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	通年(前期)
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、重村 美帆、河村 靖彦	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 限られた期間の中で実りのある望ましい教育実習ができるように幼児教育への理解を深め、教育実習についての総論学習を行う。
- ・ 教育実習の意義や目的、内容、方法を学び、実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術・技法について、演習を中心とした実践的な指導法を修得する。
- ・ 各担当は、教育現場それぞれの実務経験を活かし、教育実習に必要な基礎的な知識や技能を修得するための授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1402a)

学習した理論を、実習による保育現場で実践し具体化していくための意識を高める。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。

実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通し、幼児教育への理解を深める。

成績評価方法

授業内レポート
授業外レポート
グループワーク
模擬保育演習

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート	○		○				30	
宿題、授業外レポート	○	○					30	
授業態度・授業参加度			○				10	
プレゼンテーション								
グループワーク	○		○	○			10	
演習	○	○	○	○	○		20	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 全実習オリエンテーション 観察実習から本実習までの流れ 実習書類作成について 【予習・復習】実習のしおりによる実習全体計画の把握（90分）	
2) 教育実習の意義と目的について 保育専門用語の基礎 教育実習園希望先調査等 【予習・復習】保育専門用語の確認（90分）	授業外レポート
3) 付属幼稚園実習について （特別講座） 実習に必要な心構え 【予習・復習】付属幼稚園実習に向けて、レポート作成（90分）	授業外レポート
4) 付属幼稚園実習に向けて 実習計画作成 日誌・部分実習指導案の書き方 【予習・復習】実習計画作成 指導案作成に向けての準備（120分）	授業外レポート グループワーク
5) 付属幼稚園見学実習 記録の取り方・・・環境の構成 援助のあり方、幼児のかかわりなど 【予習・復習】付属幼稚園観察記録及び分析（120分）	授業外レポート
6) 指導案に基づく模擬保育・グループ演習 ねらいと教材研究 保育者の援助のあり方 【予習・復習】指導案作成及び教材研究（120分）	模擬保育演習 グループワーク
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入するため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 幼稚園教育指導資料 ～（文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前準備については、作成した実習ファイルを確認し、疑問などへの対応を行う。
- ・提出された課題にはコメントを入れて返却し、実習に対する意欲を高める。

備考

科目名	教育実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	通年(後期)
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、重村 美帆、河村 靖彦	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 5日間の付属幼稚園での教育実習について振り返り、幼児教育の意義や目的を確認する。
- ・ 日誌などの提出物から実習に対しての自己評価を行い、実践に関わる知識や技能をより一層高める。
- ・ 2年生との実習報告会により、情報交換などを通して教育実習への期待を高める。
- ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談などで実習を振り返ることを通して、幼児教育の重要性を認識するよう授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1402a)

学習した理論を実習による保育現場で実践し、具体化していくための意識を高める。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通して幼児教育への理解を深める。

成績評価方法

授業内レポート
授業外レポート
グループワーク
模擬保育演習

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○				30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○	○	20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 付属幼稚園実習事後指導 実習振り返りと課題の明確化 【予習・復習】実習振り返りレポート作成（90分）	授業外レポート 個人面談
2) 1・2年生合同授業 実習合同報告会 事後指導 【予習・復習】実習報告会資料作成（120分）	授業外レポート グループワーク
3) 教育実習の心得について 1年次の実習振り返り 自己課題評価表作成 【予習・復習】自己評価（60分）	授業外レポート
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入していくため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 保育所保育指針（厚生労働省） 認定こども園教育・保育要領 （内閣府・文部科学省・厚生労働省） 幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前事後には、実習ファイルをもとに面談を行い、疑問などへの対応を行う。
- ・提出された課題にはコメントを入れ返却し、実習に対する意欲を高める。

備考

科目名	教育実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(前期)
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、重村 美帆、河村 靖彦	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 充実した教育実習ができるように、幼児教育への理解を深め、教育実習への総論学習を行う。
- ・ 教育実習への意義や目的、内容、方法を再確認し、実習園の実態を踏まえながら実習計画を立案する。
- ・ 実習に必要な技術・技法などの実践的な指導法を、演習を中心として修得する。
- ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い日誌などの提出物から実習を振り返り、教育実習に必要な基礎知識や機能を高め、保育者としての資質向上をめざすための授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1402a)

学習した理論を実習による保育現場で実践し、具体化していくための意識を高める。
 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、記述などの基礎を修得する。
 実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通して幼稚園教育への理解を深める。

成績評価方法

実習評価表
 実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 本実習に向けて 諸手続きの理解 実習計画表作成 【予習・復習】実習計画表作成（90分）	授業内レポート グループワーク
2) 2) 教育実習日誌・部分実習指導案の作成 環境の構成、幼児理解、保育者の役割について 【予習・復習】指導案作成に向けての教材研究（120分）	授業内レポート
3) 3) 前期実習の振り返りと本実習に向けて 設定保育中心の活動 指導案作成 【予習・復習】指導案作成に向けての教材研究（120分）	授業内レポート
4) 4) 設定保育の指導案に基づく保育とグループ演習 幼児観・教材観・指導観の理解 環境の構成と教材研究 【予習・復習】模擬保育の振り返りレポート作成 教材研究（120分）	模擬保育演習（互見保育） グループワーク
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(後期)
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、重村 美帆、河村 靖彦	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 充実した教育本実習ができるように、これまでの授業を振り返り、実習への総論学習を行う。
- ・ 教育実習の意義や目的、内容、方法を再確認し、実習園の実態を踏まえながら実習計画を立案する。
- ・ 実習に必要な技術・技法などの実践的な指導法や保育者のあり方を確認する。
- ・ 1年生との実習報告会で2年間の学びを自覚し、保育現場への期待を高める。
- ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、教育実習に必要な基礎的知識や技能を高め、保育者としての資質向上をめざすための授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1402a)

学習した理論を、実習による保育現場で実践し具体化していくための意識を高める。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。

実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通し、幼稚園教育への理解を深める。

成績評価方法

授業内レポート
授業外レポート
グループワーク
模擬保育演習

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 教育実習事後指導 本実習振り返りと改善に向けて 【予習・復習】実習振り返りレポート作成（90分）	個人面談
2) 実習報告会 1・2年生合同授業 幼児教育の理解と保育者の役割 【予習・復習】実習報告会レポート作成（90分）	授業外レポート グループワーク
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入していくため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 保育所保育指針（厚生労働省） 認定こども園教育・保育要領 （内閣府・文部科学省・厚生労働省） 幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前事後には実習ファイルをもとに面談を行い、疑問などの対応を行う。
- ・提出された課題には、コメントを入れて返却し実習に対する意欲を高める。

備考

科目名	保育所実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	2	1年	通年(前期)
担当者名	重村 美帆、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、久光 明美	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。保育所の子どもとのふれあいを通して、保育所のあり方や保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。

到達目標

J1403bc

- 1、保育所の 1 日の生活リズムを知る。
- 2、保育所保育士の役割について理解する。
- 3、子どもの発達について理解する。

成績評価方法

実習評価表 90%
 実習日誌 5%
 その他実習に関する提出物 5%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		5
宿題、授業外レポート	○	○		○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、保育士の活動内容を観察する。 2) 子どもの遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。 3) 保育士と子どもの関わり方などを観察する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 事前学習した保育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。 5) 6) 7) 保育士や子どもの姿を観察し、保育に補助的に参加する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 10) 子どもたちの実態を踏まえて、絵本の読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、保育内容総論 保育所実習指導、保育所実習、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

科目名	保育所実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	1年	通年(後期)			
担当者名	重村美帆、河村靖彦、久光	近藤鉄浩、伊藤輝明、弘中陽子	一統	関連する資格	保育士資格 必修		
授業概要 本実習は、対面で実施する。保育所の子どもとのふれあいを通して、保育所のあり方や保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 J1403bc 1、保育所の1日の生活リズムを知る。 2、保育所保育士の役割について理解する。 3、子どもの発達について理解する。				成績評価方法 実習評価表 90% 実習日誌 5% その他実習に関する提出物 5% による総合的評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		5
宿題、授業外レポート	○	○		○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、保育士の活動内容を観察する。 2) 子どもの遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。 3) 保育士と子どもの関わり方などを観察する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 事前学習した保育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。 5) 6) 7) 保育士や子どもの姿を観察し、保育に補助的に参加する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 10) 子どもたちの実態を踏まえて、絵本の読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、保育内容総論 保育所実習指導、保育所実習、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

科目名	保育所実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2年	通年(前期)			
担当者名	重村美帆、河村靖彦、久光	近藤鉄浩、伊藤輝明、明美	一統陽子	関連する資格	保育士資格 必修		
授業概要 本実習は、対面で実施する。保育所の子どもとのふれあいを通して、保育所のあり方や保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 J1403bc 1、保育所の1日の生活リズムを知る。 2、保育所保育士の役割について理解する。 3、子どもの発達について理解する。				成績評価方法 実習評価表 90% 実習日誌 5% その他実習に関する提出物 5% による総合的評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		5
宿題、授業外レポート	○	○		○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、保育士の活動内容を観察する。 2) 子どもの遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。 3) 保育士と子どもの関わり方などを観察する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 事前学習した保育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。 5) 6) 7) 保育士や子どもの姿を観察し、保育に補助的に参加する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 10) 子どもたちの実態を踏まえて、絵本の読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、 保育所実習指導、保育所実習、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

科目名	保育所実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2年	通年(後期)			
担当者名	重村美帆、河村靖彦、久光	近藤鉄浩、原井輝明、明美	伊藤一統、弘中陽子	関連する資格	保育士資格 必修		
授業概要 本実習は、対面で実施する。保育所の子どもとのふれあいを通して、保育所のあり方や保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 J1403bc 1、保育所の1日の生活リズムを知る。 2、保育所保育士の役割について理解する。 3、子どもの発達について理解する。				成績評価方法 実習評価表 90% 実習日誌 5% その他実習に関する提出物 5% による総合的評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		5
宿題、授業外レポート	○	○		○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、保育士の活動内容を観察する。 2) 子どもの遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。 3) 保育士と子どもの関わり方などを観察する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 事前学習した保育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。 5) 6) 7) 保育士や子どもの姿を観察し、保育に補助的に参加する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 10) 子どもたちの実態を踏まえて、絵本の読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、 保育所実習指導、保育所実習、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	通年(前期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J1404b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育所実習とは 【予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所実習 について理解を深める（30 分）	授業外レポート
2) 保育所実習先希望調査等 【予習】自宅周辺の公立・私立保育所の所在を調べる（30 分） 【復習】実習希望園の保育方針等の情報を集める（30 分）	授業外レポート
3) 内諾書の取り方（実習先の決定） 【予習】実習のしおり「保育所実習 」を熟読する（30 分） 【復習】実習希望園への内諾の取り方についてグループワークを行う（30分）	グループワーク
4) 保育所実習書類の書き方 【予習】パソコンを用いた書類作成方法について事前学習を行う（30 分） 【復習】実習書類の作成を行う（30 分）	授業外レポート
5) 指導案の書き方「部分実習指導案とは」 【予習】保育所保育指針第 1 章 3 節を熟読する（30 分） 【復習】部分実習に関する指導案を立案する（60 分）	授業外レポート
6) 日誌の書き方「保育所における生活の捉え方」 【予習】保育所保育指針第 2 章 1 節・2 節・3 節を熟読する（30 分） 【復習】日誌に関する自分の考えをまとめる（30 分）	授業外レポート
7) 実習計画とは 【予習】実習のしおり「実習の内容」を熟読する（30分） 【復習】実習園での計画を立案する（30分）	授業外レポート
8) 指導案の作成「保育教材を用いた部分実習指導案の作成」 【予習】保育所保育指針第 1 章 3 節を熟読する（30 分） 【復習】指導案の添削箇所を再考する（60 分）	授業外レポート
9) グループ演習 「保育教材を用いた模擬保育演習」 【予習】立案した指導案内容の準備をする（30 分） 【復習】演習内容を振り返る（30 分）	模擬保育演習 グループワーク
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>・実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い方に慣れておきましょう。</p> <p>・また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習 、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	通年(後期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。甘麻乃は、福祉現場の実務経験をもとに保育所の福祉的役割について授業を行う。徳永良枝は、保育現場の実務経験をもとに実習計画の立案や記録に関する授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J1404 b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日誌の書き方「保育所における生活の捉え方」 【予習】保育所保育指針第 2 章 1 節・2 節・3 節を熟読する（30 分） 【復習】日誌に関する自分の考えをまとめる（30 分）	授業内レポート
2) 指導案の書き方「部分実習指導案とは」 【予習】保育所保育指針第 1 章 3 節を熟読する（30 分） 【復習】部分実習に関する指導案を立案する（60 分）	授業外レポート
3) 保育所実習報告会（1, 2 年生合同） 【予習】保育所保育指針第 2 章 1 節・2 節・3 節を熟読する（30 分） 【復習】報告内容について自分の考えをまとめる（30 分）	授業内レポート
4) 保育所実習書類確認、保菌検索等 【予習】パソコンを用いた書類作成方法について事前学習を行う（30 分） 【復習】実習書類の作成を行う（30 分）	授業外レポート
5) 実習に向けた心構え 【予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】指導案及び実習計画について再考する（30 分）	授業内レポート
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い方に慣れておきましょう。 ・また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れておきましょう。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(前期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J1404 b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育所実習 の振り返り 「保育所での子どもの生活とは」 【予習】実習内容を振り返る（30分） 【復習】グループ内容を振り返る（30分）	グループワーク 授業外レポート
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い方に慣れておきましょう。 ・また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れておきましょう。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習 、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(後期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J1404b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育所実習報告会（1, 2 年生合同） 【予習】保育所保育指針第 2 章 1 節・2 節・3 節を熟読する（30 分） 【復習】報告内容について自分の考えをまとめる（30 分）	演習 授業内レポート
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>・実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い方に慣れておきましょう。</p> <p>・また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2年	通年(前期)			
担当者名	重村 美帆、河村 靖彦、久光	近藤 鉄浩、伊藤 一統、弘中 陽子	伊藤 一統、弘中 陽子	関連する資格	保育士資格	選択	
授業概要 本実習は、対面で実施する。 保育所保育士の保育計画に基づいて保育活動に参加し、子どもとのふれあいを通して、保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 J3401b 1、保育所保育士の役割について理解する。 2、子どもの発達について理解する。 3、保育計画に基づく保育活動のプログラムを実践的に学ぶ。 4、保育の多様なニーズに基づいた具体的な対応を実践的に学ぶ。				成績評価方法 実習評価表 90% 実習日誌 5% その他実習に関する提出物 5% による総合的評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		
宿題、授業外レポート	○	○		○			
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	90
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、主体的に参加する。 2) 観察や関わりを通して子どもの遊びや生活の実態を理解する。 3) 望ましい環境整備、保育教材の準備など、保育士の役割を学ぶ。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 子どもとのふれあいを通して援助の仕方を学ぶ。 5) 6) 保育士の指導案に基づいた保育活動に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助方法を習得する。 7) 配属されたクラスの保育を展開するにふさわしい保育環境を設定する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 子どもたちの実態を踏まえて、部分実習の指導計画を立案し、保育実践し、事後、指導担当保育士から指導を受ける。 10) これまで学んできた理論と実習での実践に関連づけながら、自己の保育観、倫理観を高める。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、 保育所実習指導、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2年	通年(後期)			
担当者名	重村 美帆、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、久光 明美	関連する資格	保育士資格	選択			
授業概要 本実習は、対面で実施する。 保育所保育士の保育計画に基づいて保育活動に参加し、子どもとのふれあいを通して、保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 J3401b 1、保育所保育士の役割について理解する。 2、子どもの発達について理解する。 3、保育計画に基づく保育活動のプログラムを実践的に学ぶ。 4、保育の多様なニーズに基づいた具体的な対応を実践的に学ぶ。			成績評価方法 実習評価表 90% 実習日誌 5% その他実習に関する提出物 5% による総合的評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○				○		
宿題、授業外レポート	○	○		○			
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	90
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習初期（3 日間）</p> <p>1) 保育所の 1 日の流れを把握し、主体的に参加する。 2) 観察や関わりを通して子どもの遊びや生活の実態を理解する。 3) 望ましい環境整備、保育教材の準備など、保育士の役割を学ぶ。 【予習】保育所保育指針を熟読し、翌日の保育活動の見通しを立てる（30分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習中期（4 日間）</p> <p>4) 子どもとのふれあいを通して援助の仕方を学ぶ。 5) 6) 保育士の指導案に基づいた保育活動に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助方法を習得する。 7) 配属されたクラスの保育を展開するにふさわしい保育環境を設定する。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p> <p>実習後期（3 日間）</p> <p>8) 9) 子どもたちの実態を踏まえて、部分実習の指導計画を立案し、保育実践し、事後、指導担当保育士から指導を受ける。 10) これまで学んできた理論と実習での実践に関連づけながら、自己の保育観、倫理観を高める。 【予習】保育所保育指針を熟読し、部分実習の準備を行う（60 分/日） 【復習】1 日の実習日誌をまとめる（120 分/日）</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育カリキュラム論、 保育所実習指導、施設実習</p>

課題に対するフィードバック

実習日誌は、必ず翌日に提出する。日誌の添削及び指導については、実習園の指示に従う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(前期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。保育所実習 での学習を踏まえ、実習計画の立案、実習記録 の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J3402b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた 準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育所実習 とは 【予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所実習 について理解を深める（30 分）	授業外レポート
2) 保育所実習 について「内諾の取り方及び書類の書き方」 【予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】実習希望園への内諾の取り方についてグループワークを行う（30分）	授業外レポート
3) 指導案の書き方「保育教材を用いた部分実習指導案の立案」 【予習】保育所保育指針第 1 章 3 節を熟読する（30 分） 【復習】部分実習に関する指導案を立案する（60 分）	授業外レポート
4) 指導案の書き方「領域に即した部分実習指導案の立案」 【予習】保育所保育指針第 1 章 3 節を熟読する（30 分） 【復習】部分実習に関する指導案を立案する（60 分）	授業外レポート
5) グループ演習 「保育教材を用いた部分実習の模擬保育演習」 【予習】立案した指導案内容の準備をする（30 分） 【復習】演習内容を振り返る（30 分）	模擬保育演習 グループワーク
6) グループ演習 「領域に即した部分実習の模擬保育演習」 【予習】立案した指導案内容の準備をする（30 分） 【復習】演習内容を振り返る（30 分）	模擬保育演習 グループワーク
7) 事前打合せについて「書類の書き方」 【予習】実習のしおり「保育所実習 」を熟読する（30 分） 【復習】打合せ内容についてグループワークを行う（30 分）	授業外レポート
8) 日誌の書き方「保育所の生活を捉える視点」 【予習】保育所保育指針第 2 章 1 節・2 節・3 節を熟読する（30 分） 【復習】日誌に関する自分の考えをまとめる（30 分）	授業内レポート
9) グループ演習 「保育所における保育活動のあり方」 【予習】立案した指導案内容の準備をする（30 分） 【復習】演習内容を振り返る（30 分）	模擬保育演習 グループワーク
10) グループ演習 「保育所における保育活動のあり方」 【予習】立案した指導案内容の準備をする（30 分） 【復習】演習内容を振り返る（30 分）	模擬保育演習 グループワーク
11) 実習に向けた心構え 【予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】指導案及び実習計画について再考する（30 分）	授業内レポート
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い 方に慣れておきましょう。 また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れ ておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習 、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し、解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育所実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(後期)
担当者名	重村 美帆、久光 明美、河村 靖彦	関連する資格	保育士資格 選択	

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 保育所実習についての総論学習を行う。保育所実習 での学習を踏まえ、実習計画の立案、実習記録 の作成など実習に必要な技術、技法について演習形を含めた実践的な指導を行う。
 重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。河村靖彦は、教育現場の実務経験をもとに実習に必要な技術や技法について授業を行う。

到達目標

J3402b
 1、保育所保育士の役割について理解する。
 2、実習の意義や目的、内容、方法などを知り、実習に向けた 準備や心構えができる。

成績評価方法

授業内レポート 30%
 授業外レポート 30%
 模擬保育演習 20%
 グループワーク 10%
 による総合的評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育所実習 の振り返り「保育所の生活を捉える視点」 【予習】実習内容を振り返る（30分） 【復習】グループ内容を振り返る（30分）	グループワーク 授業外レポート
2) 保育所実習 の振り返り「保育所保育士の役割を捉える視点」 【予習】実習内容を振り返る（30分） 【復習】グループ内容を振り返る（30分）	グループワーク
3) 保育所実習報告会（1,2年生合同） 【予習】報告会に向けた準備を行う（30分） 【復習】グループ内容を振り返る（30分）	演習
4) 保育所実習 の振り返り「実習園の評価を通じた自己省察」 【予習】実習内容を振り返る（30分） 【復習】個人・グループの振り返りを行う（30分）	面談
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>実習に必要な書類は、電子ファイルに記入していきます。Microsoft Office の Word と Excel の使い方に慣れておきましょう。また、提出物は Gmail を使って提出していきます。Gmail の使用可能な環境を整え、使い方に慣れておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
保育所保育指針解説書 フレーベル館 保育福祉小六法 株式会社みらい 資料は、適宜配布します。	保育原理、保育内容総論、保育所実習、保育所実習

課題に対するフィードバック

授業内外のレポートは、翌週の講義内で返却し、解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名		施設実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	選択	2		2年	通年(前期)		
担当者名	弘中 陽子、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、重村 美帆、久光 明美	関連する資格		保育士資格 必修			
授業概要 居住型児童福祉施設等の生活に参加し、入所児(者)の施設内外での生活をありのままに捉え、入所児(者)への理解を深めるとともに、居住型児童福祉施設等の目的や機能とそこでの保育士に職務や役割に関する知識と実践的支援方法を修得する。尚、実習形態は、原則宿泊10日間となる。							
到達目標 入所児(者)と生活をともにすることを通して、施設の実態や入所児(者)の現状を体験的に学び、施設保育士としての資質を高める。				成績評価方法 ・授業内レポート(実習日誌) ・授業外レポート(実習を終えてレポート) ・実習(実習施設からの実習評価)			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>施設実習 は次のとおりである。</p> <p>1. 対象施設 居住型児童福祉施設等 （原則として県内の児童福祉施設等。県外を希望する場合は個別に対応） 実習施設の選定、決定にあたっては、様々な状況を鑑みて決定する。</p> <p>2. 実習時期及び実習期間、実習形態 時期：2年次夏季休暇中（8月中旬頃） 期間：10日間（但し、通勤実習の場合は12日間とする） 形態：宿泊（但し、施設等に応じて通勤の場合もある）</p> <p>3. 実習配属及び人数 原則として実習配属は、様々な状況を考慮し担当教員で決定する。 人数は、おおむね1施設4名以内とする。</p> <p>4. 実習の流れ 実習は、おおむね から の流れで進めていく。 実習初期：見学・観察実習（生活を共に過ごす中で、子どもや利用者の生活の様子や保育士の動き等を理解する） 実習中期：参加実習（実習テーマも踏まえ、子どもや利用者との関わりを積極的に取り組み、特性や支援方法等について理解する） 実習後期：指導実習（保育士等の職員と相談をしながら、実習テーマを実践的に取り組む）</p> <p>5. 勤務形態 実習生は、各実習施設の職員に準じて勤務し実習を行う。</p> <p>6. 事前・事後学習 事前・事後学習として、「施設実習指導 」にて行う。 内容は、「施設実習指導 」シラバス、及び授業初回ガイダンスにて確認すること。</p>	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前学習の一環として、実習施設で行われる行事にボランティアとして積極的に参加し、できるだけ実習施設や子ども ・利用者の理解を進める取り組みを主体的に行うことを望む。 ・実習終了後、自己学習として、実習日誌をもとに実習のふりかえり（ふりかえりシート記入）を行う。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり ・保育福祉小六法（株式会社みらい） ・適宜、資料（プリント）を配付する 	施設実習指導 、 保育所実習 、 施設実習

課題に対するフィードバック

事後学習等を終えた後、提出した実習日誌にコメントを記入し、返却する。

備考

本科目は、保育士資格取得を希望する場合の必修科目である。
保育士資格取得を希望する者は、施設実習 と併せて保育所実習 を履修し、加えて保育所実習 または施設実習 を履修すること。
施設実習 を履修する者は、併せて施設実習指導 を必ず履修すること。

科目名		施設実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	選択	2		2年	通年(後期)		
担当者名	弘中陽子、河村靖彦、近藤原井、久光	鉄浩、伊藤重村、一統美帆	関連する資格	保育士資格 必修			
授業概要 居住型児童福祉施設等の生活に参加し、入所児(者)の施設内外での生活をありのままに捉え、入所児(者)への理解を深めるとともに、居住型児童福祉施設等の目的や機能とそこでの保育士に職務や役割に関する知識と実践的支援方法を修得する。尚、実習形態は、原則宿泊10日間となる。							
到達目標 入所児(者)と生活をともにすることを通して、施設の実態や入所児(者)の現状を体験的に学び、施設保育士としての資質を高める。				成績評価方法 ・授業内レポート(実習日誌) ・授業外レポート(実習を終えてレポート) ・実習(実習施設からの実習評価)			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>施設実習 は次のとおりである。</p> <p>1. 対象施設 居住型児童福祉施設等 （原則として県内の児童福祉施設等。県外を希望する場合は個別に対応） 実習施設の選定、決定にあたっては、様々な状況を鑑みて決定する。</p> <p>2. 実習時期及び実習期間、実習形態 時期：2年次夏季休暇中（8月中旬頃） 期間：10日間（但し、通勤実習の場合は12日間とする） 形態：宿泊（但し、施設等に応じて通勤の場合もある）</p> <p>3. 実習配属及び人数 原則として実習配属は、様々な状況を考慮し担当教員で決定する。 人数は、おおむね1施設4名以内とする。</p> <p>4. 実習の流れ 実習は、おおむね から の流れで進めていく。 実習初期：見学・観察実習（生活を共に過ごす中で、子どもや利用者の生活の様子や保育士の動き等を理解する） 実習中期：参加実習（実習テーマも踏まえ、子どもや利用者との関わりを積極的に取り組み、特性や支援方法等について理解する） 実習後期：指導実習（保育士等の職員と相談をしながら、実習テーマを実践的に取り組む）</p> <p>5. 勤務形態 実習生は、各実習施設の職員に準じて勤務し実習を行う。</p> <p>6. 事前・事後学習 事前・事後学習として、「施設実習指導 」にて行う。 内容は、「施設実習指導 」シラバス、及び授業初回ガイダンスにて確認すること。</p>	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前学習の一環として、実習施設で行われる行事にボランティアとして積極的に参加し、できるだけ実習施設や子ども ・利用者の理解を進める取り組みを主体的に行うことを望む。 ・実習終了後、自己学習として、実習日誌をもとに実習のふりかえり（ふりかえりシート記入）を行う。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり ・保育福祉小六法（株式会社みらい） ・適宜、資料（プリント）を配付する 	施設実習指導 、 保育所実習 、 施設実習

課題に対するフィードバック

事後学習等を終えた後、提出した実習日誌にコメントを記入し、返却する。

備考

本科目は、保育士資格取得を希望する場合の必修科目である。
保育士資格取得を希望する者は、施設実習 と併せて保育所実習 を履修し、加えて保育所実習 または施設実習 を履修すること。
施設実習 を履修する者は、併せて施設実習指導 を必ず履修すること。

科目名	施設実習指導						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	通年(前期)			
担当者名	弘中 陽子、原井 輝明		関連する資格	保育士資格 必修			
授業概要 本授業は、施設実習 に向けた事前学習、及び事後学習である。 事前学習では、施設実習の意義や目的、内容、方法を理解した上で、実習施設や入所児・者への理解を深めるための授業を行う。また、実習計画の立案や実習日誌の記入方法など、望ましい施設実習に向けた準備学習を行う。 また、事後学習では、実習のふりかえりをグループ別に行い、施設保育士の役割や支援方法を事例から検討し、保育士としての今後の課題を明確にしていく。事後学習のまとめとして、1・2年合同の実習報告会において発表を行う。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 施設実習 の意義、目的について理解する。 児童福祉施設及び、入所児・者について知り、実習に向けて学習、準備を進めることができる。 実習施設について知り、実習計画が立案できる。 実習計画に沿った実習のふりかえりを通して、保育士としての今後の課題を見つけることができる。 グループ討議により事例を検討し、施設保育士の役割を理解する。 			成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 授業外レポート（施設見学日誌・レポート等の課題含む） 授業態度・授業参加度 グループワーク（施設見学のふりかえり・施設実習のふりかえり） 				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 施設実習指導の概要・授業計画/施設実習の意義と目的・書類作成ガイダンス 【予習・復習】実習の手引きを熟読し、1年間の実習指導について理解する。課題等の配付資料をファイルに綴じ、計画的に進める。（60分）	
2) 施設見学について（見学施設の理解と入所児への接し方） 【予習・復習】見学する施設について資料等をもとに調べ、確認事項・質問事項を記入する。（60分）	
3) 施設見学（児童養護施設・障害児（者）施設の2施設を見学）	
4) 施設見学 【予習・復習】施設見学の心構え、ねらい等を再度確認し、見学に臨む。見学日誌、及びふりかえりシートを記入する。（60分）	
5) 施設見学のふりかえり/事前刈インテ-ジョン・健康診断書・実習計画作成 【予習・復習】施設見学の日誌等を見直し、ふりかえりに臨む。実習計画（下書き）を作成し、提出する。（60分）	グループワーク
6) 実習に向けて 外部講師による特別講義 【予習・復習】施設保育士の役割を理解する。今後の実習に向けたテーマが考えられ、実習計画を立案する。（60分）	
7) 実習に向けて 実習日誌の書き方 【予習・復習】実習計画をもとに、日々の実習のねらいを組み立てる。書き方のポイントを再確認する。（60分）	
8) 実習に向けて 実習書類の作成（外部講師による指導） 【予習・復習】施設実習の意義・目的を再確認し、自身の実習テーマをもとに実習計画（清書）を作成する。（60分）	
9) 実習に向けて 実習における諸注意 【予習・復習】実習生として配慮すべき点について考え、理解する実習での学ぶ姿勢・態度のあり方を考える。（60分）	
10) 実習に向けて 施設提出書類の確認・守秘義務について 【予習・復習】守秘義務に関する資料を熟読し、正しく理解した上で、適切な行動ができる。（60分）	
11) 施設実習のふりかえり 「ねらいを通して実習をふりかえる」/個人面談 【予習・復習】実習日誌をもとに、ふりかえりシート（個人用）を記入し、客観的に自身の実習をふりかえる。（60分）	グループワーク
12) 施設実習のふりかえり 「実習生として自分をみつめる」 【予習・復習】返却されたふりかえりシート（個人用）を見直し、自分の関わりについてみつめる。（60分）	グループワーク
13) 施設実習のふりかえり 「これからの自分自身の課題を考える」 【予習・復習】グループ内で決めたテーマをもとに、自分自身の今後の課題を考える。（60分）	グループワーク
14) 施設実習のふりかえり /実習報告会に関する諸連絡 【予習・復習】各グループの発表を通して、保育士として必要なことが理解できる。（60分）	グループワーク
15) 施設実習報告会（1・2年合同） 【予習・復習】よりよい保育士を目指し、自分のすべきことが具体的に挙げ、実践することができる。（60分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学や事前課題をもとに、自分の実習施設について理解を深め、実習に対する目標（テーマ）を考える。 ・実習日誌をもとに、自分の実習についてふりかえり、今後の保育士としての課題を考える。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり ・保育士福祉小六法（株式会社みらい） ・適宜、資料（プリント）を配付する 	施設実習

課題に対するフィードバック

提出した課題等は評価し、コメント等をつけて返却する（提出した課題等が未完成、不十分と担当教員が判断した場合は、再提出の場合もある）

備考

施設実習 履修者は必ず履修すること。（保育士資格取得希望者は、必ず履修すること）
「施設実習指導」を履修していない場合には、施設実習 は行うことはできない。

科目名	施設実習指導						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	通年(後期)			
担当者名	弘中 陽子、原井 輝明		関連する資格	保育士資格 必修			
授業概要 本授業は、施設実習 に向けた事前学習、及び事後学習である。 事前学習では、施設実習の意義や目的、内容、方法を理解した上で、実習施設や入所児・者への理解を深めるための授業を行う。また、実習計画の立案や実習日誌の記入方法など、望ましい施設実習に向けた準備学習を行う。 また、事後学習では、実習のふりかえりをグループ別に行い、施設保育士の役割や支援方法を事例から検討し、保育士としての今後の課題を明確にしていく。事後学習のまとめとして、1・2年合同の実習報告会において発表を行う。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 施設実習 の意義、目的について理解する。 児童福祉施設及び、入所児・者について知り、実習に向けて学習、準備を進めることができる。 実習施設について知り、実習計画が立案できる。 実習計画に沿った実習のふりかえりを通して、保育士としての今後の課題を見つけることができる。 グループ討議により事例を検討し、施設保育士の役割を理解する。 			成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 授業外レポート（施設見学日誌・レポート等の課題含む） 授業態度・授業参加度 グループワーク（施設見学のふりかえり・施設実習のふりかえり） 				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							30
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 施設実習指導の概要・授業計画/施設実習の意義と目的・書類作成ガイダンス 【予習・復習】実習の手引きを熟読し、1年間の実習指導について理解する。課題等の配付資料をファイルに綴じ、計画的に進める。（60分）	
2) 施設見学について（見学施設の理解と入所児への接し方） 【予習・復習】見学する施設について資料等をもとに調べ、確認事項・質問事項を記入する。（60分）	
3) 施設見学（児童養護施設・障害児（者）施設の2施設を見学）	
4) 施設見学 【予習・復習】施設見学の心構え、ねらい等を再度確認し、見学に臨む。見学日誌、及びふりかえりシートを記入する。（60分）	
5) 施設見学のふりかえり/事前刈インテ-ジョン・健康診断書・実習計画作成 【予習・復習】施設見学の日誌等を見直し、ふりかえりに臨む。実習計画（下書き）を作成し、提出する。（60分）	グループワーク
6) 実習に向けて 外部講師による特別講義 【予習・復習】施設保育士の役割を理解する。今後の実習に向けたテーマが考えられ、実習計画を立案する。（60分）	
7) 実習に向けて 実習日誌の書き方 【予習・復習】実習計画をもとに、日々の実習のねらいを組み立てる。書き方のポイントを再確認する。（60分）	
8) 実習に向けて 実習書類の作成（外部講師による指導） 【予習・復習】施設実習の意義・目的を再確認し、自身の実習テーマをもとに実習計画（清書）を作成する。（60分）	
9) 実習に向けて 実習における諸注意 【予習・復習】実習生として配慮すべき点について考え、理解する実習での学ぶ姿勢・態度のあり方を考える。（60分）	
10) 実習に向けて 施設提出書類の確認・守秘義務について 【予習・復習】守秘義務に関する資料を熟読し、正しく理解した上で、適切な行動ができる。（60分）	
11) 施設実習のふりかえり 「ねらいを通して実習をふりかえる」/個人面談 【予習・復習】実習日誌をもとに、ふりかえりシート（個人用）を記入し、客観的に自身の実習をふりかえる。（60分）	グループワーク
12) 施設実習のふりかえり 「実習生として自分をみつめる」 【予習・復習】返却されたふりかえりシート（個人用）を見直し、自分の関わりについてみつめる。（60分）	グループワーク
13) 施設実習のふりかえり 「これからの自分自身の課題を考える」 【予習・復習】グループ内で決めたテーマをもとに、自分自身の今後の課題を考える。（60分）	グループワーク
14) 施設実習のふりかえり /実習報告会に関する諸連絡 【予習・復習】各グループの発表を通して、保育士として必要なことが理解できる。（60分）	グループワーク
15) 施設実習報告会（1・2年合同） 【予習・復習】よりよい保育士を目指し、自分のすべきことが具体的に挙げ、実践することができる。（60分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学や事前課題をもとに、自分の実習施設について理解を深め、実習に対する目標（テーマ）を考える。 ・実習日誌をもとに、自分の実習についてふりかえり、今後の保育士としての課題を考える。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり ・保育士福祉小六法（株式会社みらい） ・適宜、資料（プリント）を配付する 	施設実習

課題に対するフィードバック

提出した課題等は評価し、コメント等をつけて返却する（提出した課題等が未完成、不十分と担当教員が判断した場合は、再提出の場合もある）

備考

施設実習 履修者は必ず履修すること。（保育士資格取得希望者は、必ず履修すること）
「施設実習指導」を履修していない場合には、施設実習 は行うことはできない。

科目名	施設実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	2	2年	通年(前期)
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、久光 明美	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択	

授業概要

児童厚生施設又は障害児入所施設その他社会福祉関係諸法令に基づいて設置されている施設について、その概要を知るとともに、養護をはじめとする援助活動の方法や技術について学ぶ。また施設利用者を取りまく家庭・地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解を深める。

到達目標

ナンバリング (J3405bf)
 児童館実習においては、児童館の概要や社会的役割、児童厚生員の職務や専門性について説明できる。また、児童厚生員に求められる資質、能力、技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化することができる。
 児童館を除く社会福祉施設における実習については、施設利用者と生活を共にする中で、障害や年齢による心理的・身体的・社会的特性を理解し、介助、療育、養護活動に参加して、指導・援助の方法を説明できる。また、施設利用者の家族、地域住民とのかかわりを知り、施設の社会的役割について理解し述べることができる。

成績評価方法

実習施設からの実習評価、実習日誌、提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>児童館実習は次の通りである。</p> <p>1.対象施設 原則として県内の児童館 実習施設の選定にあたっては、通勤の便等を考慮して決定する。</p> <p>2.実施時期及び実習期間 時期：2年次 原則として冬休み 期間：10日間</p> <p>3.実習の流れ おおむね からの流れで進行する。 見学・観察実習 参加実習 指導実習（部分指導実習）</p> <p>4.実習配属人数 1施設あたり、原則としておおむね2名以内とする。</p> <p>5.勤務形態 実習生は実習施設の職員に準じて勤務し実習を行う。</p> <p>6.事前・事後学習 事前学習 児童館実習の目的、実習施設に対する情報収集、実習生の心がまえ、実習計画の作成、目標の設定、プログラムの立案・作成、等 事後学習 児童館の機能・役割についての理解、目標の達成度評価、児童厚生員の職務と専門性についての理解、等</p> <p>7.備考 児童館以外の施設における実習についても、上記に準じて実施する。</p>	<p>実習中は、職員の指示にもとづき積極的に子ども・保護者との関わりを進める。自由来館から各種クラブ・教室参加者、放課後児童クラブ等、児童館にはさまざまな人々が訪れることから、来館者それぞれのニーズをふまえた対応を心がけるようにする。</p> <p>また、環境整備等の業務にも率先して取り組み、児童館についての理解を図る。</p> <p>児童厚生員の果たす職務と役割については、特に熱心に学ぶこと。必要に応じて積極的に質問等を行い、学びを深めていく。</p> <p>実習期間中には設定保育が組まれる。職員の指導のもと指導計画を立て主体的に取り組み、実施後は振り返りを通して実践力の向上を図る。</p>
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として、実習施設について調べるとともに、指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。 ・実習期間中においては、実習日誌の作成、指導案の修正、教材研究等を実施する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習指導

課題に対するフィードバック

実習日誌は評価に関する個人面談の後、採点の上返却する。

備考

科目名		施設実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	選択	2		2年	通年(後期)		
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、久光 明美	関連する資格		児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択			
授業概要 児童厚生施設又は障害児入所施設その他社会福祉関係諸法令に基づいて設置されている施設について、その概要を知るとともに、養護をはじめとする援助活動の方法や技術について学ぶ。また施設利用者を取りまく家庭・地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解を深める。							
到達目標 児童館実習においては、児童館の概要や社会的役割、児童厚生員の職務や専門性について説明できる。また、児童厚生員に求められる資質、能力、技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化することができる。 児童館を除く社会福祉施設における実習については、施設利用者と生活を共にする中で、障害や年齢による心理的・身体的・社会的特性を理解し、介助、療育、養護活動に参加して、指導・援助の方法を説明できる。また、施設利用者の家族、地域住民とのかかわりを知り、施設の社会的役割について理解し述べるができる。				成績評価方法 実習施設からの実習評価、実習日誌、提出物による総合評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>児童館実習は次の通りである。</p> <p>1.対象施設 原則として県内の児童館 実習施設の選定にあたっては、通勤の便等を考慮して決定する。</p> <p>2.実施時期及び実習期間 時期：2年次 原則として冬休み 期間：10日間</p> <p>3.実習の流れ おおむね からの流れで進行する。 見学・観察実習 参加実習 指導実習（部分指導実習）</p> <p>4.実習配属人数 1施設あたり、原則としておおむね2名以内とする。</p> <p>5.勤務形態 実習生は実習施設の職員に準じて勤務し実習を行う。</p> <p>6.事前・事後学習 事前学習 児童館実習の目的、実習施設に対する情報収集、実習生の心がまえ、実習計画の作成、目標の設定、プログラムの立案・作成、等 事後学習 児童館の機能・役割についての理解、目標の達成度評価、児童厚生員の職務と専門性についての理解、等</p> <p>7.備考 児童館以外の施設における実習についても、上記に準じて実施する。</p>	<p>実習中は、職員の指示にもとづき積極的に子ども・保護者との関わりを進める。自由来館から各種クラブ・教室参加者、放課後児童クラブ等、児童館にはさまざまな人々が訪れることから、来館者それぞれのニーズをふまえた対応を心がけるようにする。</p> <p>また、環境整備等の業務にも率先して取り組み、児童館についての理解を図る。</p> <p>児童厚生員の果たす職務と役割については、特に熱心に学ぶこと。必要に応じて積極的に質問等を行い、学びを深めていく。</p> <p>実習期間中には設定保育が組まれる。職員の指導のもと指導計画を立て主体的に取り組み、実施後は振り返りを通して実践力の向上を図る。</p>
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として、実習施設について調べるとともに、指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。 ・実習期間中においては、実習日誌の作成、指導案の修正、教材研究等を実施する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習指導

課題に対するフィードバック

実習日誌は評価に関する個人面談の後、採点の上返却する。

備考

科目名	施設実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(前期)
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択	

授業概要

児童厚生員等、施設職員への理解を深め、実習の意義や目的、内容、方法を知り、望ましい施設実習が行えるようにする。本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング (J3406b)
施設実習の目的について理解し、必要な準備を行うこと、また事後の振り返りにおいては実習を通して知り得た施設の役割、利用者の特性、職員の基本姿勢と態度について言語化し、知識の定着を図ることを目標とする。

成績評価方法

提出物、グループワークへの参加状況、授業態度により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							40
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 児童館実習について概要説明 【予習】児童館に関する科目の学習内容を振り返る（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	
2) 2) 児童館について 児童館の目的、機能と運営 【予習】「児童館論」のテキストを読む（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	
3) 3) 実習施設についての理解、児童館実習の流れ、実習のポイント 【予習】実習施設はどのような所が調べる（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	
4) 4) 事前オリエンテーションについて ファイル・実施要項等配布 【予習】実習の流れ、ポイントについて整理する（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	個人作業
5) 5) 実習計画の作成について 【予習】実習の個人テーマについて考える（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	個人作業
6) 6) 実習計画の作成について 【予習】実習の個人テーマについて考える（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	個人作業
7) 7) 日誌の書き方について 【予習】施設実習 の日誌の書き方を整理する（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	個人作業
8) 8) 実習の諸注意 【予習】これまで行った実習での自己の課題を振り返る（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
実習事前準備として指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習

課題に対するフィードバック

各種提出物は確認の上返却する。

備考

科目名	施設実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	通年(後期)
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択	

授業概要

児童厚生員等、施設職員への理解を深め、実習の意義や目的、内容、方法を知り、望ましい施設実習が行えるようにする。本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング (J3406b)
施設実習の目的について理解し、必要な準備を行うこと、また事後の振り返りにおいては実習を通して知り得た施設の役割、利用者の特性、職員の基本姿勢と態度について言語化し、知識の定着を図ることを目標とする。

成績評価方法

提出物、グループワークへの参加状況、授業態度により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							40
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 9) 児童館実習のふり返し 実習先からの評価 【予習】実習体験を反省的に振り返る（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	
2) 10) 児童館実習のふり返し 印象に残ったこと 【予習】実習中の印象的な出来事を言語化する（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
3) 11) 児童館実習のふり返し 児童館、児童厚生員、利用児童について 【予習】全員共通の学習課題について学んだことを言語化する（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
4) 12) 児童館実習のふり返し 施設実習計画の達成度について 【予習】実習の個人テーマについて振り返る（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
5) 13) 児童館実習のふり返し 児童厚生員としての適性について 【予習】児童厚生員に求められる資質について考える（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
6) 14) 実習を通して学んだこと まとめ 【予習】これまでの振り返りをまとめる（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
7) 15) 児童館実習の学び 【予習】実習全体を振り返る（45分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（45分）	グループワーク
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
実習先以外の児童館について調べ、実習施設との共通点、相違点等について整理し、児童館についてのさらなる理解を図る。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習

課題に対するフィードバック

実習日誌を含む各種提出物は確認の上返却する。

備考

科目名		保育・教職実践演習（幼稚園）					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2年	後期			
担当者名	伊藤 一統、近藤 鉄浩、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、久光 明美	関連する資格					
授業概要 2年間で学んだ幼児教育の専門的知識と教育・保育所実習で得られた幼児理解や保育指導力の実践の統合を図り、グループワークや模擬保育、フィールドワーク等を通じて保育観及び教育観の確立、社会性やコミュニケーション能力の向上、さらに、幼児とその保護者の理解、保育内容の指導力と表現力を有する保育者としての資質を身に付けることを目的とする。							
到達目標 幼稚園教諭及び保育士としての保育教育観を述べ、自身の課題認識することが出来る。 社会性やコミュニケーション能力を高め、同僚・保護者・地域住民等に対応する力を磨く。 幼児や保護者、同僚などの他者を理解し、学級経営や保育の職務に資する力を高める。 保育内容の指導力と表現力を高める。 また、子ども一人ひとりの発達ニーズを理解し、保育内容を構築することができる。				成績評価方法 課題提出（70%）、演習・諸活動の取組（30%）をあわせて総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							30
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第1回 オリエンテーション：保育・教職実践演習（幼稚園）の目的について【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第2回 保育者の資質について考える【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもつグループ討議で接すること。GWの内容を振り返ること。	
3) 第3回 自己の課題について考える【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもつ履修カルテの振り返りて接すること。講義時間の内容を振り返ること。	
4) 第4回 保育者の責務と倫理（保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任について）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中の内容について振り返ってみること。	
5) 第5回 保育者の職務と能力（保育現場から求められる基礎的汎用的能力や職務内容、保護者への接し方について）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中の内容について振り返ってみること。	
6) 第6回 保育実践の技術(1)（子どもの発達・状況に応じた教材研究と指導計画）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	指導案の作成 グループワーク
7) 第7回 保育実践の技術(2)（健康で安全な生活を作りだす力を育むための保育技術）【予習・復習】RPに対する準備を行うこと。RPとGWについて振り返りグループワークしてみること。	ロールプレイング
8) 第8回 保育実践の技術(3)（人と関わる力を育むための保育技術）【予習・復習】RPに対する準備を行うこと。RPとGWについて振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
9) 第9回 保育実践の技術(4)（言葉に対する感覚や表現する力を育むための保育技術）【予習・復習】RPに対する準備を行うこと。RPとGWについて振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
10) 第10回 保育実践の技術(5)（身近な環境と関わる力を育むための保育技術）【予習・復習】RPに対する準備を行うこと。RPとGWについて振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
11) 第11回 現代保育の在り方について(1)（子育て支援ニーズの実際と対応）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) 第12回 現代保育の在り方について(2)（小学校教育の実際と幼保小連携）【予習・復習】観察対象について事前学習を行うこと。観察の結果について振り返ってみること。	参与観察
13) 第13回 現代保育の在り方について(3)（小学校教育の実際と幼保小連携）【予習・復習】観察対象について事前学習を行うこと。観察の結果について振り返ってみること。	参与観察
14) 第14回 組織としての保育について（学級経営、職務分掌等の実際）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	グループ討議
15) 15回 まとめ（自身の学習を振り返り、課題を認識する）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	自己ワーク
授業外学習	
9.9320188801	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、「小学校学習指導要領解説 総則編」、「保育福祉小六法」 みらい	教育実習、保育所実習、教育・保育職研究、教育実習指導、保育所実習指導

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

講義内容については、都合により前後・変更することがある。

科目名		総合演習						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期			
演習	必修	1		1年	前期			
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、久光 明美	関連する資格						
授業概要 本授業は、少人数でのグループ学習活動を通して、自分自身を見つめ直し、自分のあるべき姿を考え、真に学びたいこと、追求したいことは何なのかを、仲間や教員と語り合う中で探ることを狙う。 保育者として、あるいは大人として、どう生きていけばよいのか、研究したい課題は何かを自分自身に問い、研究の方法や課題の解決方法などを学んでいく。								
到達目標 J1301 ・保育者として基礎技能ともなる「読む・書く・まとめる・意見を言う」を高める。 ・保育や子どもに関して、自分の興味や関心、課題意識を高める。 ・学習・研究の基礎となる情報収集や分析等の方法等について身に付ける。				成績評価方法 受講状況および課題による総合評価。 授業内レポート、など。				
評価項目		評価基準						評価割合 (%)
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								各教員
宿題、授業外レポート								各教員
授業態度・授業参加度								各教員
プレゼンテーション								各教員
グループワーク								各教員
演習								各教員
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業ガイダンス「総合演習授業について」グループ活動について 【予習・復習】課題に関する資料に目を通し、準備しておく。（60分）	
2) グループ活動 グループ編成。各教員に分かれグループ活動を行う。具体的な研究テーマや授業計画については、各グループで学生と教員が話し合って決める。 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
3) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
4) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
5) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
6) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
7) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
8) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
9) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
10) 全体ガイダンス「ゼミ選択について」 グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
11) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】興味ある研究室を訪れ面談を受ける。また、進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
12) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
13) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
14) グループ活動 各教員に分かれグループ活動 【予習・復習】進む箇所目を通し、意見をまとめておく。（60分）	グループワーク
15) 全体集合 総合演習 振り返り、総合演習 に向けて 【予習・復習】レポート作成。（180分）	グループワーク レポート
授業外学習	
グループ活動では積極的に自分の考えを発言できるように、事前に準備しておくこと。 また、グループ活動の進み具合を合わせるための準備も事前にしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
その都度、必要な資料を配布する。	総合演習 総合演習 総合演習

課題に対するフィードバック

その都度コメントをする。レポートに関しては集計後に返却。

備考

【オフィスアワー】保育学科各教員

科目名	総合演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、 原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、 久光 明美	関連する資格					
授業概要 自分の課題や研究目的を携えて、総合演習 にむけて学習・研究活動にとりくむ。 研究したい課題は何かを自分自身に問う中から、研究の方法や課題の解決方法などを学んでいく。 また、教員との少人数での活動を通じて、保育者として、あるいは大人として、どう生きていけばよいのかを考える。							
到達目標 J2302 ・自分の研究課題についての考えを深める。 ・自分の研究課題に関連する情報の収集、学習を行い、知見を深める。			成績評価方法 受講状況および課題による総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							各教員
宿題、授業外レポート							各教員
授業態度・授業参加度							各教員
プレゼンテーション							各教員
グループワーク							各教員
演習							各教員
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス ゼミ活動について、まとめレポートについて、発表会について 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	
2) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
3) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
4) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
5) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
6) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
7) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
8) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
9) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
10) 中四国保育学生研究大会 聴講 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	レポート
11) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
12) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
13) 1・2年生合同ガイダンス 発表会役割分担 【予習・復習】各教員による課題。（60分）	グループワーク
14) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】レポート作成。（120分）	個人ワークまたはグループワーク
15) 総合演習発表会 運営・聴講 【予習・復習】レポート作成。（120分）	グループワーク レポート
授業外学習	
グループ活動では積極的に自分の考えを発言できるように、また、グループ活動での進捗を合わせるために、個々が事前準備しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
その都度、必要な資料を配布する。	総合演習 総合演習 総合演習

課題に対するフィードバック

その都度コメントをする。レポートに関しては集計後に返却。

備考

【オフィスアワー】保育学科各教員

科目名	総合演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	2年	前期			
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、 原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、 久光 明美	関連する資格					
授業概要 総合演習 に続いて自身の研究意識、自分で選んだ教員の指導や助言を受けながら、具体的に研究を進めていく。 学生自身が主体的に学び、教員はそれを援助するという密接な人間関係のなかでの学習過程を大切に、研鑽をかさねていくことを目的とする。							
到達目標 J3301 ・自ら考えた研究計画を実践し、研究活動を進める。 ・テーマや目的に向かって、主体的に、自ら考え、計画性を持って行動する力を習得する。				成績評価方法 個々の学生について研究の課題、研究成果を総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							各教員
宿題、授業外レポート							各教員
授業態度・授業参加度							各教員
プレゼンテーション							各教員
グループワーク							各教員
演習							各教員
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 合同ガイダンス 授業概要、中間報告書について 【予習・復習】調査・研究。（60分）	
2) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
3) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
4) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
5) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
6) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
7) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
8) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
9) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
10) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）	個人ワークまたはグループワーク
11) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び報告書作成。（120分）	個人ワークまたはグループワーク
12) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び報告書作成。（120分）	個人ワークまたはグループワーク
13) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び報告書作成。（120分）	個人ワークまたはグループワーク
14) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】報告書作成。（120分）	個人ワークまたはグループワーク
15) 合同ガイダンス 中間報告書提出、発表会に向けて 【予習・復習】報告書作成。（180分）	個人ワーク レポート
授業外学習	
ゼミ活動では積極的に自分の考えを発言できるように、事前準備しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
その都度、必要な資料を配布する。	総合演習 総合演習 総合演習

課題に対するフィードバック

その都度コメントをする。レポートに関しては集計後に返却。

備考

【オフィスアワー】保育学科各教員

科目名	総合演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	2年	後期			
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、 原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、 久光 明美	関連する資格					
授業概要 総合演習 に続き、自分の研究課題についてさらに研究を深め、教員の指導や助言を受けながら、発表にむけて具体的に研究を進めていく。 学生自身が主体的に学び、教員はそれを援助するという密接な人間関係のなかでの学習過程を大切に、研鑽をかさねていくことを目的とする。							
到達目標 J4301 ・これまでの研究内容をまとめ、論文を完成させる。また、パワーポイント等の機器を使用し、研究成果を口頭や演示等で発表する。				成績評価方法 個々の学生について研究の課題、研究成果を総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							各教員
宿題、授業外レポート							各教員
授業態度・授業参加度							各教員
プレゼンテーション							各教員
グループワーク							各教員
演習							各教員
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 合同ガイダンス 論文提出・発表会までのスケジュール ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		
2) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
3) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
4) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
5) ゼミ活動 各ゼミによる指導、研究テーマ提出 【予習・復習】調査・研究及びテーマ調査票作成。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
6) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
7) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
8) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究。（60分）		個人ワークまたはグループワーク
9) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び要旨作成。（120分）		個人ワークまたはグループワーク
10) 2年生発表会ガイダンス ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び要旨作成。（120分）		個人ワークまたはグループワーク
11) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】調査・研究及び要旨作成。（180分）		個人ワークまたはグループワーク
12) ゼミ活動 各ゼミによる指導、発表要旨原稿提出 【予習・復習】要旨作成。（300分）		個人ワークまたはグループワーク
13) 1・2年生合同ガイダンス 発表会について ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】発表の準備。（120分）		個人ワークまたはグループワーク
14) ゼミ活動 各ゼミによる指導 【予習・復習】発表の準備。（180分）		個人ワークまたはグループワーク
15) 総合演習発表会 研究成果を発表 【予習・復習】発表の準備。（300分）		個人ワーク レポート
授業外学習		
在学中の学びの集大成であることを認識し、事前準備を十分にすること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
その都度、必要な資料を配布する。		総合演習 総合演習 総合演習

課題に対するフィードバック

その都度コメントをする。レポートに関しては集計後に返却。

備考

【オフィスアワー】保育学科各教員

科目名	児童館・放課後児童クラブの機能と運営			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	近藤 鉄浩、尾崎 美智恵	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修	

授業概要

児童館及び放課後児童クラブの基本的理念と機能・役割を理解し、福祉施設として、その具体的活動展開と運営上のポイントを学習する。
本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング (J2103f)
児童館の法的位置づけや施設の特徴、地域社会の中で果たしている役割や機能を説明できる。
併せて放課後児童クラブについても、事業の目的や概要、実施する上での留意点について説明できる。

成績評価方法

授業内で実施する確認テスト、プレゼンテーション

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							15
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション（近藤） 【予習】児童館とはどういう施設か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
2) 2) 児童の健全育成について（近藤） 【予習】健全育成に関する国の施策を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	グループワーク
3) 3) 児童館の歴史的背景、及び法的位置づけ（近藤） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	
4) 4) 児童館の基本的理念と機能・役割（近藤） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	個人ワーク
5) 5) 児童厚生員について（近藤） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	
6) 6) 児童館における実践とその特徴（尾崎） 【予習】これまでの学習から児童館の特徴を整理する（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	グループワーク
7) 7) 児童館における活動の様子（尾崎） 【予習】児童館で行われているクラブ活動を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	個人ワーク
8) 8) 児童館における活動の展開（尾崎） 【予習】児童館だよりについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	個人ワーク
9) 9) 児童厚生員に求められるもの（尾崎） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	個人ワーク
10) 10) 児童館ガイドラインを読む（近藤） 【予習】ガイドラインを読み発表の準備をする（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	プレゼンテーション
11) 11) 児童館ガイドラインを読む（近藤） 【予習】ガイドラインを読み発表の準備をする（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	プレゼンテーション
12) 12) 放課後児童クラブの概要（尾崎） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	
13) 13) 放課後児童クラブの活動の実際（尾崎） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
14) 14) 放課後児童クラブの活動の実際（尾崎） 【予習】テキストの該当ページを読む（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	
15) 15) まとめ（近藤・尾崎） 【予習】これまで学習した内容を振り返る（30分） 【復習】テキスト、授業プリントを読み直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習、施設実習指導

課題に対するフィードバック

提出物等については最終回に返却する。

備考

科目名	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	弘中 陽子、尾崎 美智恵	関連する資格	児童厚生員二級指導員資格 必修	

授業概要

児童館・放課後児童クラブにおいて実施される日々の活動の流れや年間の計画づくり、行事の企画立案等について学ぶとともに、児童や保護者に対するかかわり方について体験的に理解する。

到達目標

- ・児童館や放課後児童クラブの日々の活動の流れとその実施方法を理解する。
- ・年間の活動計画や行事の企画立案における留意点を理解する。
- ・児童や保護者に対するかかわり方の留意点を理解する。

成績評価方法

- ・定期試験
 - ・提出物
 - ・演習、グループ活動等
- 以上を総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							55
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 授業概要、評価方法等の説明（弘中）	
2) 児童館における活動の様子 - 1日の流れとそのねらい - （尾崎・弘中） 【予習】近隣の児童館について調べてくる（30分） 【復習】近隣の児童館の1日の流れが分かる（30分）	
3) 児童館における活動の様子 - 児童の遊びと環境構成 - （尾崎・弘中） 【予習】乳幼児親子の遊びを調べてくる（30分） 【復習】乳幼児親子対象の活動計画を立案する（30分）	
4) 児童・保護者への関わり方 - 留意点と支援方法 - （尾崎・弘中） 【予習】立案した活動の実践準備を行う（30分） 【復習】再度活動計画を見直し、加筆・修正を行う（30分）	
5) 児童・保護者への関わり方 - 留意点と支援方法 - （尾崎・弘中） 【予習】立案した活動の発表準備を行う（30分） 【復習】再度活動計画を見直し、加筆・修正を行う（30分）	
6) 児童館におけるあそびの展開 - 児童対象 - （弘中） 【予習】身近にある素材を使った遊びを考えてくる（30分） 【復習】立案した遊びの実践準備を行う（30分）	グループ活動
7) 児童館におけるあそびの展開 - 児童対象 - （弘中） 【予習】立案した遊びの実践準備を行う（30分） 【復習】ふりかえりシートを記入する（30分）	グループ活動
8) 児童館におけるあそびの展開 - 乳幼児と保護者対象 - （弘中） 【予習】乳幼児の親子ふれあい遊びを考えてくる（30分） 【復習】乳幼児親子対象の活動計画を立案する（30分）	グループ活動
9) 児童館におけるあそびの展開 - 乳幼児と保護者対象 - （弘中） 【予習】立案した活動の実践準備をする（30分） 【復習】再度活動計画を見直し、加筆・修正を行う（30分）	グループ活動
10) 児童館とボランティア、地域との連携（尾崎・弘中） 【予習】テキスト「第2章児童館の機能・ボランティアの発掘・育成」を熟読する 【復習】児童館クラブ活動のボランティアについて調べる（30分）	
11) 児童厚生員に求められるもの（尾崎・弘中） 【予習】テキスト「第3章児童厚生員の役割」を熟読する（30分） 【復習】テキスト「児童厚生員の倫理」を再度熟読する（30分）	
12) 放課後児童クラブの活動の実際（尾崎・弘中） 【予習】児童クラブ「集団遊び」を調べる（30分） 【復習】児童クラブ「集団遊び」の活動計画を立案する（30分）	グループ活動
13) 放課後児童クラブの活動の展開（尾崎・弘中） 【予習】立案した「集団遊び」の実践準備を行う（30分） 【復習】再度活動計画を見直し、加筆・修正を行う（30分）	グループ活動
14) これからの児童館（児童クラブ）について（尾崎・弘中） 【予習】児童館、児童クラブの課題について考える（30分） 【復習】理想とする児童館、児童クラブを考える（30分）	
15) 学びのまとめ（弘中） 【予習】今までの学びを見直し、理解を深める（30分）	
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。 近隣の児童館へ足を運び、子どもの姿を観察してみましょう。 できれば、ボランティアとして児童館の活動に参加することをおすすめします。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 「児童館論」(財)児童健全育成推進財団編 適宜資料を配付します	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭福祉 ・児童館・放課後児童クラブの機能と運営 ・施設実習 ・施設実習指導

課題に対するフィードバック

授業内で提出した指導案等は、コメントをつけて返却する

備考

授業計画は都合により変更する場合があります。

科目名	在宅保育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	宇多川 清美、重村 美帆	関連する資格	認定ベビーシッター資格	

授業概要

本授業は、対面と遠隔で実施する。
平成27年4月から施行された子ども・子育て支援法によって、地域型保育給付の一つとして居宅訪問型保育が位置づけられた。子育て家庭への個別的な保育ニーズに対応する柔軟できめ細かな機能やベビーシッターとしての役割、社会的責任について理解を深めていく。
宇多川清美は、家庭訪問保育の実務経験をもとに、家庭訪問保育及び居宅訪問型保育について授業を行う。重村美帆は、保育現場の実務経験をもとに、乳幼児の生活や児童虐待についての授業を行う。

到達目標

ナンバリング(J4104e)
1、家庭訪問保育と認可保育所の特徴を知り、家庭訪問保育のマインドを身に付けることができる。
2、居宅訪問型保育の概要を理解することができる。

成績評価方法

期末定期試験80%
授業内・外レポート10%
演習 10%
による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 家庭訪問保育とは：保育マインドについて（伊藤） 【予習】序章及び第1章を読む（30分） 【復習】居宅訪問型保育・一般型家庭訪問保育を理解する（30分）	授業内レポート
2) 乳幼児の生活と遊び（重村） 【予習】第2章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
3) 乳幼児の発達と心理（重村） 【予習】第3章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
4) 乳幼児の栄養と食事（重村） 【予習】第4章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
5) 小児保健（重村） 【予習】第5・6章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
6) 心肺蘇生法（宇多川） 【予習】第6章（事故予防・心肺蘇生法）を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	演習 授業外レポート
7) 子どもの虐待（重村） 【予習】第13章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
8) 居宅訪問型保育の保育内容（宇多川） 【予習】第7章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
9) 居宅訪問型保育における環境整備（宇多川） 【予習】第8章を読む（60分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
10) 居宅訪問型保育の運営：安全の確保とリスクマネジメント（宇多川） 【予習】第9・10・11章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
11) 居宅訪問型保育における保護者への対応（宇多川） 【予習】第12章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
12) 特別に配慮を要する子どもへの対応（宇多川） 【予習】第14章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
13) 一般型家庭訪問保育の業務の流れ（宇多川） 【予習】第17章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
14) さまざまな家庭訪問保育（宇多川） 【予習】第18章を読む（30分） 【復習】講義の目的を達成したか確認する（60分）	授業内レポート
15) 保育技術（お世話と遊び）（重村） 【予習】第15・16章を読む 及び 年齢に合わせたお世話や遊びの計画を立てる（30分） 【復習】演習を振り返る（60分）	演習 授業外レポート
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「在宅保育論 家庭訪問保育の理論と実際」巷野悟郎監修 社団法人全国ベビーシッター協会編集（中央法規出版）	保育内容総論

課題に対するフィードバック

演習時には、その都度フィードバックをする。また、授業外レポートは評価を付けて返却する。

備考

科目名	レクリエーション概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修	

授業概要

本講義は、現代社会の様々な問題や課題に対してレクリエーションの果たす役割を理解すると共に、レクリエーションについての基礎的な理論、及び支援の方法を学習する。

到達目標

J2104c
 ・レクリエーションの基本的な考え方を理解する。
 ・レクリエーションを活用した支援の方法を理解する。
 ・レクリエーション事業の考え方や展開方法、安全管理について理解する。
 。

成績評価方法

- ・定期試験
- ・小テスト、授業内レポート
- ・課題

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス） 【予習・復習】シラバスの本講義箇所を熟読する。地域の子どもたちを対象とした楽しい遊びを調べる。（60分）	
2) レクリエーション支援のプログラム / レクプログラムの立案方法 【予習・復習】レクリエーション支援プログラム案を考える。プログラムの立案方法をふりかえり、立案する。（60分）	グループ活動
3) レクリエーション支援のプログラム / レクプログラムの立案 【予習・復習】実施計画に基づき、担当ごとに準備を進める。決定したプログラムをもとに、さらに準備を進める。（60分）	グループ活動
4) レクリエーション支援のプログラム / リスクマネジメントの方法 【予習・復習】レクリエーション支援プログラムにおけるリスクを考える。リスクマネジメントの方法をふりかえり、リスクの回避と対処方法を考える。（60分）	グループ活動
5) レクリエーション支援のプログラム / レクプログラムの実施 【予習・復習】レクリエーション支援者としての心構えを持つ。準備から実施までのふりかえりを行う。（60分）	グループ活動
6) レクリエーション支援のプログラム / 評価、及びプログラム改善 【予習・復習】ふりかえりを記入し、持参する。プログラムの改善策と今後の課題が理解できる。（60分）	グループ活動
7) 楽しさと心の元気づくりの理論 / レク活動がもたらす楽しさと心の仕組み 【予習・復習】レクリエーション活動がもたらす楽しさを考える。2つの楽しさの心の仕組みを理解する。（60分）	
8) 楽しさと心の元気づくりの理論 / 楽しさを通じた心の元気づくりの方法 【予習・復習】自分の心が元気になる時を考える。心の元気づくりの大切さを理解する。（60分）	
9) 楽しさと心の元気づくりの理論 / 心の元気づくりの課題と地域のきずな 【予習・復習】乳幼児期の子どもの心が元気になる時を考える。地域における心をひとつにするきずなを理解する。（60分）	
10) レクリエーション概論 / レクリエーションの意義と主旨 【予習・復習】レクリエーションからイメージする言葉を考える。レクリエーションの原義と意義・目的を理解する。（60分）	
11) レクリエーション概論 / レクリエーション支援の目的と方法 【予習・復習】心が元気になるために必要なことを考える。レクリエーション支援方法を理解する。（60分）	
12) レクリエーション支援理論 / コミュニケーションと信頼関係づくり 【予習・復習】意思疎通を図る上で、大切なことを考える。信頼関係が築かれる心の仕組みを理解する。（60分）	
13) レクリエーション支援理論 / レク活動をとおした良好な集団づくり 【予習・復習】これまでで居心地よく感じた集団と居心地悪く感じた集団を考える。良好な集団をつくるための方法を理解する。（60分）	
14) レクリエーション支援理論 / 自主的・主体的に楽しむ力を育む理論 【予習・復習】やる気が起きる時を考える。やる気の変化とやる気が生じる心の仕組みを理解する。（60分）	
15) レクリエーション・インストラクターに期待される役割 / 授業のまとめ 【予習・復習】日本レクリエーション協会のHPを調べる。レクリエーション・インストラクターの役割を理解し、自分なりの目標を考える。（60分）	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当箇所を熟読し、授業内容の予習、復習を行なって下さい。地域や学校等で実施されているレクリエーション活動に積極的に参加しましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：「楽しさをとおした心の元気づくり」～レクリエーション支援の理論と方法～日本レクリエーション協会編</p> <p>参考書：「月刊Recrewレクルー」日本レクリエーション協会編</p> <p>適宜、参考資料（プリント）を配付する</p>	<p>レクリエーション演習 ・レクリエーション演習</p> <p>レクリエーション実習</p>

課題に対するフィードバック

提出した課題等は、コメントをつけて返却する

備考

- ・テキスト購入については、初回授業にて説明します。
- ・「レクリエーション・インストラクター」の資格取得のための必修科目に位置づけられています。
- ・授業に対する積極的な「姿勢・態度・行動」を望みます。

科目名	レクリエーション実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	通年(前期)
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修	

授業概要

この科目は、公益財団法人日本レクリエーション協会認定「レクリエーション・インストラクター資格」を取得するための必修科目である。学外で行なわれる地域のレクリエーション事業に参加・参画し、その事業の企画、及び運営方法等を体験的に学び、レクリエーション支援者としての支援技術を修得する。尚、実習の日時、場所等については、別途ガイダンスにて連絡する。

到達目標

J1405c
 ・レクリエーション事業について、企画から準備、実施、評価までの一連のプロセスを理解する。
 ・地域行事の参加を通して、地域でのレクリエーション事業のあり方について理解する。

成績評価方法

・実習日誌
 (毎回の事業参加終了後に提出)
 ・実習態度・姿勢(服装、身だしなみ等含む)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>【1年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ参加し、事業の内容と事業の展開方法を学ぶ。 ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」に参加する ・山口県レクリエーション協会、及び地域のレクリエーション協会や加盟団体等が行っているレクリエーションイベントに参加する</p> <p>【2年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ学生スタッフとして参加し、事業の企画から準備、実際の展開からふりかえりまでの一連の流れを実践学習する ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」へ学生スタッフとして参加する ・地域のレクリエーション協会主催のレクリエーションイベントへ学生スタッフとして参加する</p>		グループ活動
授業外学習		
<p>・山口県レクリエーション協会や自分の住んでいる地域のレクリエーション協会、もしくはさまざまな団体が行なっているレクリエーション事業を探し、1回以上参加しましょう。 ・地域や人々に目を向け、多種多様な活動へ積極的に参加することを望みます。</p>		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
適宜、資料（プリント）を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション概論 ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習 	

課題に対するフィードバック

実習日誌は、コメントをつけて返却する

備考

地域での活動に参加することが多いため、本学の学生としての意識をもち、学生らしい服装、身だしなみ、言動に十分注意すること。
実習では、地域の子どもから高齢者まで、幅広い年代の人との関わりがある。いつもやさしい笑顔を心がけ、積極的な関わりができるよう努めること。
尚、参加するレクリエーション事業の詳細については、事前にガイダンスを行う。ガイダンスの日時等は、掲示板にて連絡する。

科目名	レクリエーション実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	通年(後期)
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修	

授業概要

この科目は、公益財団法人日本レクリエーション協会認定「レクリエーション・インストラクター資格」を取得するための必修科目である。学外で行なわれる地域のレクリエーション事業に参加・参画し、その事業の企画、及び運営方法等を体験的に学び、レクリエーション支援者としての支援技術を修得する。尚、実習の日時、場所等については、別途ガイダンスにて連絡する。

到達目標

J1405 c
 ・レクリエーション事業について、企画から準備、実施、評価までの一連のプロセスを理解する。
 ・地域行事の参加を通して、地域でのレクリエーション事業のあり方について理解する。

成績評価方法

- ・実習日誌
 (毎回の事業参加終了後に提出)
- ・実習態度・姿勢(服装、身だしなみ等含む)

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度							20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							60	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>【1年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ参加し、事業の内容と事業の展開方法を学ぶ。 ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」に参加する ・山口県レクリエーション協会、及び地域のレクリエーション協会や加盟団体等が行っているレクリエーションイベントに参加する</p> <p>【2年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ学生スタッフとして参加し、事業の企画から準備、実際の展開からふりかえりまでの一連の流れを実践学習する ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」へ学生スタッフとして参加する ・地域のレクリエーション協会主催のレクリエーションイベントへ学生スタッフとして参加する</p>		グループ活動
授業外学習		
<p>・山口県レクリエーション協会や自分の住んでいる地域のレクリエーション協会、もしくはさまざまな団体が行なっているレクリエーション事業を探し、1回以上参加しましょう。 ・地域や人々に目を向け、多種多様な活動へ積極的に参加することを望みます。</p>		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
適宜、資料（プリント）を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション概論 ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習 	

課題に対するフィードバック

実習日誌は、コメントをつけて返却する

備考

地域での活動に参加することが多いため、本学の学生としての意識をもち、学生らしい服装、身だしなみ、言動に十分注意すること。
実習では、地域の子どもから高齢者まで、幅広い年代の人との関わりがある。いつもやさしい笑顔を心がけ、積極的な関わりができるよう努めること。
尚、参加するレクリエーション事業の詳細については、事前にガイダンスを行う。ガイダンスの日時等は、掲示板にて連絡する。

科目名	レクリエーション実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	通年(前期)
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修	

授業概要

この科目は、公益財団法人日本レクリエーション協会認定「レクリエーション・インストラクター資格」を取得するための必修科目である。学外で行なわれる地域のレクリエーション事業に参加・参画し、その事業の企画、及び運営方法等を体験的に学び、レクリエーション支援者としての支援技術を修得する。尚、実習の日時、場所等については、別途ガイダンスにて連絡する。

到達目標

J1405c
 ・レクリエーション事業について、企画から準備、実施、評価までの一連のプロセスを理解する。
 ・地域行事の参加を通して、地域でのレクリエーション事業のあり方について理解する。

成績評価方法

- ・実習日誌
 (毎回の事業参加終了後に提出)
- ・実習態度・姿勢(服装、身だしなみ等含む)

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度							20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							60	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>【1年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ参加し、事業の内容と事業の展開方法を学ぶ。 ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」に参加する ・山口県レクリエーション協会、及び地域のレクリエーション協会や加盟団体等が行っているレクリエーションイベントに参加する</p> <p>【2年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ学生スタッフとして参加し、事業の企画から準備、実際の展開からふりかえりまでの一連の流れを実践学習する ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」へ学生スタッフとして参加する ・地域のレクリエーション協会主催のレクリエーションイベントへ学生スタッフとして参加する</p>		グループ活動
授業外学習		
<p>・山口県レクリエーション協会や自分の住んでいる地域のレクリエーション協会、もしくはさまざまな団体が行なっているレクリエーション事業を探し、1回以上参加しましょう。 ・地域や人々に目を向け、多種多様な活動へ積極的に参加することを望みます。</p>		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
適宜、資料（プリント）を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション概論 ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習 	

課題に対するフィードバック

実習日誌は、コメントをつけて返却する

備考

地域での活動に参加することが多いため、本学の学生としての意識をもち、学生らしい服装、身だしなみ、言動に十分注意すること。
実習では、地域の子どもから高齢者まで、幅広い年代の人との関わりがある。いつもやさしい笑顔を心がけ、積極的な関わりができるよう努めること。
尚、参加するレクリエーション事業の詳細については、事前にガイダンスを行う。ガイダンスの日時等は、掲示板にて連絡する。

科目名	レクリエーション実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	通年(後期)
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修	

授業概要

この科目は、公益財団法人日本レクリエーション協会認定「レクリエーション・インストラクター資格」を取得するための必修科目である。学外で行なわれる地域のレクリエーション事業に参加・参画し、その事業の企画、及び運営方法等を体験的に学び、レクリエーション支援者としての支援技術を修得する。尚、実習の日時、場所等については、別途ガイダンスにて連絡する。

到達目標

J1405c
 ・レクリエーション事業について、企画から準備、実施、評価までの一連のプロセスを理解する。
 ・地域行事の参加を通して、地域でのレクリエーション事業のあり方について理解する。

成績評価方法

- ・実習日誌
 (毎回の事業参加終了後に提出)
- ・実習態度・姿勢(服装、身だしなみ等含む)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>【1年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ参加し、事業の内容と事業の展開方法を学ぶ。 ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」に参加する ・山口県レクリエーション協会、及び地域のレクリエーション協会や加盟団体等が行っているレクリエーションイベントに参加する</p> <p>【2年前期・後期】 地域のレクリエーション事業へ学生スタッフとして参加し、事業の企画から準備、実際の展開からふりかえりまでの一連の流れを実践学習する ・日本レクリエーション協会主催「あそびの日」へ学生スタッフとして参加する ・地域のレクリエーション協会主催のレクリエーションイベントへ学生スタッフとして参加する</p>		グループ活動
授業外学習		
<p>・山口県レクリエーション協会や自分の住んでいる地域のレクリエーション協会、もしくはさまざまな団体が行なっているレクリエーション事業を探し、1回以上参加しましょう。 ・地域や人々に目を向け、多種多様な活動へ積極的に参加することを望みます。</p>		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
適宜、資料（プリント）を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション概論 ・レクリエーション演習 ・レクリエーション演習 	

課題に対するフィードバック

実習日誌は、コメントをつけて返却する

備考

地域での活動に参加することが多いため、本学の学生としての意識をもち、学生らしい服装、身だしなみ、言動に十分注意すること。
実習では、地域の子どもから高齢者まで、幅広い年代の人との関わりがある。いつもやさしい笑顔を心がけ、積極的な関わりができるよう努めること。
尚、参加するレクリエーション事業の詳細については、事前にガイダンスを行う。ガイダンスの日時等は、掲示板にて連絡する。